

平成28年12月22日

安曇野市教育委員会

平成28年12月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

<b>議案第 1 号</b>	教育部 学校教育課
平成 28 年 12 月 22 日提出	(課長) 古幡 彰 (担当) 曾根原 正之

タイトル	安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について
決定を要する事項の内容	改正案の承認
要旨	アレルギー対応食の実施を希望する保護者が、教育委員会へ提出する書類「安曇野市学校給食アレルギー対応食指示書(様式第2号)」を「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」へ変更することについて協議します
説明	<p>1 一部改正の理由</p> <p>食物アレルギーを持つ児童生徒への学校給食の提供については、安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱に基づき、医師の診断による「安曇野市学校給食アレルギー対応食指示書(様式第2号)」の提出を受け、学校関係者・保護者・教育委員会(学校給食担当)・医師の連携もと提供を行っております。</p> <p>しかし、平成27年国・長野県が作成した指針等により、学校・学校給食での食物アレルギーの対応の基本として、医師の診断による「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」の提出を必須とするとしています。</p> <p>既に、各学校では保護者から「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」の提出を実施しており、学校と教育委員会(学校給食担当)が共通した情報の上にとって、適切な対応をすることが重要であり、今回「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」への様式の統一を図るものです。</p> <p>2 施行時期</p> <p>平成29年2月1日</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校における食物アレルギー対応の手引き」(長野県教育委員会、平成27年2月)</li> <li>・「学校給食における食物アレルギー対応指針」(文部科学省、平成27年3月)</li> </ul>

安曇野市教育委員会告示第 号

安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱（平成19年安曇野市教育委員会告示第12号）の一部を次のように改正する。

平成 年 月 日

安曇野市教育委員会

委員長 唐木 博夫

第4条第2項を次のように改める。

2 前項の説明を受けた上で事業の実施を希望する保護者は、次の各号に掲げる書面を、それぞれ当該各号に定める者に提出しなければならない。この場合において、第1号に規定する書面の提出は、学校長を経由するものとする。

- (1) 安曇野市学校給食アレルギー対応食実施意向調査表（様式第1号） 教育委員会
- (2) 公益財団法人日本学校保健会の定める学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）  
学校長

第4条第3項中「前項の調査表及び指示書を受理した」を「第2項の書面の提出があった」に、「希望」を「事業の実施を希望する」に改め、同項を同条第4項とし、同条第2項の次に次の1項を加える。

3 学校長は、前項第2号に規定する書面の提出があったときは、その写しを教育委員会へ送付するものとする。

第5条第1項中「前条第3項」を「前条第4項」に、「（様式第3号）」を「（様式第2号）」に改め、同条第2項中「を受理した」を「の提出があった」に、「（様式第4号）」を「（様式第3号）」に改める。

第6条第3項中「（様式第5号）」を「（様式第4号）」に改める。

第7条中「（様式第6号）」を「（様式第5号）」に改める。

様式第2号を削る。

様式第3号を様式第2号とし、様式第4号を様式第3号とし、様式第5号を様式第4号とし、様式第6号を様式第5号とする。

附 則

（施行期日等）

- 1 この告示は、平成29年2月1日から施行する。
- 2 この告示の施行の日前に改正前の第4条第2項の規定により提出された安曇野市学校給食アレルギー対応食指示書は、改正後の第4条第2項に規定する学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）とみなす。

○安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱（平成19年安曇野市教育委員会告示第12号）

改正後	改正前
<p>(事業内容説明)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 前項の説明を受けた上で事業の実施を希望する保護者は、次の各号に掲げる書面を、それぞれ当該各号に定める者に提出しなければならない。この場合において、第1号に規定する書面の提出は、<u>学校長を経由するものとする。</u></p> <p>(1) <u>安曇野市学校給食アレルギー対応食実施意向調査表（様式第1号）</u> 教育委員会</p> <p>(2) <u>公益財団法人日本学校保健会の定める学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）</u> <u>学校長</u></p> <p>3 <u>学校長は、前項第2号に規定する書面の提出があったときは、その写しを教育委員会へ送付するものとする。</u></p> <p>4 <u>第2項の書面の提出があったときは、事業の実施を希望する保護者、学校関係者及び教育委員会の三者面談を実施する。</u></p> <p>(実施の申込及び決定)</p> <p>第5条 前条第4項の三者面談の後、事業の実施を申し込もうとする保護者は、安曇野市学校給食アレルギー対応食実施申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の申請書の提出があったときは、事業の実施の必要性等を審査するとともに、事業の実施について決定し、その旨を安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施決定通知書（様式第3号）により保護者に通知するものとする。</p> <p>(献立等)</p>	<p>(事業内容説明)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 前項の説明を受けたうえで、事業の実施を希望する保護者（以下「希望保護者」という。）は、<u>安曇野市学校給食アレルギー対応食実施意向調査表（様式第1号）及び安曇野市学校給食アレルギー対応食指示書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。</u></p> <p>3 前項の調査表及び指示書を受理したときは、<u>希望保護者、学校関係者及び教育委員会の三者面談を実施する。</u></p> <p>(実施の申込及び決定)</p> <p>第5条 前条第3項の三者面談の後、事業の実施を申し込もうとする保護者は、安曇野市学校給食アレルギー対応食実施申請書（様式第3号）を教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の申請書を受理したときは、事業の実施の必要性等を審査するとともに、事業の実施について決定し、その旨を安曇野市学校給食アレルギー対応食提供事業実施決定通知書（様式第4号）により保護者に通知するものとする。</p> <p>(献立等)</p>



改正後	改正前
<p>第6条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第1項の実施予定献立表の送付を受けた申込保護者は、その内容を確認のうえ、次の各号に掲げる実施予定献立表について、当該各号に定める日までに安曇野市学校給食アレルギーマスター対応実施承諾書(様式第4号)を教育委員会に提出しなければならぬ。</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(ア)アレルギーマスター対応食の変更又は中止</p> <p>第7条 アレルギーマスター対応食の内容の変更又は事業の中止を希望する申込保護者は、安曇野市学校給食アレルギーマスター対応食変更(中止)願(様式第5号)を教育委員会に提出しなければならぬ。</p> <p>様式第2号(第5条関係)  様式第3号(第5条関係)  様式第4号(第6条関係)  様式第5号(第7条関係)</p>	<p>第6条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第1項の実施予定献立表の送付を受けた申込保護者は、その内容を確認のうえ、次の各号に掲げる実施予定献立表について、当該各号に定める日までに安曇野市学校給食アレルギーマスター対応実施承諾書(様式第5号)を教育委員会に提出しなければならぬ。</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(ア)アレルギーマスター対応食の変更又は中止</p> <p>第7条 アレルギーマスター対応食の内容の変更又は事業の中止を希望する申込保護者は、安曇野市学校給食アレルギーマスター対応食変更(中止)願(様式第6号)を教育委員会に提出しなければならぬ。</p> <p>様式第3号(第5条関係)  様式第4号(第5条関係)  様式第5号(第6条関係)  様式第6号(第7条関係)</p>

様式第2号 (第4条関係)

安曇野市学校給食アレルギー対応食指示書

年 月 日

(宛先) 安曇野市教育委員会

病院・医院名 \_\_\_\_\_

主治医氏名 \_\_\_\_\_ ④

緊急時の問合せ先 ( ) - \_\_\_\_\_

学校給食を実施する際、注意が必要です。次のとおり指示をします。

住 所	〒399- 安曇野市		
ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日生 ( 歳)
(学校給食の際の指示事項)			

保護者が記入 名前 男・女 平成 年 月 日生 ( 歳 ) 学校 年 組 提出日平成 年 月 日

Table with 4 rows for Asthma, Atopic Dermatitis, and Allergic Rhinitis. Columns include 'Disease/Treatment' (病型・治療), 'School Life Precautions' (学校生活上の留意点), 'Date' (記載日), 'Doctor' (医師名), 'Hospital' (医療機関名), and 'Phone' (電話番号).

保護者が記入 名前 男・女 平成 年 月 日生 ( 歳 ) 学校 年 組 提出日平成 年 月 日

Table with 3 rows for Food Allergy, Allergic Rhinitis, and Allergic Conjunctivitis. Columns include 'Disease/Treatment' (病型・治療), 'School Life Precautions' (学校生活上の留意点), 'Date' (記載日), 'Doctor' (医師名), 'Hospital' (医療機関名), and 'Phone' (電話番号).

学校から提出を求めた場合 依頼欄口チェックがない項目は医師による記載不要 ●学校における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を教職員全員で共有することに同意しますか。

- 1. 同意する
2. 同意しない

保護者署名:

<b>議案第2号</b>	教育部 生涯学習課
平成28年12月22日提出	(課長) 蓮井 昭夫 (担当係長) 米倉 直樹

タイトル	第2次安曇野市スポーツ推進計画の策定に係る策定委員について
決定を要する事項の内容	策定委員について
要旨	第2次安曇野市スポーツ推進計画の策定委員として資料1の方々に委嘱したい。
説明	<p>1 経過</p> <p>(1) 平成23年8月 安曇野市スポーツ振興計画の制定 (平成29年度までの7年間の計画)</p> <p>(2) 平成28年9月21日付の定例教育委員会で第2次安曇野市スポーツ推進計画策定について承認</p> <p>2 策定委員の構成等 (要綱より抜粋)</p> <p>(1) スポーツ団体の代表者</p> <p>(2) 公募により選考された市民</p> <p>(3) 学識経験者</p> <p>(4) その他教育委員会が必要と認める者</p> <p>※策定委員の人数は20人以内</p> <p>※任期は平成29年1月～平成30年3月</p> <p>3 策定委員 (案) について &lt;資料1を参照&gt;</p> <p>4 公募委員について</p> <p>平成28年11月2日発行の広報等で公募 (締切11月30日) し、1名の募集があり、選考の経歴等も考慮した結果、委員として承認した。</p> <p>氏名：清水和雄 (安曇野市三郷) 74歳</p> <p>経歴：バレーボール (選手、指導者)、二木区長 (H20～H21)、 国勢調査員 (H22、H25) 他</p> <p>5 当面の日程について</p> <p>平成29年1月下旬に第1回第2次安曇野市スポーツ推進計画策定委員会を開催予定。</p>

資料 1 <差替>  
(H28.12.22 当日配布)

第2次安曇野市スポーツ推進計画策定委員名簿（案）

※平成28年12月22日現在

	氏名	所属	所属・役職等	区分
1	古屋 真弓	市体育協会体育館使用団体代表	ママさんバレーボール連盟 総務委員長	1
2	小池 法誉	市体育協会テニスコート使用団体代表	テニス協会 会長	1
3	二木 むつみ	市体育協会武道場使用団体代表	剣道連盟 副会長	1
4	鈴木 尚登	市体育協会武道場使用団体代表	空手道連盟 事務局長	1
5	湯本 度	市体育協会グラウンド使用団体代表	軟式野球連盟 事務局長	1
6	内田 信一	市体育協会グラウンド使用団体代表	サッカー協会 会長	1
7	古川 節雄	特定非営利活動法人安曇野市体育協会	専務理事	1
8	加々美 浩一	安曇野市スポーツ少年団	団長	1
9	太田 哲旦	安曇野市スポーツ少年団	事務局長	1
10	丸山 義春	市スポーツ推進委員会	会長	1
11	布山 まゆみ	市スポーツ推進委員会	女性会長	1
12	宮澤 郁子	総合型スポーツクラブ スポネット常念	運営委員	1
13	清水 和雄	公募		2
14	古澤 栄一	学識経験者	信州大学（経法学部 教授）	3
15	新井 喜代加	学識経験者	松本大学（人間健康学部 准教授）	3
16	古幡 栄一	安曇野市小中学校校長会	明科中学校校長	4
17	一志 和恵	安曇野市老人クラブ連合会	副会長	4
18	矢野 勤	安曇野市身体障害者福祉協会	副会長	4

1	スポーツ団体の代表者	12人
2	公募により選考された市民	1人
3	学識経験者	2人
4	その他教育委員会が必要と認める者	3人
		男 13人
		女 5人

<b>議案第 3 号</b>	教育部 学校教育課
平成 28 年 12 月 22 日提出	(課長)古幡 彰 (担当係長)平林 洋一

タイトル	安曇野市教育委員会所管の事務事業に係る点検・評価等について
決定を要する事項の内容	点検・評価調書及び自己評価の承認及び知見を活用する点検・評価者の選任
要旨	点検・評価に使用する調書の内容及び自己評価並びに点検・評価にあたり知見を活用する者の選任について承認をお願いするものです。
説明	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 1 項の規定により、すべての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、これを公表することとされています。</p> <p>本年の教育委員会 11 月定例会で承認を得た平成 27 年度の教育委員会が所管する事務事業の点検・評価に使用する調書の内容及び各事務事業に対する所管課の自己評価について、承認をお願いします。</p> <p>併せて、同法第 26 条第 2 項に規定する学識経験を有する者については、安曇野市社会教育委員の代表 2 名を選任することについて、承認をお願いするものです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）</p> <p>第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p> </div>

平成 27 年度 安曇野市教育委員会事務事業点検・評価項目一覧

No	安曇野市総合計画(後期基本計画)との関係	主要事務事業 (点検評価項目)	所管課	各課の 自己評価
1	第3章 人と文化を育むまちの形成 第1節 郷土を担う人を育むまち 1 学校教育の充実 ① 時代を担う人づくりの推進 ② 特色ある学校教育の推進 ③ 学校施設の整備 ④ 相談支援体制の充実	いじめ・不登校対策事業	学校教育課	B
2		中間教室運営事業	学校教育課	B
3		教育相談事業	学校教育課	B
4		就学相談事業	学校教育課	C
5		教育指導員・教育相談員の配置	学校教育課	A
6		学校加配職員及び不登校支援コーディネーター等の配置・派遣事業	学校教育課	A
7		学校 ICT 事業の推進	学校教育課	B
8		英語教育の推進	学校教育課	B
9		スクールサポート事業	学校教育課	B
10		学校安全対策事業	学校教育課	B
11		小学校施設改修事業	学校教育課	A
12		給食事業	学校教育課	B
13	2 青少年の健全育成	青少年健全育成事業	生涯学習課	C
14	第3章 人と文化を育むまちの形成 第2節 生涯を通じて学び合うまち 1 生涯学習の推進 ① 生涯学習体制の構築 ② 生涯学習機会の充実 ③ 生涯学習施設の整備	成人式	生涯学習課	B
15		安曇野市 1/2 成人式	生涯学習課	A
16		安曇野検定	生涯学習課	C
17		社会教育講座事業	生涯学習課	C
18		社会教育団体への補助	生涯学習課	C
19		放課後・家庭教育推進事業	生涯学習課	C
20		中央公民館事業	生涯学習課	B
21		交流学习センター運営	図書館交流課	B
22		図書館活動推進事業	図書館交流課	B
23		第6章 協働によるまちづくりの推進 第1節 協働で築かれるまち 4 人権の尊重 ① 人権教育・啓発の推進 ② 人権擁護団体の育成支援	人権教育推進事業	生涯学習課
24	2 スポーツ活動の推進 ① 生涯スポーツの推進 ② スポーツ施設の整備と有効活用 ③ 競技スポーツの振興と指導者の育成 ④ 高齢者・生涯スポーツの推進 ⑤ スポーツを通じたコミュニティづくり	体育団体補助	生涯学習課	C
25		市民スポーツ祭	生涯学習課	C
26		公式スポーツ施設整備計画策定	生涯学習課	C
27		社会体育講座事業	生涯学習課	C
28		第3章 人と文化を育むまちの形成 第3節 文化を学び育むまち 1 芸術文化活動の振興 ① 地域文化の振興 ② 芸術文化施策の充実 ③ 芸術文化活動の推進 ④ 歴史民俗資料の保存・活用	文化芸術振興事業	文化課
29	諸団体との協働事業	文化課	B	
30	財政支援団体への補助	文化課	B	
31	博物館・美術館等の管理運営	文化課	B	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.1	事務事業名： いじめ・不登校対策事業	H27 年度決算額	18 千円
事業の目的	いじめ・不登校の克服に向けて、学校・地域・関係機関が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応を行う。			
事業内容	いじめ不登校問題対策連絡協議会を設置し、児童、生徒のいじめ・不登校等の調査及び指導方法や発生防止の研究を行う。			
達成状況	<p>1 協議会委員構成(任期2年 当初は平成29年3月31日まで) 教育長 1名 福祉関係者 2名 警察関係者 1名 PTA関係者 1名 教育関係者 6名 行政関係者 2名 学識経験者 1名 計14名</p> <p>2 会議 ・安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会(いじめ防止対策推進法制定により、前いじめ等対策委員会を発展的解消し設置) 開催：3回(内新組織として2回)</p> <p>3 協議事項 ・学校及び地域におけるいじめ等の状況に関すること ・学校、地域、関係機関等によるいじめ等の防止の取り組みに関すること ・上記の他、いじめ等の防止に関すること</p> <p>4 成果 ・関係機関における対応及び児童生徒や保護者に関わる情報共有をすることができた。 ・協議においてPTA関係者から、いじめや不登校の現状、困ったときの相談先について保護者が理解していないという情報から、安曇野市PTA連合会総会の研修において、現状及び実施事業、相談先などを含めた講演を設定していただき、周知をする機会を得た。(3月4日)</p>			
事業の課題及び方向性	○いじめ・不登校の問題は全国的な課題であり、今日の学校教育について極めて重要です。これらの対応や解決には、学校だけでの対応では困難であり、各機関の連携が必要不可欠です。そのためにも各機関の代表が集まり情報の共有、意見交換を行うことは極めて重要です。組織を設置して1年目でもあるので現状の組織及び内容を継続していきます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



(様式)

事務事業	No.2	事務事業名： 中間教室運営事業	H27 年度決算額	6,120 千円																																																
事業の目的	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰に向けての指導及び援助を行なう																																																			
事業内容	安曇野市中間教室設置条例に基づき、小学生対象の「ねむの木」と中学生対象の「けやきの家」を設置し、不登校児童生徒の学校復帰に向けた適応指導・学習支援等を行なう。(職員体制:中間教室適応指導員2名、臨時指導員(メンタルフレンド)2名)																																																			
達成状況	<p>中間教室の在籍状況</p> <p>5 年間の在籍児童生徒数の推移 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねむの木</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>けやきの木</td> <td>14</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>17</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>年度計</td> <td>18</td> <td>33</td> <td>42</td> <td>32</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 27 年度、在籍が最も多かった学年は中学 1 年生 11 名、次いで中学 3 年生 7 名。中学 3 年生 7 名のうち、平成 27 年度中に学校へ復帰できた生徒は 5 名。</p> <p>・中間教室で精神的にも学力面でも力をつけ、自己に自信を持つことができた」と評価できる。</p> <p>・中間教室は、不登校および不適応傾向の児童生徒の一時的な適応機関としての機能が学校及び保護者に認められ、不登校等児童生徒への指導の選択肢として定着しつつある。</p> <p>*参考 安曇野市の過去 4 年間の欠席 30 日以上の不登校児童生徒の推移 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>39</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>85</td> <td>101</td> <td>97</td> <td>84</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>124</td> <td>127</td> <td>126</td> <td>117</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table> <p>当市における不登校児童生徒数は、平成 22 年度まで減少傾向にあり、23 年度からはほぼ横ばいの状況 (長野県の傾向と同様)。</p>				年度	H23	H24	H25	H26	H27	ねむの木	4	4	6	15	20	けやきの木	14	29	36	17	20	年度計	18	33	42	32	40	年度	H23	H24	H25	H26	H27	小学校	39	26	29	33	23	中学校	85	101	97	84	93	計	124	127	126	117	116
年度	H23	H24	H25	H26	H27																																															
ねむの木	4	4	6	15	20																																															
けやきの木	14	29	36	17	20																																															
年度計	18	33	42	32	40																																															
年度	H23	H24	H25	H26	H27																																															
小学校	39	26	29	33	23																																															
中学校	85	101	97	84	93																																															
計	124	127	126	117	116																																															
事業の課題及び方向性	28 年度より、更なる機能強化を目的として「教育支援センター」を開設し、その中に上記 2 施設を統合した「適応指導教室」と「教育相談室」を設置しました。スクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーターとの情報共有を図り、課題となっている在籍校との連携を強化していきます。																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.3	事務事業名： 教育相談事業	H27 年度決算額	1,235 千円																								
事業の目的	学校生活等で困難を抱えている子ども達や保護者、学校関係者を支えるため																											
事業内容	不登校、引きこもり、発達障がい、学校生活、進路、子育て全般、しつけ等についての教育相談活動（電話相談及び面接相談）を実施。 （職員体制：教育相談員4名）																											
達成状況	<p>教育相談事業の重点と状況</p> <p>目的達成に向け、「安曇野市における教育相談体制の整備と強化を図るとともに、<u>地域における関係機関、関係団体との連携、共同体制を構築していく</u>」を重点とし、<u>時代のニーズに応じた教育相談室運営</u>を目指してきた。</p> <p>&lt;連携してきた関係機関、団体&gt;</p> <p>・特別支援教育コーディネーター連絡会・学校関係（市小中学校）・家庭児童相談室・子ども発達支援相談室・特別支援学校教育相談員・障がい者総合支援センターあるぷ Co・適応指導教室・就学相談調査員・その他</p> <p>※教育相談室の支援だけでは効果が期待できないと判断された場合、相談者の了解や要請により、上記の関係機関、団体と連携して相談業務をおこなったことで「チームで支援、みんなで支援」の意識が深まるとともに、新たな視点、発想の基で、課題解決に向けた取り組みが可能となってきた。</p> <p>&lt;教育相談の状況&gt;</p> <p>① 相談・来室者実人数：168人</p> <p>② 相談方法別相談件数（面談1回で複数人の面談を行なう場合あり） 来室による面談：58件・電話相談：30件・学校訪問：71件</p> <p>③ 相談対象者の年齢別相談回数（実質的な相談件数。相談報告書と一致する数）</p> <table border="1" data-bbox="443 1420 1398 1592"> <thead> <tr> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>2</td> <td>小学生</td> <td>129</td> <td>中学生</td> <td>21</td> <td>高校生</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2</td> <td>教師</td> <td>1</td> <td>その他</td> <td>2</td> <td>合計</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 相談の主訴（1件の相談に関し、複数の主訴あり） 性格行動104件 不登校 19件 育児・しつけ6件 非行・反社会行動2件 発達障がい28件 知的障がい7件 心身症4件 学校・学級経営9件 学校生活・園生活116件</p> <p>※27年度より、学校、保護者の要請により、検査(WISC-IV)も実施し、その結果を基に、学校職員、保護者等に説明の機会を持つようにしたことで、指導・支援の具体的な内容や方法、家庭生活におけるわが子への具体的な接し方、子育てのポイント等が分かり、とてもありがたいという声をいただいている。</p>				来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	乳幼児	2	小学生	129	中学生	21	高校生	2	保護者	2	教師	1	その他	2	合計	159
来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数																					
乳幼児	2	小学生	129	中学生	21	高校生	2																					
保護者	2	教師	1	その他	2	合計	159																					

事業の課題及び方向性	<p>○関係機関との連携、共同体制の構築をさらに強力に進めていく必要があります。「安曇野市の子育て支援ネットワーク」(私案 仮称)の実現を目指したい。</p> <p>早期発見・支援、一貫した継続的な支援が今後、増々問われてきます。そのために、安曇野市の大きな課題は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局を超えた支援の連携は必須であるという意識改革を、リーダー自ら将来的なビジョンを描き示すことで、共同体制の構築に資していくことにあります。(例：就園前、就園時から小学校入学後への移行支援の充実→保健福祉部、子ども支援課、教育部などの連携が必要)</li> <li>・教育相談室では、既に子ども支援課と連携し、保育園児の保育支援を WISC-IV検査実施とのその説明を園長、保育士に行っています。</li> </ul>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.4	事務事業名： 就学相談事業	H27 年度決算額	1,709 千円																																	
事業の目的	安曇野市心身障がい児就学相談委員会では、知的障がい、その他心身障がいの疑いのある児童等の調査、審査（入級、退級についての審査）および就学の相談を行う。																																				
事業内容	1 安曇野市心身障がい児就学相談委員会（委員 19 名） 年 3 回開催 2 5 地区別就学相談小委員会（小委員のべ数 68 名）年間 10 回開催 3 小委員会に向け資料作成のため、調査員が幼保育園にて観察と相談（観察園児のべ数 115 名）年 2 回実施 4 平成 26 年度就学相談を受け平成 27 年度小中学校 1 年に入学した児童生徒の経過観察（小 1 児童 38 名、中 1 生徒 38 名、計 76 名）年 1 回実施																																				
達成状況	(判定数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="3">判定結果</th> <th rowspan="2">判定と異なる就学者</th> </tr> <tr> <th>通常学級</th> <th>特別支援学級</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>55</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>83</td> <td>7</td> <td>75</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>155</td> <td>30</td> <td>116</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				対象者	人数	判定結果			判定と異なる就学者	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	幼児	55	21	26	8	0	児童	83	7	75	1	1	生徒	17	2	15	0	0	計	155	30	116	9	1
対象者	人数	判定結果					判定と異なる就学者																														
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校																																	
幼児	55	21	26	8	0																																
児童	83	7	75	1	1																																
生徒	17	2	15	0	0																																
計	155	30	116	9	1																																
事業の課題及び方向性	1 就学判定数が平成 26 年度より 20 名増となっており、事務量の増加、調査員の人員不足が課題です。 2 園児の就学相談の早期スタートが必要です。																																				
自己評価	C																																				

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.5	事務事業名： 教育指導員・教育相談員の配置	H27 年度決算額	9,275 千円
事業の目的	各学校における学力・体力向上をはかると共に教育相談に対応し、安定した学校運営が行えるようにするため			
事業内容	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 (2) 学力・体力向上にむけての取組 (3) 就学相談 (4) 教育相談 (職員体制：教育指導員 2 名 学習指導員 1 名 教育相談員 1 名)			
達成状況	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 ① 学校と教育指導員との懇談会 4、5月に実施。市内 17 校 ② いじめホットラインとして、保護者や学校との相談 ③ 福祉課、子ども支援課等との連携担当者会議を実施 週 1 回 (2) 学力・体力向上に向けての取組 ① 安曇野市学力・体力 4 ヶ年計画の実施 (27 年度からスタート) ② 組織及び運営 ア 学力向上推進委員会 ・ 年 8 回開催し、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、報告書をまとめると共に、次年度へ向けた授業改善にかかわる提言をした。 イ 体力向上推進委員会 ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や、新体力テストの結果を分析し、公表すると共に、体力向上にむけた実践を公表するとともに、体づくり、運動遊びの研修として、長野県版運動プログラム普及事業の実施。各学校に訪問し、体づくり・運動遊びや日常の運動などについて支援。 ウ 部活動運営委員会 ・ スクールサポート事業として、健全な部活動のあり方について検討、各校の課題解決に向けて支援。 (3) 就学相談 ① 心身障がい児就学相談委員会 ・ 小中学校入学及び在学中の児童生徒に関わる、適切な就学の検討。 (4) 教育相談 公民館での教育相談に対応。			
事業の課題及び方向性	○学力・体力向上については、4 ヶ年計画とし、28、29 年度は「定着と深化」、30 年度は「実践と評価・考察」に向けて取り組んでいきます。 ○就学支援および教育相談については、児童生徒の観察、保護者の意向などを確実に捉え、学校や各機関との連携を図りながら対応していきます。			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.6	事務事業名： 学校加配職員及び不登校支援コーディネーター等の配置・派遣事業	H27 年度決算額	136,354 千円																																																
事業の目的	障がい等により特別な支援を要する児童・生徒に対応するための職員の配置し、学習や学校生活の支援を行うとともに、障がい児等指導相談員を派遣し指導方法の相談・助言を行い健やかな成長を支援する。																																																			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要望に基づき、障がい児支援員・特別支援学級補助員・中間教室指導員等の配置</li> <li>・不登校対策として、各校を巡回する不登校支援コーディネーター、スクールカウンセラーの派遣</li> <li>・障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）の派遣</li> </ul>																																																			
達成状況	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児支援員は、特別支援学級や普通学級の仲間と行う授業等活動時に、特に学級内の人間関係面の支援とその子どもの特性に応じた支援を心掛け、子どもが安定して活動に参加し、自己実現の経験が数多くできるよう努力し、その児童生徒と周囲の集団の生活安定に大きく寄与している。</li> <li>・各校配置の中間教室指導員ほか、不登校支援コーディネーター及び市中間教室適応指導員など不登校支援に関わる職員が不登校傾向の子どもの支援の中核となり、関係機関とも連携しながら登校につなげる活動を行っている。</li> </ul> <p>【配置・派遣状況】</p> <table border="1" data-bbox="411 1200 1370 1895"> <thead> <tr> <th></th> <th>職 名</th> <th>延べ人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">賃金</td> <td>医療支援員（看護師）</td> <td>1</td> <td>（小学校）</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援員</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学級補助員</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習支援員</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>少人数学習支援員</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間教室指導員</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不登校支援コーディネーター</td> <td>2</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>71</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">謝礼</td> <td>スクールカウンセラー</td> <td>10</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>障がい児等指導相談員</td> <td>3</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>放課後学習指導室支援員</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>48</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>119</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○不登校支援コーディネーター活動延件数の状況（2名合計）</p> <p>面談 153 家庭訪問 245 登校支援 400 日中活動支援 996  支援会議 226 その他 238 合計 2,258</p>					職 名	延べ人数	備 考	賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）	障がい児支援員	24		特別支援学級補助員	15		学習支援員	10		少人数学習支援員	2		中間教室指導員	17		不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）		小計	71		謝礼	スクールカウンセラー	10	（巡回型）	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）	放課後学習指導室支援員	35			小計	48			合計	119	
	職 名	延べ人数	備 考																																																	
賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）																																																	
	障がい児支援員	24																																																		
	特別支援学級補助員	15																																																		
	学習支援員	10																																																		
	少人数学習支援員	2																																																		
	中間教室指導員	17																																																		
	不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）																																																	
	小計	71																																																		
謝礼	スクールカウンセラー	10	（巡回型）																																																	
	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）																																																	
	放課後学習指導室支援員	35																																																		
	小計	48																																																		
	合計	119																																																		

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を抱えている児童生徒が増加している中、障害者差別解消法を受け、合理的な配慮が求められている。そのためには支援を行う職員の配置についてはより要望及び重要性が増している。このことからこの事業は継続することと共に、保護者の要望からも一層増員を考えていかななくてはならない事業である。</li> </ul>	
自己評価	A	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.7	事務事業名： 学校 ICT 事業の推進	H27 年度決算額	63,811 千円
事業の目的	情報化社会の中で生活していくための手段として、また、学力の向上のため児童、生徒が ICT を活用した分かりやすい授業を実現することで、子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。			
事業内容	学校における教育用、校務用のパソコン等の情報機器の更新と整備を行うことにより、ICT 機器を活用した授業の推進及び教員の事務処理に係る負担軽減を図る。			
達成状況	<p>ICT 環境の整備に重要な情報ネットワークの高速化とセキュリティの強化を図るため、教育委員会管理のセンターサーバを設け、情報ネットワークの再構築を行います。</p> <p>また、文部科学省が示した「第 2 期教育振興基本計画」に基づき、「安曇野市学校情報機器等導入計画」の策定を進めるほか、更新時期を迎えるパソコン教室の教育用パソコン、教職員用の校務用パソコンを計画的に更新します。</p> <p>【センターサーバ設置計画】 平成 27 年度 第 1 次構築・・・実施済 グループウェア・校務管理サーバ、資産管理サーバ設置 平成 28 年度 第 2 次構築 教育用ファイルサーバ、管理サーバ、フィルタリングサーバ設置</p> <p>【各小中学校パソコン等更新計画】 平成 28 年度 堀金小学校・明南小学校・明北小学校 堀金中学校・明科中学校 平成 30 年度 穂高南小学校・穂高西小学校・穂高北小学校 豊科北小学校・豊科東小学校 穂高東中学校・穂高西中学校・三郷中学校 平成 31 年度 豊科南小学校・三郷小学校 豊科南中学校・豊科北中学校</p>			
事業の課題及び方向性	第 2 期教育振興基本計画に示された、情報機器整備目標により電子黒板の導入、タブレット端末等の稼働型パソコンの整備を検討する中で、平成 30 年度に示される次期学習指導要領による授業内容の変化に対応する準備が必要となります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



(様式)

事務事業	No.8	事務事業名： 英語教育の推進事業	H27 年度決算額	67,204 千円
事業の目的	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、国際感覚を養うと共に、英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童・生徒を育成する。			
事業内容	中学生海外ホームステイ交流派遣事業や中学校英語課外授業を実施するほか、中学校7校に1人ずつの外国人ALTと小学校の外国語活動において外国人ALT4人と日本人ALT2人を配置し、英語教育の推進を図る。			
達成状況	<p>中学生海外ホームステイ交流派遣事業</p> <p>平成26年度より開始した事業であり、平成27年度事業より参加生徒数を12人から14人増やし、市内中学校2年生に募集を行い45人の応募がありました。選考された参加生徒は、3回のオリエンテーション、6回の英会話レッスンを受講しホームステイに臨みました。現地での貴重な体験は、平成28年5月29日開催の帰国報告会で多くの来場者へ発表され、頼もしい中学生の姿を見ていただくことができました。</p> <p>派遣期間：平成28年3月19日（土）から3月28日（月）までの10日間 派遣先：オーストラリア メルボルン</p> <p>中学校英語課外授業</p> <p>市内中学校7校で放課後を活用して実施しています。授業は原則的に全て英語による実践的な英会話授業で、「英会話がもっと上達したい」「外国人と日常会話ができるようになりたい」と思う生徒が、ALT、参加生徒と英語でコミュニケーションを取ることで、英語の楽しさを実感できる課外授業となっています。</p> <p>平成27年度参加生徒数：72人</p> <p>外国語指導助手派遣事業</p> <p>小学校、中学校へALTを派遣し、英語授業におけるチームティーチングや英語に触れる機会は、子ども達の国際的視野の育成やコミュニケーション能力の素地を養い、英語教育の推進に繋がっています。</p>			
事業の課題及び方向性	中学生海外ホームステイ交流派遣事業及び英語課外授業は、少人数での事業実施となるため、参加人数を拡大できるかは今後の検討となります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.9	事務事業名： スクールサポート事業	H27年度決算額	5,870千円																						
事業の目的	子どもたちの育成環境の充実に向け、学校と家庭さらに地域の人々と連携を図り、開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地域住民が多様な形態で学校教育を支援し、大人との関りを通じて「生きる力」を育みます。																									
事業内容	地域の方々が学校支援ボランティアとして、学校が必要とする支援活動に参加するほか、立志塾の開催、各地域における地域教育協議会においては、学校運営等の協議を行い地域と学校が共通理解を図る。																									
達成状況	<p>学校支援ボランティアの活動</p> <p>平成27年度の市内全小中学校からのスクールサポート事業申請件数（部活動外部指導者申請を含む）は193件で、昨年度より39件増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度申請件数</th> <th>平成27年度申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習支援活動 48件</td> <td>学習支援活動 75件</td> </tr> <tr> <td>総合的な学習支援活動 36件</td> <td>総合的な学習支援活動 48件</td> </tr> <tr> <td>読書支援活動 20件</td> <td>読書支援活動 17件</td> </tr> <tr> <td>子ども安全支援活動 6件</td> <td>子ども安全支援活動 8件</td> </tr> <tr> <td>環境整備支援活動 6件</td> <td>環境整備支援活動 7件</td> </tr> <tr> <td>外国籍児童生徒支援活動 5件</td> <td>外国籍児童生徒支援活動 3件</td> </tr> <tr> <td>不登校支援活動 1件</td> <td>不登校支援活動 1件</td> </tr> <tr> <td>部活動支援活動（外部講師） 26件</td> <td>部活動支援活動（外部講師） 34件</td> </tr> <tr> <td>課外活動支援活動 4件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障がい児支援活動 2件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>立志塾の開催</p> <p>市内各中学校では、安曇野の中学生のよりよい育ちに向け、子どもたちの心に火をつけ、高き志を培うことを目標に、学社連携の取り組みとして、各学校に講師を招き開催している。</p> <p>平成27年度開催学校：6校 開催回数：9件</p>				平成26年度申請件数	平成27年度申請件数	学習支援活動 48件	学習支援活動 75件	総合的な学習支援活動 36件	総合的な学習支援活動 48件	読書支援活動 20件	読書支援活動 17件	子ども安全支援活動 6件	子ども安全支援活動 8件	環境整備支援活動 6件	環境整備支援活動 7件	外国籍児童生徒支援活動 5件	外国籍児童生徒支援活動 3件	不登校支援活動 1件	不登校支援活動 1件	部活動支援活動（外部講師） 26件	部活動支援活動（外部講師） 34件	課外活動支援活動 4件		障がい児支援活動 2件	
平成26年度申請件数	平成27年度申請件数																									
学習支援活動 48件	学習支援活動 75件																									
総合的な学習支援活動 36件	総合的な学習支援活動 48件																									
読書支援活動 20件	読書支援活動 17件																									
子ども安全支援活動 6件	子ども安全支援活動 8件																									
環境整備支援活動 6件	環境整備支援活動 7件																									
外国籍児童生徒支援活動 5件	外国籍児童生徒支援活動 3件																									
不登校支援活動 1件	不登校支援活動 1件																									
部活動支援活動（外部講師） 26件	部活動支援活動（外部講師） 34件																									
課外活動支援活動 4件																										
障がい児支援活動 2件																										
事業の課題及び方向性	スクールサポート事業は、県教育委員会の推進する「信州型コミュニティスクール」の目指す方向と一致していることから、これまで積み上げてきた市教委・学校・地域の連携体制を継承し、「安曇野市コミュニティスクール」として事業の推進と充実を図ります。																									
自己評価	B																									

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.10	事務事業名： 学校安全対策事業	H27 年度決算額	2,695 千円
事業の目的	通学路、学校敷地内の安全確保に対する対策を実施する。			
事業内容	児童・生徒の安全確保のため、熊よけ鈴の配布、通学路安全マップの作成、スズメ蜂等の害虫駆除、学校緊急無線通報システム、学校安全連絡網メール配信システムの活用、通学路合同点検の実施等の各種対策をする。			
達成状況	<p>(1) 熊よけ鈴の配布 該当地域の小中学校に対し、平成 27 年度より配布しています。 該当地域：穂高地域、堀金地域、三郷地域、明科地域（小中 12 校）</p> <p>(2) 通学路安全マップの作成 通学路における危険箇所、注意箇所を記載した安全マップを関係機関及び地域に配布し、安全指導、見守り等の安全確保に活用していただくほか、市ホームページにも掲載し、一般の方が確認できるようにしています。</p> <p>(3) スズメ蜂等害虫駆除 学校敷地内のスズメ蜂の巣を専門業者に依頼し、駆除を行っています。 平成 27 年度実施件数：6 回</p> <p>(4) 学校緊急無線通報システム 学校内に不審者が侵入した場合や事故等があった場合、即座に職員室に連絡が取れる緊急無線通報システムを平成 22 年度より活用しています。</p> <p>(5) 学校安全連絡網メール配信システム 平成 21 年度から運用しています安全連絡網メール配信システム（オクレンジャー）も、警察からの不審者情報をタイムリーに送信させていただくほか、緊急連絡網として活用しています。</p> <p>(6) 通学路合同点検の実施 通学路の継続的な安全確保の取り組みとして「安曇野市通学路交通安全プログラム」を策定し、地区・PTA 要望としてご提出いただいた、通学路危険箇所を警察、道路管理者、学校、地域の方々と点検を行い、改善等の対応をしています。 また、学校教育課としても「通学路」標識等の修繕、設置工事を実施しています。平成 27 年度設置件数：7 件</p>			
事業の課題及び方向性	児童・生徒の安全確保については、関係機関等との連携を強化し、情報共有を行いながら推進していきます。 情報共有としては、市地図情報システム「統合型GIS」に通学路情報を掲載するほか、安全マップの見直しを行います。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.11	事務事業名： 小・中学校施設改修事業	H27 年度決算額	472,065 千円												
事業の目的	1. 学校教育法に基づき、小・中学校施設を整備する。 2. 国が示す耐震性能を確保し、安全な施設環境を提供する。 3. 老朽化した施設を改修し、健全な施設環境を提供する。															
事業内容	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 2. 穂高南小学校プールの改築 3. 老朽化したトイレの改修 4. 老朽化したグラウンド防球ネットの改修															
達成状況	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 災害発生時に避難所となる体育館等の天井等の落下防止対策工事を行い、防災機能を強化しました。平成 27 年度は計画していた 4 箇所全てを施工しました。 <table border="1" data-bbox="418 779 1327 1032"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>工事請負費</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穂高西小講堂</td> <td>30,780,000 円</td> <td rowspan="4">           ・吊り天井撤去            ・高天井照明の耐震化            ・高天井照明の LED 化         </td> </tr> <tr> <td>三郷小第 2 体育館 (I 期)</td> <td>42,552,000 円</td> </tr> <tr> <td>豊科北中体育館</td> <td>78,840,000 円</td> </tr> <tr> <td>穂高東中講堂</td> <td>77,436,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				実施場所	工事請負費	主な内容	穂高西小講堂	30,780,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化	三郷小第 2 体育館 (I 期)	42,552,000 円	豊科北中体育館	78,840,000 円	穂高東中講堂	77,436,000 円
実施場所	工事請負費	主な内容														
穂高西小講堂	30,780,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化														
三郷小第 2 体育館 (I 期)	42,552,000 円															
豊科北中体育館	78,840,000 円															
穂高東中講堂	77,436,000 円															
	2. 穂高南小学校プールの改築 当事業は平成 26 年度に完了する予定でしたが、工事現場において埋蔵文化財発掘調査が行われたため、平成 27 年度へ事故繰越して実施しました。 工期：平成 26 年 9 月 29 日～平成 27 年 5 月 29 日 工事請負費：154,980,000 円															
	3. 老朽化したトイレの改修 平成 27 年度におけるトイレ改修は、1 校を計画して施工しました。 豊科北中学校大規模改造 (I 期) 工事 (I 期) 工事請負費：44,280,000 円															
	4. 老朽化したグラウンド防球ネットの改修 2 件の工事を計画して施工しました。 <table border="1" data-bbox="418 1509 1220 1662"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>工事請負費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穂高東中学校グラウンド防球ネット設置工事</td> <td>15,120,000 円</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校テニスコート防球ネット改修工事</td> <td>8,316,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				実施場所	工事請負費	穂高東中学校グラウンド防球ネット設置工事	15,120,000 円	三郷中学校テニスコート防球ネット改修工事	8,316,000 円						
実施場所	工事請負費															
穂高東中学校グラウンド防球ネット設置工事	15,120,000 円															
三郷中学校テニスコート防球ネット改修工事	8,316,000 円															
事業の課題及び方向性	体育館等の非構造部材耐震化工事については、学校の夏休みに工事が集中するなか、概ね計画どおりに実施することができました。国の予算事情により老朽対策工事への補助金交付が見込めない状況となっていることから、各施設の課題を整理して改修内容を検討していくことが求められています。															
自己評価	A															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

(様式)

事務事業	No.12	事務事業名： 給食事業	H27 年度決算額	320,868 千円
事業の目的	安曇野市学校給食理念（目標）に基づき、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食育の推進を図る。			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供</li> <li>2 食育への取り組みと地産地消の推進</li> <li>3 学校給食食材の安全確保の取り組み</li> <li>4 学校給食費の口座振替徴収の開始</li> </ol>			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の給食提供食数 約 8,720 食</li> <li>・年間の給食提供食数 約 1,744,000 食</li> <li>・アレルギー対応食提供者数 40 人</li> </ul> </li> <li>2 食育への取り組みと地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 回「安曇野の日」を設定し、地元食材を使用した献立の提供により地産地消の推進を図った（年 12 回、4 センター共通）</li> <li>・栄養教諭、栄養士等が学校訪問し、食育（栄養・食事のバランス・食の大切さ等）の直接指導を行った。（市内 17 校、314 クラス）</li> <li>・給食だよりの発行（給食提供日全クラス数発行、4 センター共通）</li> </ul> </li> <li>3 学校給食食材の安全確保の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の放射線測定の実施（H23. 11 月から） 全 347 食材（不検出）</li> <li>・県への学校給食食材放射物検査の依頼（H24. 4 月から 4 センター週 1 回） 全 42 食材（不検出）</li> </ul> </li> <li>4 学校給食費の口座振替徴収の開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替登録率 99.44%</li> <li>・給食費収納率 99.72%（前年比▲0.16ポイント）</li> </ul> </li> </ol>			
事業の課題及び方向性	<p>【課題】 稼働から 10 年以上を経過（北部センター除く）し、厨房設備・施設等の修繕費が増加しています。</p> <p>【方向性】 安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できるように管理運営を実施する。併せて、地元食材の使用拡大を進め地産地消推進と栄養教諭等の学校訪問を積極的に進め、食育の推進を図ります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.13	事務事業名： 青少年健全育成事業	H27 年度決算額	14,409 千円
事業の目的	青少年が心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての使命と役割に自覚をもって自立する力を育成する。			
事業内容	1 青少年センター事業 2 青少年体験事業 3 子ども会育成会支援			
達成状況	1 青少年センター事業 (1) 市の青少年健全育成の拠点となる「青少年センター」の事業において、広報・啓発、青少年相談、街頭巡回、社会環境浄化活動に取り組みました。 (2) 広報・啓発活動として、子どもを取り巻くネット社会の現状に関する講演会「子どもとのコミュニケーションを考える」を開催、広報紙の発行、青少年相談活動として、学校教育課と連携した相談対応、街頭巡回活動として、夏冬春休み中の5地域の街頭巡回、社会環境浄化活動として、有害図書・ビデオ等の自動販売機現地確認、青少年健全育成協力店加盟への協力要請を行いました。 2 青少年体験事業 (1) 「集まれ!あづみっ子祭り～豊科南部総合公園フェスティバル～」を9月5日に豊科南部総合公園にて行いました。幼児から中学生まで約2,000人が参加しました。 (2) 「子ども文化祭」を11月28日穂高交流学习センター「みらい」にて行いました。ステージ発表の部11団体、展示の部3団体、体験交流の部2団体が参加し、約300人の来場者がありました。 (3) 親子の絆を歌い、子どもから大人までを元気にするキッズミュージカル・エンターテインメントグループ「歌う海賊団ッ!」のライブを10月10日に堀金総合体育館サブアリーナで行い、307人の来場がありました。 (4) こども映画教室を開催し、小学生から高校生までの27人が5月から11月まで月1回の教室に参加し、自主映画作品「夏と君の思い出」「ははははは大丈夫?」の2本の映画を作成し、11月28日に穂高交流学习センター「みらい」において完成披露試写会を実施しました。 3 子ども会育成会支援 (1) 地域での子ども達の自主的な活動を推進させ、また、地域育成会の活動の活発化を目的に子ども会育成会活動への補助を行いました。 (2) 基本補助金(平等割、均等割) 99 地区育成会 (補助金:4,759,250円) (3) 活性化補助金 40 地区育成会 (補助金:1,597,000円)			
事業の課題及び方向性	青少年センター事業は、更なる充実を図っていく。 青少年体験事業は、多くの児童が参加できるように、興味を持てる新たな講座・イベントを企画していくことが課題である。 子ども会育成会支援については、活性化補助金の利用を推進していく。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.14	事務事業名： 成人式	H27 年度決算額	3,313 千円																																																
事業の目的	<p>当該年、成人となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、新成人としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市成人式を挙ります。</p> <p>この祝典を通じて、特に社会参加と、明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機とします。</p>																																																			
事業内容	<p>記念写真撮影 記念式典 交流会</p>																																																			
達成状況	<p>安曇野市で 10 回目となる成人式を開催しました。平成 28 年の成人式は安曇野スイス村サンモリッツを会場に 1 月 10 日（日）の連休中日に挙行され、対象者 1,028 人のうち 761 人の出席がありました。</p> <p>式典は進行などの役割を実行委員が行い、来賓約 60 人の御臨席いただき厳正に執り行われました。市から記念品として「袱紗」と「記念写真」を贈りました。なお、記念写真は、出身中学校別に当時の恩師も含め撮影したものです。</p> <p>式典後は、実行委員会制作の映像を鑑賞し、懐かしい給食を味わいながら交流会が行われました。</p> <p>※安曇野市成人式の出席の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出席者数</th> <th>対象者数</th> <th>出席率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>19</td><td>770</td><td>1,093</td><td>70.4</td></tr> <tr><td>20</td><td>768</td><td>1,130</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>21</td><td>724</td><td>1,069</td><td>67.7</td></tr> <tr><td>22</td><td>764</td><td>1,041</td><td>73.4</td></tr> <tr><td>23</td><td>743</td><td>1,028</td><td>72.3</td></tr> <tr><td>24</td><td>765</td><td>1,049</td><td>72.9</td></tr> <tr><td>25</td><td>747</td><td>1,041</td><td>71.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>716</td><td>979</td><td>73.1</td></tr> <tr><td>27</td><td>844</td><td>1,155</td><td>73.1</td></tr> <tr><td>28</td><td>761</td><td>1,028</td><td>74.0</td></tr> <tr><td>平均</td><td>760</td><td>1,061</td><td>71.6</td></tr> </tbody> </table>				年	出席者数	対象者数	出席率 (%)	19	770	1,093	70.4	20	768	1,130	68.0	21	724	1,069	67.7	22	764	1,041	73.4	23	743	1,028	72.3	24	765	1,049	72.9	25	747	1,041	71.8	26	716	979	73.1	27	844	1,155	73.1	28	761	1,028	74.0	平均	760	1,061	71.6
年	出席者数	対象者数	出席率 (%)																																																	
19	770	1,093	70.4																																																	
20	768	1,130	68.0																																																	
21	724	1,069	67.7																																																	
22	764	1,041	73.4																																																	
23	743	1,028	72.3																																																	
24	765	1,049	72.9																																																	
25	747	1,041	71.8																																																	
26	716	979	73.1																																																	
27	844	1,155	73.1																																																	
28	761	1,028	74.0																																																	
平均	760	1,061	71.6																																																	
事業の課題及び方向性	<p>成人式は、対象者は近年 1,000 人前後を推移しており、出席率についてはここ数年 70%以上の高い水準を維持しています。今後も実行委員と実施内容を検討し、記念となる式典になるよう努めます。</p>																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつもあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.15	事務事業名： 安曇野市1/2成人式	H27年度決算額	3,124千円
事業の目的	<p>安曇野市制施行10周年記念事業として実施。</p> <p>平成27年度に10歳を迎えた市内小学校4年生の児童を対象に、未来を担う子どもたちが一堂に会して市歌を斉唱し、安曇野市の将来像（こんな市になってほしい）を発表することで、合併10周年の節目にあらためて安曇野市としての一体感を醸成する。</p> <p>また、自らの夢や将来とともに自分が生まれ育った安曇野市の将来像を考える機会とすることで、故郷（安曇野市）への愛着心を育む。</p>			
事業内容	<p>安曇野市の将来像の発表（VTR上映）</p> <p>市歌斉唱</p> <p>記念講演</p> <p>未来への手紙</p>			
達成状況	<p>○安曇野市の将来像の発表</p> <p>各学校においてクラスごと「安曇野市の将来像」を考えてもらい、発表の様子を事前に収録し当日VTRを上映した。生まれ育った市の良いところや守りたいものなどを考える良い機会となった。また発表に使用した模造紙を当日会場のロビーに、11/27～12/4の間は市役所1階東ロビーに展示し、多くの人にご覧いただいた。</p> <p>○市歌斉唱</p> <p>学校において事前に練習を依頼し、当日は約900人の児童が声を合わせて市歌を斉唱した。市歌を市民に周知する良い機会となった。</p> <p>○記念講演</p> <p>「夢を叶えるために」講師 株式会社植松電機 専務取締役 植松 努氏 講演時間が65分と長時間ではあったが、後日学校で配付された「学年だより」などから、児童の心に残る話であったことが分かった。また保護者からも「講演が良かった」との感想が多数寄せられ、大変好評であった。</p> <p>○未来への手紙</p> <p>10年後の自分への手紙を一人ずつ書いてもらい回収した。手紙は10年後、成人式の案内状に同封し児童に送る予定。当日はその内容をVTRにして上映した。なお、手紙はロケットに入れ、教育長室隣の応接室において保管する。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>市制施行10周年記念事業として行った「安曇野市1/2成人式」は、市内の全ての小学校の同学年の児童が同じ場所で共通の体験を積み、安曇野に対する郷土愛や児童同士の絆を深める良い機会でしたので、代替で継続できる新たな事業展開が必要です。</p>			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



(様式)

事務事業	No.16	事務事業名： 安曇野検定	H27 年度決算額	1,015 千円																				
事業の目的	「合併6年を迎えるが、他地域のことを知る機会がない。市として市民の一体感を醸成するには、お互いの地域を知る機会が不可欠である」との市民の声から、平成23年度から「市民の一体感の醸成」を目的に『安曇野検定』を実施しています。																							
事業内容	検定（一般の部基礎編・上級編、ジュニアの部） 準備講座 合格者を対象としたブラッシュアップ講座																							
達成状況	<p>○検定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> <th>合格率</th> <th>※平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般の部（上級編）</td> <td>27人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> <td>26人（合格者なし）</td> </tr> <tr> <td>一般の部（基礎編）</td> <td>74人</td> <td>67人</td> <td>90.5%</td> <td>91人（合格者79人）</td> </tr> <tr> <td>ジュニアの部</td> <td>150人</td> <td>81人</td> <td>54.0%</td> <td>21人（合格者17人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般の部【基礎編及び上級編】 安曇野検定公式テキスト『安曇野の郷科書』（35問） 平成27年度 検定準備講座の内容（7問） 市制施行10周年記念号（広報10月7日発行）全戸配布の内容（8問）</li> <li>ジュニアの部 平成25年度発行「安曇野検定【総合編】ジュニアの部学習資料」（20問） 学校教材「わたしたちの安曇野」（30問）</li> </ul> <p>※合格基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般の部【基礎編】、ジュニアの部…100点満点中70点以上が合格</li> <li>一般の部【上級編】…100点満点中80点以上が合格</li> </ul> <p>○準備講座 安曇野市を知る講座として、現地学習を3回行い延べ95人が参加した。</p> <p>○ブラッシュアップ講座 過去の安曇野検定合格者を対象に実施。前期12人、後期14人の計26人参加し、前期は「拾ヶ堰」、後期は「穂高神社」をテーマにグループごとに調査研究して成果の発表を行った。</p>				区分	受検者	合格者	合格率	※平成26年度	一般の部（上級編）	27人	0人	0.0%	26人（合格者なし）	一般の部（基礎編）	74人	67人	90.5%	91人（合格者79人）	ジュニアの部	150人	81人	54.0%	21人（合格者17人）
区分	受検者	合格者	合格率	※平成26年度																				
一般の部（上級編）	27人	0人	0.0%	26人（合格者なし）																				
一般の部（基礎編）	74人	67人	90.5%	91人（合格者79人）																				
ジュニアの部	150人	81人	54.0%	21人（合格者17人）																				
事業の課題及び方向性	<p>安曇野検定は、開始から5年を経過し当初の目的については一定の役割を果たせたので、新たな展開を図る必要があります。</p> <p>今後は、準備講座の充実と新たに講師になる人材の育成のため検定合格者によるグループ結成にも取り組みます。</p>																							
自己評価	C																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

(様式)

事務事業	No.17	事務事業名： 社会教育講座事業	H27 年度決算額	3,389 千円
事業の目的	安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会を実現する。			
事業内容	市民大学講座（特別編 1 回・信州大学編 5 回） インターバル速歩体験講座（13 回） 学校開放講座（10 講座 75 回） 美的カレッジ（6 回） 日本語教室（原則毎週 1 回、4 会場）			
達成状況	○市民大学講座 特別編 会場：堀金総合体育館、参加者 70 人 演題：～いつでも どこでも すぐできる～「日常ながら運動」のススメ 講師：長野 茂さん（日常ながら運動推進協会代表） ○市民大学講座信州大学編 会場：穂高公民館 参加者延べ 187 人			
	演題		講師名	
	安曇野の戦国時代		人文学部 笹本正治 教授	
	コミュニティ・エネルギーと持続可能な地域		人文学部 茅野恒秀 准教授	
	信州とうがらし物語		農学部 松島憲一 准教授	
	グリム童話のルーツをたどって		人文学部 株丹洋一 教授	
	2014 年長野県神城断層地震と長野県の活断層		教育学部 廣内大助 教授	
○インターバル速歩体験講座 会場：穂高総合体育館 通算 13 回参加者 43 人  ○学校開放講座 参加者延べ 609 人 南安曇農業高等学校、豊科高等学校、穂高商業高等学校、明科高等学校、穂高南小学校で実施  ○美的カレッジ（20 歳から 35 歳以下の女性対象） 延べ参加者 32 人 マネー・ライフプラン、テーブルマナーなど 6 講座を実施  ○日本語教室 延べ 1,208 人 豊科、穂高、三郷及び堀金で原則毎週 1 回開催				
事業の課題及び方向性	広報誌やホームページへの掲載、ポスター掲示、チラシの配布などで周知を努めていますが、特に若年層への情報提供が難しい。 時代の潮流にあった事業展開をするとともに、情報伝達方法を工夫し市民の要望に応じた内容を企画します。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

(様式)

事務事業	No.18	事務事業名： 社会教育団体への補助	H27 年度決算額	1,289 千円																																																																													
事業の目的	予算の範囲内で補助金を交付し、社会教育事業及び生涯学習事業の推進を図る。																																																																																
事業内容	社会教育推進事業及び芸術文化協会の運営への補助金交付																																																																																
達成状況	<p>○安曇野市社会教育事業補助金交付要綱による社会教育団体への補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付先</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安曇野市連合婦人会</td> <td>90,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市太鼓連盟</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市鈴虫を育てる会</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市囲碁・将棋大会</td> <td>108,676 円</td> </tr> <tr> <td>芸術文化協会</td> <td>850,200 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,288,876 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>各種団体での社会教育事業及び地域芸術文化協会の運営は円滑に行われ適正に遂行されていた。</p> <p>参考：芸術文化協会の状況 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>比較 (21:27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科</td> <td>440</td> <td>430</td> <td>394</td> <td>374</td> <td>355</td> <td>353</td> <td>309</td> <td>△ 131</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>742</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>575</td> <td>548</td> <td>517</td> <td>500</td> <td>△ 242</td> </tr> <tr> <td>三郷</td> <td>479</td> <td>467</td> <td>431</td> <td>417</td> <td>368</td> <td>361</td> <td>405</td> <td>△ 74</td> </tr> <tr> <td>堀金</td> <td>327</td> <td>340</td> <td>293</td> <td>276</td> <td>291</td> <td>277</td> <td>280</td> <td>△ 47</td> </tr> <tr> <td>明科</td> <td>150</td> <td>226</td> <td>218</td> <td>217</td> <td>250</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,138</td> <td>2,135</td> <td>2,008</td> <td>1,859</td> <td>1,812</td> <td>1,748</td> <td>1,734</td> <td>△ 404</td> </tr> </tbody> </table>				交付先	補助金額	安曇野市連合婦人会	90,000 円	安曇野市太鼓連盟	200,000 円	安曇野市鈴虫を育てる会	40,000 円	安曇野市囲碁・将棋大会	108,676 円	芸術文化協会	850,200 円	合計	1,288,876 円	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	比較 (21:27)	豊科	440	430	394	374	355	353	309	△ 131	穂高	742	672	672	575	548	517	500	△ 242	三郷	479	467	431	417	368	361	405	△ 74	堀金	327	340	293	276	291	277	280	△ 47	明科	150	226	218	217	250	240	240	90	合計	2,138	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	△ 404
	交付先	補助金額																																																																															
安曇野市連合婦人会	90,000 円																																																																																
安曇野市太鼓連盟	200,000 円																																																																																
安曇野市鈴虫を育てる会	40,000 円																																																																																
安曇野市囲碁・将棋大会	108,676 円																																																																																
芸術文化協会	850,200 円																																																																																
合計	1,288,876 円																																																																																
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	比較 (21:27)																																																																									
豊科	440	430	394	374	355	353	309	△ 131																																																																									
穂高	742	672	672	575	548	517	500	△ 242																																																																									
三郷	479	467	431	417	368	361	405	△ 74																																																																									
堀金	327	340	293	276	291	277	280	△ 47																																																																									
明科	150	226	218	217	250	240	240	90																																																																									
合計	2,138	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	△ 404																																																																									
事業の課題及び方向性	<p>交付先が、固定化しており新規事業の参入がみられない。</p> <p>社会教育事業を推進するため、要望を把握するとともに従来事業の内容精査、自立を促します。</p>																																																																																
自己評価	C																																																																																

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.19	事務事業名： 放課後・家庭教育推進事業	H27 年度決算額	7,991 千円			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の子どもの居場所として学校の施設を使用し、1年生から6年生までの異年齢の子どもが交じりあい、十分に遊びさらに地域の人たちと関わることで、たくましさや社会性を養う。</li> <li>・子どもが健やかに成長できるよう家庭教育の支援を行い、社会性のある自立した子どもを育てる。</li> </ul>						
事業内容	1 放課後子ども教室推進事業 2 家庭教育支援事業						
達成状況	1 放課後子ども教室推進事業 市内 10 小学校の施設を利用して、週 1 回の放課後子ども教室「わいわいランド」を開催しました。登録数、利用数とも昨年より増加しています。						
	学校名	コード イネー ター	教育活 動サポ ーター	登録児 童数	開催日 数	延べ出席 人 数	1 回平 均出席 人数
	豊科南	2	13	89	30	2,405	80
	豊科北	2	9	72	30	1,904	63
	豊科東	2	10	49	32	1,362	43
	穂高南	2	13	153	30	4,506	150
	穂高北	2	13	146	28	3,824	137
	穂高西	2	12	66	30	1,976	66
	三 郷	2	14	124	32	3454	108
	堀 金	3	17	143	29	3702	128
	明 南	2	10	46	32	1,344	42
	明 北	2	15	44	33	1,429	43
	合 計	21	126	932	306	25,906	85
	H26 年度	20	135	806	291	20,809	71
	2 家庭教育支援事業 家庭教育支援チーム 2 人を配置し、家庭教育に関する情報提供として「かわらばん ポケット」を年 11 回発行しました。また、子育て講演会を 2 回（参加者 1 回目 30 人、2 回目 10 人）行いました。						
事業の課題及び方向性	放課後子ども教室推進事業については、利用が増えていることから継続、充実を図っていきます。 家庭教育支援事業は、他部署の事業との比較検討を行い、効率化集約化を検討します。						
自己評価	C						

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.20	事務事業名： 中央公民館事業	H27 年度決算額	52,310 千円
事業の目的	地域の社会教育機関として、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する」ための『安曇野市公民館』の運営。			
事業内容	公民館運営審議会の運営 安曇野市公民館大会の開催 安曇野市公民館報の発行 安曇野市総合芸術展の開催 地区公民館活動及び建設補助金の交付			
達成状況	<p>○公民館運営審議会に諮問し答申を受け『安曇野市公民館の理念』を制定し、地域の社会教育機関としての役割を明確にして、地域住民の交流と学習の場としてあり続けるため、館長以下職員の公民館運営方針を統一した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">—安曇野市公民館の理念（平成 27 年 10 月 26 日制定）—</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域づくりを地区公民館とともに進めます。</li> <li>2 地域のつなぎ役として、各種団体と連携し交流を進めます。</li> <li>3 事業の継続性を大事にしながら、時代に即したものに発展させます。</li> <li>4 市民に最も身近な生涯学習活動の場を提供します。</li> </ol> </div> <p>○「安曇野市公民館大会」を 5 月 17 日に開催し、約 350 人が参加しました。功労者・地区公民館報表彰、事例発表を豊科光地区公民館が、また「自治公民館の活動から、信州公民館の原点を考える」と題して、飯田市公民館の木下巨一副館長による講演を行いました。</p> <p>○安曇野市公民館報は市民 4 人の編集委員の参加により、地域で活躍しているリーダーやグループ、地区公民館の活動紹介などの記事を掲載し 6 回発行しました。</p> <p>○「安曇野市総合芸術展」を 3 月 4 日から 23 日にかけて豊科交流学習センター「きぼう」で開催し、絵画・写真・彫刻などの分野から 92 点を展示し、観覧者数は延べ 1,304 人と過去最高になりました。</p> <p>○地区公民館活動補助金として 98 地区公民館へ計 30,825,000 円と地区公民館建設補助金を 4 地区公民館に計 17,183,806 円の補助を行い、地区公民館を支援しました。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>公民館は、地域づくりを担うとともに市民の生涯学習の場を一層提供する必要があります。</p> <p>制定した「安曇野市公民館の理念」の下、公民館の運営は時代に即した展開を具体的に図ります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.21	事務事業名： 交流学習センター運営	H27 年度決算額	74,327 千円
事業の目的	市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、適正かつ円滑に管理運営します。			
事業内容	図書館を核とした複合施設、安曇野市穂高交流学習センター、安曇野市豊科交流学習センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学習施設の3施設の管理運営(施設管理、貸館事業、自主企画事業他)。			
達成状況	<p>○穂高交流学習センター</p> <p>貸館事業が順調で、総入館者数も295,901人(前年比105.6%)と過去最高でした。ジュニアの部を設けて実施した「あづみの新進音楽家公開オーディション」、前記オーディションで選出された8組の出演者による「あづみのジュニアクラシック音楽会」、「ヒダノ修一 with 太鼓マスタースコンサート」などの安曇野市制施行10周年事業や、「佐藤嘉市と大正期の常念岳登山」展、「安曇野の方言展」、「市民マイコレクション」展などを開催、市内の各地域へも出前コンサートや巡回展示などアウトリーチも実施しました。</p> <p>○豊科交流学習センター</p> <p>開館5周年記念事業などを実施し、総入館者数は191,429人(前年比123.5%)で過去最高でした。熊井啓監督作品「千の利休本覺坊遺文」の上映会を午前・午後の2回上映し、午後の部には講演会と共に開催、大勢(午前177人・午後182人→計359人)の方にご来場いただき、好評でした。</p> <p>○明科子どもと大人の交流学習施設</p> <p>明科学習館、明科図書館、明科児童館の3館からなる複合施設で、学習館部門にはホール(100人収容)の他、講義室、和室、実習室などの施設があり、演劇、太極拳など様々な団体が活発に活動しています。「安曇野の方言」巡回展、「アンサンブル藝弦」の出前コンサートを開催、臼井則孔氏による手回しオルゴールイベントや、「おたのしみイベント」などを開催、好評でした。</p> <p>ホール・学習室・講義室等の稼働率は、26.3%(年間実使用時間/可能時間)でした。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>【課題】</p> <p>利便性の向上を図るため、交流学習センターの空き状況の照会や、仮予約を行うことが出来るよう「公共施設予約システム」によるサービスの開始を検討します。</p> <p>【方向性】</p> <p>各施設の認知度や満足度の向上を目指しつつ、利用者ニーズにあった自主企画事業等を引き続き実施していきます。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.22	事務事業名： 図書館活動の推進事業	H27 年度決算額	189,452 千円																																																																																																						
事業の目的	市民へ質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」として多様化する市民の「学び」のニーズに応える図書館の確立を進めています。																																																																																																									
事業内容	1 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実 3 「地域の教育力」を高める活動の推進 4 図書館利用に障がいのある方々への支援 5 安曇野市の歴史文化の伝承 6 市民の調査・研究支援体制の強化援助																																																																																																									
達成状況	1 図書館基本計画（平成 21 年 9 月策定）のサービス目標値と平成 27 年度末の状況 (1) 全館 <table border="1" data-bbox="464 893 1393 1106"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人登録率</th> <th>市民 1 人あたりの貸出点数</th> <th>団体登録数</th> <th>蔵書総点数</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>39.5%</td> <td>5.6</td> <td>150</td> <td>400,000</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>41.1%</td> <td>7.7</td> <td>209</td> <td>385,681</td> <td>193,106</td> </tr> </tbody> </table> (2) 館別 <table border="1" data-bbox="464 1200 1393 1906"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人貸出点数</th> <th>団体貸出点数</th> <th>予約件数</th> <th>レファレンスサービス件数</th> <th>総蔵書点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>目標値</td> <td>215,000</td> <td>28,000</td> <td>3,800</td> <td>250</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>486,420</td> <td>9,914</td> <td>11,948</td> <td>1,600</td> <td>198,097</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊科</td> <td>目標値</td> <td>160,000</td> <td>3,100</td> <td>3,500</td> <td>150</td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>165,752</td> <td>5,716</td> <td>6,918</td> <td>1,583</td> <td>79,458</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">三郷</td> <td>目標値</td> <td>86,000</td> <td>1,700</td> <td>3,200</td> <td>100</td> <td>53,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>34,443</td> <td>2,820</td> <td>2,630</td> <td>96</td> <td>33,622</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">堀金</td> <td>目標値</td> <td>45,000</td> <td>900</td> <td>2,000</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>21,080</td> <td>1,095</td> <td>1,309</td> <td>0</td> <td>27,834</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">明科</td> <td>目標値</td> <td>54,000</td> <td>900</td> <td>2,700</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>29,685</td> <td>1,620</td> <td>1,880</td> <td>135</td> <td>46,670</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>目標値</td> <td>560,000</td> <td>34,600</td> <td>15,200</td> <td>600</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>H27 年度末</td> <td>737,380</td> <td>21,165</td> <td>24,685</td> <td>3,414</td> <td>385,681</td> </tr> </tbody> </table> ※ 目標値は、中央・明科は、平成 26 年度、その他は、整備後 5 年以内				項目	個人登録率	市民 1 人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数	目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000	H27 年度末	41.1%	7.7	209	385,681	193,106	項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数	中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000	H27 年度末	486,420	9,914	11,948	1,600	198,097	豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000	H27 年度末	165,752	5,716	6,918	1,583	79,458	三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000	H27 年度末	34,443	2,820	2,630	96	33,622	堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000	H27 年度末	21,080	1,095	1,309	0	27,834	明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000	H27 年度末	29,685	1,620	1,880	135	46,670	合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000	H27 年度末	737,380	21,165	24,685	3,414	385,681
項目	個人登録率	市民 1 人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数																																																																																																					
目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000																																																																																																					
H27 年度末	41.1%	7.7	209	385,681	193,106																																																																																																					
項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数																																																																																																					
中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000																																																																																																				
	H27 年度末	486,420	9,914	11,948	1,600	198,097																																																																																																				
豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000																																																																																																				
	H27 年度末	165,752	5,716	6,918	1,583	79,458																																																																																																				
三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000																																																																																																				
	H27 年度末	34,443	2,820	2,630	96	33,622																																																																																																				
堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000																																																																																																				
	H27 年度末	21,080	1,095	1,309	0	27,834																																																																																																				
明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000																																																																																																				
	H27 年度末	29,685	1,620	1,880	135	46,670																																																																																																				
合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000																																																																																																				
	H27 年度末	737,380	21,165	24,685	3,414	385,681																																																																																																				

事業の課題及び方向性	<p>1 課題</p> <p>平成 21 年 9 月に中央、平成 23 年 2 月に豊科、平成 28 年 4 月に堀金、平成 29 年度に三郷の各図書館の整備が終了または終了見込みであること、平成 25 年 5 月からインターネット等を利用した図書等予約サービス・蔵書検索などの機能を充実されたことなど施設面での整備は進みました。これからは、施設整備後の図書館運営、サービス等のあり方を検討していく必要があります。</p> <p>2 方向性</p> <p>三郷・堀金館の計画的な資料の充実を図っていくとともに、少子高齢化・高度情報化等の社会の変化に対応した施設整備後の図書館サービスのあり方を平成 29 年度にかけて策定する第 2 次図書館基本計画の中で検討していきます。</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



(様式)

事務事業	No.23	事務事業名： 人権教育推進事業	H27 年度決算額	2,420 千円
事業の目的	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を推進する。			
事業内容	人権教育推進委員会・人権教育指導員合同会議運営 「人権のつどい」の開催 企業人権教育推進協議会の運営 地域人権教育推進協議会、学社連携事業、地区人権学習会支援			
達成状況	<p>安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市民的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進しました。</p> <p>○全市的取り組み</p> <p>学校、地域、家庭、職場が一体となった人権教育推進に向けて人権教育推進委員会小委員会、人権教育推進委員会・人権教育指導員の会の合同会議をそれぞれ2回開催し、合同会議では、研修として講演会を実施しました。</p> <p>また、12月の人権週間に人権男女共同参画課と共催で、「人権のつどい」を開催し、俳優・心理トレーナー水澤心吾さんから「決断 命のピザ～SEMPO 杉原千畝物語～」と題し一人芝居を演じていただき、人権についてあらためて考える機会となりました。</p> <p>企業人権教育推進協議会は設立6年目となり、31企業 53事業所が加入しています（H28.2月現在）。本年度は総会、理事会に加え、2回の啓発講演会を実施しました。</p> <p>○各地域の取り組み</p> <p>人権教育推進協議会の開催のほか学社連携事業として、小中学校人権教育推進協議会と連携し、地域ごとに人権教育推進委員・指導員が授業参観、講演会、懇談会などへ参加しました。</p> <p>また、地区公民館での人権学習会開催を支援し、地区の現状に応じて扱いやすいテーマで98全ての地区公民館で実施されました。高齢者、女性、子どもの人権などの人権問題について幅広い学習が行われました。</p> <p>豊科では人権尊重作文、穂高では人権啓発作品展を実施しました。</p>			
事業の課題及び方向性	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を継続的に推進する必要があります。			
	豊科地域で実施している人権尊重作文の作品集は、有意義であるため全市的事業として取り組みます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.24	事務事業名： 体育団体補助	H27 年度決算額	10,600 千円
事業の目的	市民のスポーツ振興、健康体力づくりの推進、競技力向上などの活動に対する支援を目的に、体育協会（登録者：約 6,000 人）及びスポーツ少年団（登録者：約 1,800 人）の活動に対して助成する。			
事業内容	①体育協会に対しては対象事業費の 2 分の 1 以内で予算の範囲内の助成 (6,200 千円) ②スポーツ少年団に対しては対象事業費の 3 分の 2 以内で予算の範囲内の助成 (4,400 千円) ※何れも「安曇野市社会教育事業補助金交付要綱」による			
達成状況	数値目標（安曇野市スポーツ振興計画 25 ページより） 体育協会加入者数 平成 21 年度：6,881 人 → 平成 29 年度：8,000 人 ※スポーツ少年団の目標数値はない。  体育協会について、平成 21 年度の状況と平成 27 年度の状況を比較した場合、加入者数は減少しているが、平成 25～27 年度の 3 ケ年においては横這いという状況である。体育協会では、設立 10 周年を迎える平成 28 年度に向けて、NPO 法人化に向けた取り組みなど、積極的な事業が行われているものと考えている。スポーツ離れなどが加速する中で、目標数値である 8,000 人の達成は難しいものと思われるが、市民のスポーツ振興の一翼は担っているものと考えている。 スポーツ少年団については、近年、横這いの登録者数となっている。少子化が進む中で、団員の確保が難しい中、登録している団員数が県内で第 2 位となっていることは評価できるものと考えている。			
事業の課題及び方向性	体育協会については、NPO 法人化に向けて更に積極的な事業展開をしていただき、市のスポーツ推進事業への協力をお願いしたいと考えています。 スポーツ少年団については、指導者の確保や養成などの点で課題があるものと思われます。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.25	事務事業名： 市民スポーツ祭	H27 年度決算額	1,500 千円
事業の目的	市民スポーツ祭に必要な準備と円滑な運営を行うことを目的として、実行委員会に委託する。			
事業内容	17 の種目別競技会と総合開会式（及びスポーツ交流会、体力測定）の開催			
達成状況	<p>平成 27 年度で第 6 回目の開催となった。</p> <p>17 の種目別競技会（6～12 月）には、2,560 人の参加があった。また、総合開会式（6 月 28 日）には約 300 人の参加があり、希望者は開会式終了後にスポーツ交流会や体力測定を行った。</p> <p>※目標数値等はない。</p> <p>※例年、参加者は 2,500 人前後で推移している。</p>			
事業の課題及び方向性	平成 27 年度で第 6 回目となったが、総合開会式のあり方（内容のマンネリ化）や 17 種目の種目別競技会が半年間に亘って開催されていることなど、改善を要望する声があがっています。新たな試みなどに着手し、多くの方々が参加できるようにしていくことが望まれます。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.26	事務事業名： 公式スポーツ施設整備計画策定 (H26～H27)	H27 年度決算額	786 千円 (H26-5, 443 千円)
事業の目的	安曇野市公式スポーツ施設整備計画は、平成 23 年度に策定された、スポーツ振興計画における施策のひとつである「公共スポーツ施設の整備・充実」を具体化することを目的に検討されたものです。			
事業内容	この計画では、安曇野地域合併協議会の合意項目にも上げられ、新市で調整することとなっていた南部総合公園屋内運動施設や「公共施設白書」(平成 25 年度)に盛り込まれている公共施設の統合・再整理等を検討する中で、市内だけでなく市外や県外からの利用を想定し、規模の大きな大会にも利用が可能となる施設の整備を重点に計画を取りまとめました。			
達成状況	<p>計画の策定にあたり、昨年 10 月に「公式スポーツ施設整備計画策定委員会」を設置し、委員から専門的な立場で計画の策定に係る提言をいただき、その案を基に平成 27 年 6 月、「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」を策定した。</p> <p>なお、庁内においては、関係部署による庁内会議、スポーツに精通する職員による作業部会を設置し、調査、研究を重ねた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・策定委員会 6 回開催</li><li>・庁内会議 3 回開催 (合同会議を含む)</li><li>・作業部会 6 回開催 (合同会議を含む)</li></ul> <p>この計画においては、新規施設の整備の緊急性と必要性を整理し、実施に向けた優先順位を検討した。新規の施設整備として優先するのは体育館と野球場であるが、テニスコート、陸上競技練習機能施設については拠点化施設の整備に合わせて、サッカー場については現存施設の機能強化として整備することとしました。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>平成 27 年 10 月に「公式スポーツ施設整備推進庁内プロジェクトチーム」を設置し、計画に掲げた施設の早期整備を図っていますが、計画の実現に向けては次のような条件があげられています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・財源の確保</li><li>・早期整備候補施設の整備位置の特定</li><li>・法規制への対応 (都市公園法と公園施設、農地法と用地)</li><li>・施設の統廃合への配慮</li><li>・関係者・地元等の合意形成</li><li>・整備スケジュールの具体化</li></ul> <p>また、平成 28 年 3 月から、整備の緊急度・必要性が最も高いとされた、新総合体育館の整備基本計画の策定に取り掛かっています。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.27	事務事業名： 社会体育講座事業	H27 年度決算額	6,097 千円
事業の目的	運動をするきっかけづくりのための教室やその後の継続性を高めるためのサークル化に向けた支援などを行い、スポーツ実施率*の向上を目指す。 また、幼児期の体力向上に向けた取り組みとして、市内保育園の9園に講師を派遣し、コーディネーショントレーニングを行う。 ※スポーツ実施率：過去1年間に週に1回以上、運動・スポーツを行った成人の割合			
事業内容	①子どもや親子を対象にして、主に8種類の教室を開催 (親子体操教室、親子ウキウキ体操教室、わんぱくGYM、コーディネーションキッズ教室・学ぶ会・幼保派遣事業、アーチェリー、ランニングクリニック) ②成人を対象として、主に9種類の教室を開催 (ランニングクリニック、エアロビクス系の教室、ニュースポーツ、リズム体操、ウォーキング、ウェーブリングストレッチ、ポールウォーキング)			
達成状況	上記の教室で延べ6,920人(①：延べ4,854人、②：延べ2,066人)の参加があった。平成26年度から教室数を増やしており、徐々にではあるが、出席人数は増加している。 全教室の平均出席率は75%となっている。また、全教室でアンケートを実施して、参加者の動向を把握し、次年度の計画に役立てている。 数値目標(安曇野市スポーツ振興計画25ページより) スポーツ実施率 平成21年度：26.8% → 平成29年度：50.0% ※平成28年度に市民アンケートを実施し、状況を把握する予定。			
事業の課題及び方向性	・出席率が低い教室を廃止し、アンケートなどで希望の多かったものなどを積極的に導入するなど、取捨選択をし、参加率の向上を図っていきたいと考えています。(現在の職員体制では、これ以上、教室数を増やすことが難しいため、内容の充実を図っていく方向性となります) ・教室に参加した方が、教室終了後に継続して運動を続けることが理想であるが、その動向調査等は実施していないため、詳細が分からない状況です。 ・市内にはトレーニングジムが少ない。市民の要望の中に、個人が好きな時間に来て、トレーニングができるスペースを確保してほしい、との要望もあります。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.28	事務事業名： 文化芸術振興事業	H27 年度決算額	2,970 千円
事業の目的	子供や高齢者、障がいのある人など、全ての市民がすぐれた文化芸術に接することができるよう、展覧会やコンサートなどの内容を充実するとともに鑑賞しやすい環境づくりを進める。 市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容鑑賞するだけでなく、搜索や発表へと発展し自己実現を図ることができる環境づくりを推進する。			
事業内容	「文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現に向け諸事業を実施しました。 (1) 東京藝術大学との交流事業の開催 第1回：6月6日(土) 第2回：11月7日(土)・8日(日) 第3回：2月6日(土)7日(日) (2) 能楽教室の開催 6月23日(火)：穂高東中学校 6月24日(水)：穂高南小学校 (3) 文化講演会の開催 テーマ「珍生物を通して知る身近な自然～安曇野の外来生物を中心に」 (講師：平坂寛氏) 2月13日(土) 82人 (4) 昔の暮らし体験教室の開催 市内小学校の3年生を対象とした出前講座。穂高郷土資料館で所蔵している民俗資料に触れて使い方を体験してもらう。 期間 1月～2月(市内10校)			
達成状況	(1) 東京藝術大学との交流事業 参加生徒数 208人(目標150人) 合同コンサート来場者数 286人(目標400人) (2) 能楽教室 鑑賞者数 1,088人 (3) 文化講演会 来場者数 82人 (4) 昔の暮らし体験教室の開催 896人			
事業の課題及び方向性	平成30年度に計画期間が始まる「第2次文化振興計画」策定に当たっては、「文化振興計画」の事業結果と現況とのすり合わせを行い、事業実施の改善にむけて、長期目標を定めたいと考えています。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.29	事務事業名：諸団体との協働事業	H27 年度決算額	12,767 千円
事業の目的	安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。			
事業内容	<p>諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出し、豊かで潤いある市民生活の実現を目指しました。</p> <p>(1) 第 16 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 4 月 12 日(日) 報償費：64,380 円 (2) 第 11 回あづみの公園早春賦音楽祭 5 月 4 日(月) 補助金：2,000,000 円 (3) 第 52 回童謡まつり 5 月 5 日(火) 補助金：500,000 円 (4) 第 25 回信州安曇野薪能 8 月 22 日(土) 補助金：5,000,000 円 (5) 『安曇野文化』刊行 第 15 号～18 号発行 補助金：1,800,000 円 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成・年間行事予定表デザイン印刷業務委託料 142,560 円 イ スタンプラリー・ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか 学校ミュージアム 1 月 22 日(金)：明北小学校 1 月 27 日(水)：三郷中学校 (7) あづみのフィルムアーカイブ事業：3,780,000 円 ア 市民団体と協働し、各家庭に眠る昭和 50 年代前半までの 8mm フィルムを収集し、電子データ化を行ない保存・活用を図る。 イ 映画『よみがえる安曇野』の制作と上映会の開催 (8) 市制施行 10 周年記念企画展「興味津々あづみの FOOD」 会期 6 月 27 日(土)～8 月 30 日(日) 会場 豊科郷土博物館 市商工会からの共催金：284,196 円</p>			
達成状況	<p>諸団体との協働事業</p> <p>(1) 第 16 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 参加者数 30 人 (2) 第 11 回あづみの公園早春賦音楽祭 来場者数 14,018 人 (3) 第 52 回童謡まつり 来場者数 230 人 (4) 第 25 回信州安曇野薪能 来場者数 797 人 (5) 『安曇野文化』刊行 第 15 号～18 号発行 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成 市立美術館・博物館の年間行事予定一覧表を全校児童・生徒に配布。 イ スタンプラリー・ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか 文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施。児童の利用促進に結び付けることができた。 計 1,770 人 (7) あづみのフィルムアーカイブ事業 (収集した 8mm 276 本) ア 映画『よみがえる安曇野』の制作と上映 上映会来場者 370 人</p>			

	(8) 市制施行 10 周年記念企画展「興味津々あづみの FOOD」 入館者 1,645 人
事業の課題及び方向性	各事業とも、合併以前より各町村が行ってきた文化事業を継続して行っており、マンネリ傾向にあります。「信州安曇野薪能事業」は会場となる龍門淵公園周辺の整備工事に伴い、数年にわたり同会場での事業実施が困難な見込みです。
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



(様式)

事務事業	No.30	事務事業名： 財政支援団体への補助	H27 年度決算額	7,540 千円
事業の目的	市民がライフステージに合わせて幅広く文化活動に参加し、日々の生活を充実させ、楽しむことができるように、身近な地域に文化芸術活動に参加できる場と機会が設けられるように支援する。 次代の文化活動の担い手の育成に努める。特に、子どもたちが、学校、地域、家庭などの身近な場所で参加、体験、学習できるような文化活動、教育機会の充実を図る。 専門的な人材を確保し、市民の多様な文化芸術活動を支える体制を充実させる。			
事業内容	財政支援団体への補助金交付 (1) 財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金：5,400,000 円 (2) 財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金：1,140,000 円 (3) 田淵行男賞写真作品公募事業補助 補助金：500,000 円			
達成状況	1 財政支援団体の活動状況 (1) 財団法人安曇野文化財団運営補助 生活工芸品の管理・活用、財団の管理運営（事務局業務）を実施した。 (2) 財団法人井口喜源治記念館運営補助 井口喜源治の遺産を大切に保管・管理し、各種事業を実施した。 (2) 田淵行男賞写真作品公募事業補助 事業を通して田淵行男及び施設の周知ができた。応募総数 87 点			
事業の課題及び方向性	財政支援団体の活動にあたっては、事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要。事業実施にあたって、各団体と連絡を密にし、効果的な事業推進を図ります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

(様式)

事務事業	No.31	事務事業名： 博物館・美術館等の管理運営	H27 年度決算額	165,513 千円																																					
事業の目的	<p>市民ニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある企画を実現できるよう、利用形態や運営方針の改善に努めるほか、施設間の連携強化を図る。 市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図る。</p>																																								
事業内容	<p>1. 豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・白井吉見文学館・高橋節郎記念美術館・豊科郷土博物館・貞享義民記念館・穂高郷土資料館の管理運営を行う。</p> <p>2. 博物館・美術館等の管理運営、資料の収集については下記で審議。 (1) 博物館協議会 登録博物館 4 館及び類似施設 5 館の管理運営状況等について協議。全 3 回 (2) 美術資料等選定委員会：美術資料の収集について協議。全 2 回</p> <p>3. 「新市立博物館構想」を策定し、今後の安曇野市の博物館等の方向性を規定。</p>																																								
達成状況	<p>1. 博物館等の運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>運営</th> <th>指定管理料</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科近代美術館</td> <td rowspan="4">(公財)安曇野文 化財団</td> <td>37,296,000 円</td> <td>19,607 人</td> </tr> <tr> <td>田淵行男記念館</td> <td>23,272,000 円</td> <td>6,879 人</td> </tr> <tr> <td>飯沼飛行士記念館</td> <td>2,292,000 円</td> <td>734 人</td> </tr> <tr> <td>穂高陶芸会館</td> <td>6,814,000 円</td> <td>2,502 人</td> </tr> <tr> <td>白井吉見文学館</td> <td>ほたるぶくろの会</td> <td>2,185,000 円</td> <td>452 人</td> </tr> <tr> <td>高橋節郎記念美術館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>12,153 人</td> </tr> <tr> <td>豊科郷土博物館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>10,016 人</td> </tr> <tr> <td>貞享義民記念館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>7,531 人</td> </tr> <tr> <td>穂高郷土資料館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>1,477 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 目標数値等 (1) 高橋節郎記念美術館 貸出施設（主屋・南の蔵）の稼働率（年間実使用时间／使用可能時間）：58.6% (2) 貞享義民記念館 貸出施設（企画展示室）の稼働率（年間実使用日数／使用可能日数）：65.58% 貸出施設（研修室）の稼働率（年間実使用时间／使用可能時間）：6.41%</p>				施設名	運営	指定管理料	入館者数	豊科近代美術館	(公財)安曇野文 化財団	37,296,000 円	19,607 人	田淵行男記念館	23,272,000 円	6,879 人	飯沼飛行士記念館	2,292,000 円	734 人	穂高陶芸会館	6,814,000 円	2,502 人	白井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	452 人	高橋節郎記念美術館	直営	-	12,153 人	豊科郷土博物館	直営	-	10,016 人	貞享義民記念館	直営	-	7,531 人	穂高郷土資料館	直営	-	1,477 人
施設名	運営	指定管理料	入館者数																																						
豊科近代美術館	(公財)安曇野文 化財団	37,296,000 円	19,607 人																																						
田淵行男記念館		23,272,000 円	6,879 人																																						
飯沼飛行士記念館		2,292,000 円	734 人																																						
穂高陶芸会館		6,814,000 円	2,502 人																																						
白井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	452 人																																						
高橋節郎記念美術館	直営	-	12,153 人																																						
豊科郷土博物館	直営	-	10,016 人																																						
貞享義民記念館	直営	-	7,531 人																																						
穂高郷土資料館	直営	-	1,477 人																																						
事業の課題及び方向性	<p>「新市立博物館構想」に基づき、一部の施設の統廃合について検討したいと考えます。歴史的な価値のある公文書や、古文書の収集・整理を引き続き実施、蓄積された貴重な資料を有効に活用するために、文書館の開館を目指したいと考えています。</p>																																								
自己評価	B																																								

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

平成 28 年 12 月 22 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

<b>議案第 4 号</b>	教育部 各課
平成 28 年 12 月 22 日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	学校教育課 後援 1 件 文化課 後援 1 件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</li><li>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</li><li>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</li></ol> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 国又は地方公共団体</li><li>(2) 学校又は学校の連合体</li></ol> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</li><li>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</li><li>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</li><li>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</li><li>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</li><li>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</li></ol> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 前条第 1 項に規定する行事</li><li>(2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）</li></ol>	

教育部 学校教育課 共催・後援台帳(平成28年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課 意見
24	H28.12.16	学校教育課	作業学習まとめ 2月校外販売	長野県安曇養護学校高等部 教諭 清澤 由香	長野県安曇養護学校高等部	後援	安曇野市在住の生徒が多数在籍し、日々作業に励んでいるため。	12月16日	平成29年2月11日		月 日	破山公園 研成ホール about us	支援を必要とする多くの生徒の活動内容や状況を広く知っていただき、理解を深めるとともに多くの方の賛同と支援をいただきたいため。	食品・陶芸・布製品など、生徒達が1つ1つ心を込めて作った製品を、生徒自らが販売する。	--	--	--	基準第3条2により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成28年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課 意見
84	H28.12.15	文化	岩合光昭写真展「ねこ」	株式会社 井上 代表取締役 井上 隆	株式会社 井上 隆 信濃毎日新聞株式会社	後援	家族・友人で楽しむ、団らんのお機会となりますので幅広い広報を展開したい。	12月14日	平成29年 3月17日 (金) ～ 4月2日 (日)		月 日	山形村 アイ シティ21	岩合氏の撮影した自由で、愛らしいねこの写真を載ることで、温かい気持ちを感じて貰い、春休みみの家族・友人の団らんのかっかけをしたい。	岩合光昭写真展。岩合氏が40年以上に及び、写真家人生の中で、撮り続けてきた猫たちを一同に集めた展覧会。 入場料:前売400円、一般600円、高校生以下無料(割引券一ヒズあり) ※前売券の販売は3月16日まで ・協賛:オリンパス株式会社 ・後援:長野県、長野県教育委員会、松本市、松本市教育委員会、塩尻市、塩尻市教育委員会ほか	-	-	-	基準第3 条第2項 により可

平成 28 年 12 月 22 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

<b>協議第 5 号</b>	教育部 生涯学習課
平成 28 年 12 月 22 日提出	(課長) 蓮井 昭夫 (担当係長) 藤森 智

タイトル	第 2 次安曇野市生涯学習推進計画について
決定を要する事項の内容	第 2 次安曇野市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱
要旨	「第 2 次安曇野市生涯学習推進計画」を策定することに伴い、広く市民の意見を反映させ、計画内容を提言する組織として「第 2 次安曇野市生涯学習推進計画策定委員会」を設置します。
説明	<p>1 目的 第 2 次安曇野市生涯学習推進計画策定に係る提言をするため。</p> <p>2 所掌事務 (1) 計画の策定に関すること。 (2) 計画に係る市民からの意見の聴取に関すること。 (3) その他計画の策定に必要な事項に関すること。</p> <p>3 構成員 15 人 (1) 生涯学習に関する見識を有する者 (2) 学校教育関係者 (3) 社会教育関係者 (4) 家庭教育関係者 (5) 安曇野市社会教育委員 (6) 市内の生涯学習に関する団体の関係者 (7) 公募により選考された市民</p> <p>4 設置期間 公布の日から計画策定終了(平成 30 年 3 月 31 日予定)まで。 会議は、6 回程度開催予定</p> <p>5 その他 ・広報あづみの No.243 (29. 1/25 発行) により、委員公募の告知 ・教育委員会 3 月定例会に委員の選任の協議案件を提出予定</p>

## 第2次安曇野市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱（案）

### （設置）

第1条 第2次安曇野市生涯学習推進計画（以下「計画」という。）の策定に係る提言をするため、第2次安曇野市生涯学習推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### （所掌事務）

第2条 委員会の所掌事務は、次に掲げるものとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画に係る市民からの意見の聴取に関すること。
- (3) その他計画の策定に必要な事項に関すること。

### （組織）

第3条 委員会の委員は15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 生涯学習に関する見識を有する者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 社会教育関係者
- (4) 家庭教育関係者
- (5) 安曇野市社会教育委員
- (6) 市内の生涯学習に関する団体の関係者
- (7) 公募により選考された市民

### （任期）

第4条 委員の任期は、計画策定の日までとする。

### （委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

### （会議）

第6条 委員会は委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴き又は説明を求めることができる。

### （庶務）

第7条 委員会の庶務は、教育委員会教育部生涯学習課において処理する。

### （その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この告示は、平成28年 月 日から施行する。

<b>報告第1号</b>	教育部 学校教育 課
平成28年12月22日提出	(課長)古幡 彰 (担当)藤澤 一渡

タイトル	図書館職員等ステップアップ（専門）研修報告について
報告を要する事項の内容	研修会実施の報告
要旨	長野県図書館協会と共催により、開催いたしました標記の研修が修了いたしましたので報告いたします。
説明	<p>学校図書館が教育課程の展開に寄与するために、学校図書館の学習センター・情報センター高度化を目指して、司書教諭・学校司書等対象の専門研修として、下記の日程で開催いたしました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>第1回研修 開催日時：平成28年10月16日（日） 午後1時30分～午後4時30分 開催場所：安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」 豊科図書館</p> <p>第2回研修 開催日時：平成28年11月22日（火） 午後1時30分～午後4時 開催場所：安曇野市立堀金小学校</p> <p>○実施研修報告 別紙のとおり</p>



平成 28 年度 図書館職員等ステップアップ講習  
安曇野市共催 学校図書館連続講座(報告)

主催 長野県図書館協会  
共催 安曇野市教育委員会

現行の学習指導要領では、知識の習得や、知識・技術を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力や、主体的に学習に取り組む態度が学習の目標として掲げられています。

また、次期学習指導要領改訂で目指すべき学習・指導の視点として主体的・対話的で深い学び、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点をあげています。

調べる学習はまさにこの「アクティブ・ラーニング」の一形態であり、図書館はその中核的な学びの場です。

連続講座の第 1 回目は、調べる学習の先進地、千葉県袖ヶ浦市立昭和小学校の司書教諭と学校司書を、第 2 回目は調べる学習で神奈川、大阪で活躍中の講師をお招きして連続講座を開催しました。昭和小学校は平成 28 年度「子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞しています。

第 1 回 「学校図書館から広げる豊かな心と学びの力」

10 月 16 日 (日) 13 時 30 分～16 時 30 分

安曇野市豊科交流学習センター (豊科図書館) 多目的ホール

講師：千葉県袖ヶ浦市立昭和小学校

司書教諭・佐藤 香先生 学校司書・和田幸子先生

参加者：25 名



第2回 「探究学習における学校図書館の役割」

～図書館入門からおためし読書・探究学習～

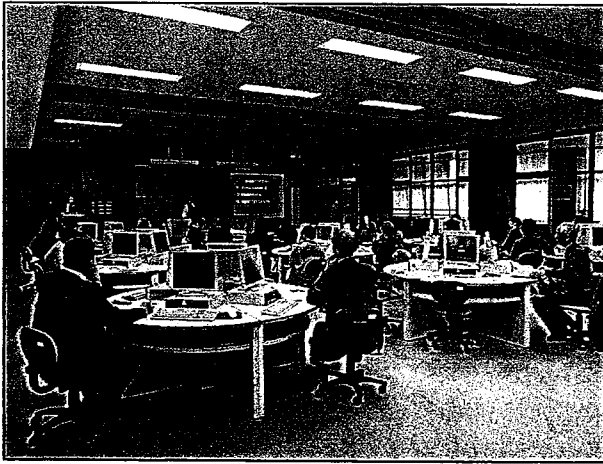
11月22日（火）13時30分～16時

安曇野市堀金小学校

講師：大阪府清教学園中・高等学校探求科

図書館リブラリアン館長 片岡則夫先生

参加者：26名



総括

安曇野市教育委員会としても、次期学習指導要領の中で、アクティブラーニングの取り組みを目玉とした対話的・主体的で深い学びが重要な視点となり、図書館を利用した調べ学習などの活動は、これからますます必要性が高まり、盛んになると予想しています。

現在の変化の激しい社会において、子ども達がこれからの時代をたくましく、しなやかに生き抜くための資質、能力の育成は不可欠であり、参加された学校図書館司書等が今回の連続研修で学ばれたことは、今後の図書館運営や学習の中に生かしていける内容でした。

<b>報告事項第2号</b>	教育部 各課
平成28年12月22日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	学校教育課 1件 生涯学習課 4件 文化課 3件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】            (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部 学校教育課 共催・後援台帳(平成28年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課 意見
23	H28.12.9	学校教育課	第7回安曇野市高校演劇合同発表会	安曇野市高校演劇合同発表会 大会長 早野眞南 安曇農業高等学校長 西村清利	安曇野市高校演劇合同発表会 実行委員会	後援	安曇野市民の方々に広く知っていただき、来場していただくため。	12月6日	平成29年2月12日	○	過去承認		平成28年12月8日	安曇野市豊科公民館大ホール	安曇野市内の4高校演劇部が互いに発表することで交流を深めて技量を高め、安曇野市民の方々に高校生の文化活動を知っていただくこと。	豊科高校・南安曇農業高校・穂高商業高校及び友情出演の大町岳陽高校を含む5校がそれぞれ演劇を上演し、鑑賞しよう。	○	○	○	基準第4条第2号により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	所管課意見
71	H28.11.18	スポーツ推進担当	2017 第11回新春さわやか元旦マラソン	安曇野総合型地域スポーツクラブネットワーク常念 日井 良 田 臣	安曇野総合型地域スポーツクラブネットワーク常念	後援	市民に参加を呼びかけ、生涯スポーツの推進を図る。また、他世代とのコミュニケーションの場を設ける。	11月17日	平成29年1月1日(日)元旦	○	過去承認		11月22日	堀金多目的屋内運動場 中央公園 西側スタート・ゴール	市民の健康・安全を祈願し、新年を新たな決意を持ってスタートする場として開催する。	2km・3km・5km 拾ヶ堰ランニングコース 参加料:1人100円			基準第4条第2号により可
72	H28.11.22	スポーツ推進担当	第3回信州安曇野ハーフマラソン	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会 実行委員長 齊藤 正昭	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会	後援	広く市民の方に周知し、多くの方に大会に参加していただくため。	11月22日	平成29年6月4日(日)	○	過去承認		11月25日	豊科南部総合公園(スタート・フィニッシュ会場)	安曇野の自然や人の魅力を全国に発信するため、第3回信州安曇野ハーフマラソンを開催する。スポーツを通じた交流人口の拡大と地域の活性化を目的とする。	大会コンセプト「安曇野FUN RUN ~人と自然で安曇野流おもてなし」 ・ハーフマラソン(21.0975km) 定員:5,000人(うち市民枠500人) 参加料:1人5,500円 参加資格:大会当日18歳以上 ・ファミリーラン(2km) 定員:300組600人 参加料1組3,000円(子ども2人の場合は4,000円) 参加資格:大会当日18歳以上の保護者と小学生のペア(親子でなくても可) H27年度(第1回)・H28年度(第2回)後援あり。			基準第4条第2号により可
73	H28.11.29	社会教育担当	第3回あづみ野おなかまキッズ	あづみ野おなかまキッズ 原田 暢子	あづみ野おなかまキッズ	後援	安曇野市内の公立小中学校や公的施設でチラシ配布し、あづみ野おなかまキッズ開催の広報を行うため。	11月28日	平成28年12月23日(金)	○	過去承認		12月1日	堀金公民館調理実習室	主に子どもを対象に食事を作る楽しみ、大人も高齢者も立ち寄って一緒にご飯を食べられるような場所、子どもが安心して遊んだり学習したりできるような「居場所」をつくることを目的とする。	豆乳クリームシチュー、ごはん、デザート 参加費:大人300円、子ども無料(高校生まで) ※H28.6.14 第1回おなかまキッズ承認、H28.9.9 第2回お仲間キッズ承認			基準第4条第2号により可
74	H28.12.5	スポーツ推進担当	第12回HorizaneCUフットサル大会	堀金サッカー少年団 鎌田 昭彦	堀金サッカー少年団	後援	安曇野市のサッカーチームや少年団のレベルアップを目的とする大会のため。	12月5日	平成28年12月11日(日)・18日(日)・23日(金)・25日(日)、平成29年1月8日(日)・15日(日)	○	過去承認		12月7日	堀金中学校体育館 多目的屋内運動場	ジュニア年代(小学生)のサッカースキル向上と交流を目的としたフットサル大会の開催。	競技方法:予選リーグ戦及びブロンズ戦、決勝トーナメント戦 参加料:U-11(5年生以下)1チーム4,000円、U-10(4年生以下)1チーム1,000円			基準第4条第2号により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成28年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H26	H25	所管課意見
78	H28.11.17	文化	安曇野いけばな展	安曇野いけばな協会 会長 萩原 種子	安曇野いけばな協会	後援	生涯学習の一環並びに芸術文化の振興に等与する事を目的としている為。	11月15日	平成29年 2月18日(土) ～ 19日(日)	○	過去承認		11月25日	安曇野市豊科交流学習センター ほう	・流派や資格に関係なく、花を愛する皆さんのいけばな展の開催。 ・生涯学習の一環として、地域と密着した文化活動を行う。 ・花展を開催することによる仲間作りと発表の場を設ける事により個人のレベルアップを図る。	いけばなの展示会。 ・会費1500円、出瓶料3000円、入場料無料 ・出瓶予定者数55名、来場者数756名(昨年度の実績) ・他の後援申請先:安曇野市、安曇野市芸術文化協会、連絡協議会、市民タイムス	○	○		基準第4条第2号により可
79	H28.11.21	文化	第13回信州国展	信州国画会 上條喜美子	信州国画会	後援	より多くの目に触れることで、会員の作品向上につなげたい。	11月15日	平成29年 3月23日(木) ～ 28日(火)	○	過去承認		11月25日	松本市美術館	絵画・版画・工芸・写真4部門の作品向上と信州美術の振興。	信州国画会の美術展覧会(隔年開催) ・入場料無料、参加料7,000円(初出品者10,000円※3年会費免除) ・出品点数1人1点。版画部、写真部の希望者は2点出品可。工芸部、彫刻部の希望者は2点(連発員～3点・会員～5点)出品可。一般出品者は次回国展本展出品作。 他の後援申請先:長野県教育委員会	○	○		基準第4条第2号により可
80	H28.11.25	文化	第31回穂高の秘めたる工芸作家二十人展	穂高神社 宮司 小平弘喜	穂高神社	後援	一般への芸術文化の向上・啓蒙、また当展覧会の周知のため。	11月22日	平成29年 1月1日(日) ～ 3日(火)	○	過去承認		12月1日	穂高神社 集殿	穂高には故高橋節郎先生をはじめ多くの工芸作家がおり、その活動をおして一般への芸術文化の向上、啓蒙を行っている。	故高橋節郎氏の作品をはじめとする工芸作品の展示。 ・入場料、参加料無料 ・入場予定者数1000名程度、監視員2～3名程。 ・他の共催後援申請先なし	○	○		基準第4条第2号により可

# 報告事項第3号

## 平成28年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈学校教育課〉

教育総務係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
教育要覧の作成	平成28年度 安曇野市教育要覧を作成し、関係者等へ配布。	平成29年度については、早期の発行に向け検討する。
入学準備金貸付制度の案内等	11月29日、11月30日に、市内4高校の学校長に対し、入学準備金貸付制度のパンフレットを市内在住の3年生に配布を依頼した。	平成29年度については、進路指導の時期までに周知を依頼する。
教育長と市内4高校長との懇談	<p>11月29日：南安曇農業高等学校・穂高商業高校訪問 11月30日：明科高等学校・豊科高等学校訪問</p> <p>【各学校長の発言要旨】</p> <p>○南安曇農業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖繩への修学旅行の事前又は事後の学習として、市の「平和のつどい」へ参加することも一つの方法と考える。</li> <li>・災害時の避難場所として南安曇農業高等学校も含まれているが、どのように動けばよいのか不明なため、市においてマニュアルの整備等をお願いしたい。</li> </ul> <p>○穂高商業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より地域に根差した高校とするため、様々な分野で市や地域等と連携し、最終的には市と協定書を締結したい。例えば、本校の生徒が小中学校に出向き、コンピュータを教えることなども考えられるし、市が行う行事に演劇部等が参加することも可能と考える。</li> <li>・市が行う産業イベントなどに参加させていただければ、学校で作ったものを売るなど、実地の学習としても役立てたい。</li> </ul> <p>○明科高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校再編の流れも踏まえ、地域とのつながりをより強めていきたい。そのために、明科地域のことや明科高校の歴史について学ぶため、明科高校独自の「明科検定（明科高校版）」を作成した。</li> </ul> <p>○豊科高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との様々な交流事業において、市内高校生が小中学生のリーダー（まとめ役）として参加することにより、市内小中学校との連携も図れると思う。</li> <li>・本校にも演劇部や吹奏楽部があるので、市の行事等への参加の機会を与えていただければありがたい。</li> </ul>	<p>市との連携強化を目的とした市内4高校長と教育委員との懇談会を平成29年度早期に行うことで合意がされた。懇談会の開催日程については、市教育委員会事務局において調整する。</p>

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
入学準備金貸付制度の利用状況	<p>(12月15日現在)</p> <p>①窓口相談件数（電話による問合せ除く）：12件</p> <p>②申請件数： 6件</p> <p>うち貸付件数： 1件（私立大学1件・貸付金額60万円）</p> <p>うち却下件数： 1件（理由：所得超過）</p> <p>うち審査中件数：4件（私立高校1、専門学校2、私立短期大学1）</p>	<p>申請件数の状況によっては、再度広報紙などによる周知を検討する。</p>
総合教育会議の開催	<p>12月13日 第2回総合教育会議</p> <p>・市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、連携して効果的に教育施策を推進していくため、今回は「小中連携・小中一貫教育」「ICT教育」をテーマに開催した。</p> <p>・なお、今後、総合教育会議で協議された事項は、次回の会議で進捗状況等を報告する。</p>	<p>次回の総合教育会議においては、市長等と協議のうえ、「活力ある学校づくり」の進め方等について提案できるよう準備を進める。</p>
平成29年度非常勤職員の募集	<p>12月7日発行「広報あづみの お知らせ版」にて市非常勤職員を募集</p> <p>・雇用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日（短期含む）</p> <p>・教育委員会関係募集職種： （学校教育課） 学校等事務、学校図書司書、学校庁務員、 学校給食調理員 （文化課） 学芸員、一般事務 （図書館交流課） 図書館司書</p>	<p>1月上旬中旬に面接を実施し、雇用事務を進める。</p> <p>学校配置講師（市費加配）については、学校長要望を精査し、財政負担も考慮しながら必要な対応を進める。</p>
安曇野市心身障がい児就学相談委員会	<p>4～5月にかけて、調査員による昨年度就学相談にかかった小・中新1年生の経過観察を実施。小1：38名、中1：38名 計76名の子どもの姿から昨年の判定結果を振り返った。</p> <p>【園児就学相談】 各園にて観察後、保護者・園・小学校・調査員との4者懇談を実施。 第1回 6月 年長・年中園児60名 第2回 11月 年長園児55名</p> <p>【小学校6年生の進学に伴っての就学相談】 各校校内就学相談委員会の判定を受け、市就学相談委員会で判定43名</p> <p>【判定の確定】 7月・11月の5地区別小委員会を経て、11月の本委員会で判定を確定。年長児55名、小6児童43名。 （内再判定2件） 特別支援学校判定 年長児8名、小6:児童1名 計9名（予定）</p> <p>【在籍児童（6年生を除く）・生徒の入退級】 年間3回の就学相談本委員会で判定。7月・11月実施 計39名</p> <p>※年々委員会での判定数が増加し、自情障学級入級が多い。また、ここ数年の園児の就学相談の増加が著しい。</p>	<p>・現在、個々の判定報告書を作成中。</p> <p>1月前半には、在籍園学校および入学校に送付し、次年度の支援に生かしていきたい。</p> <p>・1月の本委員会も18名で今年度の判定数は総合計155名。</p> <p>・加配対応等について、現在学校要望について精査中。</p>



事業	現 況	今後の取り組み
<p>安曇野市学校給食センター運営委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度上半期安曇野市学校給食会計監査 日時：平成28年12月14日(水)午後7時30分 場所：中部学校給食センター会議室</li>   <li>・第3回安曇野市学校給食センター運営委員会開催 日時：平成28年12月21日(水)午後7時30分 場所：中部学校給食センター会議室</li> </ul> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度上半期安曇野市学校給食会計監査報告について</li> <li>・学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の様式の変更について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>平成28年度以降、会計監査は年2回(上半期、全期)実施する。</p>

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
社会教育委員の会 予算額：413 千円	4/28 中信地区理事会 5/25 第 1 回会議 議 長・・細田 利章さん 副議長・・平田 米子さん 平成 27 年度事業報告、平成 28 年度事業計画 5/27 中信地区総会 6/15 県総会 7/ 4 中信地区理事会 9/28 県研究大会 10/6 社会教育委員の会 10/13 中信地区秋の研修会 10/27. 28 関東甲信越静研究大会 12/1 ブロック別研修会 高家児童館視察	2/ 7 第 2 回会議 2/17 中信地区理事会 3/下旬 第 3 回会議
第 2 次生涯学習推進計画策定 予算額：2, 213 千円	5/10 政策会議 5/15 部長会議 5/24 教育委員会定例会 6/ 9 部内業者選定委員会 6/21 業務委託契約 7/27 市民会議 進捗状況の確認、・第 2 次計画策定スケジュール、市民アンケートの素案確認、第 2 次計画への要望 8/22 教育委員会定例会 策定プロジェクト会議設置規程新設 市民会議設置要綱附則改正 9/28 策定プロジェクト会議① 10/ 6 社会教育委員の会 10/20 教育委員会定例会 11/16 市民アンケート発送 2, 500 人対象 ～30 市民アンケートの実施	1/27 策定プロジェクト会議② 3/ 策定プロジェクト会議③

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野検定 予算額：1, 414 千円	6/15 「広報あづみの」による告知 7/14～10/27 準備講座 ※延べ受講者数 620 人 12/ 6 安曇野検定検討会議 12/ 7 広報あづみのNo.240 検定告知 申込期限 1/10 12/19 校長会 ジュニアの部周知 12/20 安曇野検定検討会議	1/29 平成 28 年度安曇野検定 会場：きぼう、穂高公民館 一般の部基本編（午前 9：30～10：15） 過去 5 年間の問題から出題（上級編除く） 一般の部講座編（午前 11：00～正午） 平成 28 年度準備講座から出題 ジュニアの部（午前 9：30～10：15）過去 3 年間の問題から出題 ※学校での取り組みは 2 月上旬
日本語教室 予算額：395 千円	○豊科、穂高、堀金毎週日曜に、三郷は土曜日に開催（明科休講中） 6/8 第 1 回ボランティア講習会 15 人参加 講師：佐藤 佳子さん （松本市地域日本語教育システムコーディネーター）	3 月 ボランティア講座

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
学校開放講座 予算額：300千円	○社会教育法第48条による講座 4/7 開催依頼通知 5/12 回答期限 1 小学校、1 中学校、4 高校 全13講座 79回開催予定  5/3～12/19 南安曇農業高校「青空と緑の中で」 7/23～11/19 穂高商業高校「日商簿記検定3級講座」 7/23～8/6 明科高校「パソコン講座 エクセル」 7/23～10/29 明科高校「安筑地方の民族Ⅱ」 8/27～9/4 穂高商業高校「エクセル中級講座」 11/8 穂高商業高校「ワードで年賀状を作成しよう！」 11/19 豊科高校「クラシックギター入門」 11/19～1/21 穂高南小「めざせ！けん玉名人」 11/23 豊科南中「Wordの画像編集機能を使った自画像制作」 11/26 豊科高校「篆印～自分の印を刻る～」 12/18 豊科高校「本格的ハードカバー製本」	
美的カレッジ 予算額：40千円	○市内在住又は在勤の20歳から40歳以下の女性対象の講座 4/23 フラワーアレンジメント 14人 5/29 テーブルマナー 19人 8/6 カメラ講座 14人 10/22 ヨガ 7人 12/11 簡単おせち料理 14人	

### 人権教育推進事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
人権尊重作文集 予算額：326千円	○概要 市内小学校3～6年生、中学校1～3年、指定する学年ごと1作品を選出。ただし、4学年は全学校から計27作品。各種人権学習会などの概要版などとともに作文集を作成し、関係者へ配布。 5/18 市校長会 6月より随時学校へ説明 11月～12月 作品募集	3/上旬 発行  安曇野市人権尊重作文集 「kiseki」仮称（「軌跡」「奇跡」から）

### 中央公民館事業費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
公民館長会	○第1回 4/11 平成28年度役員を選出 会長：中田穂高公民館長 副会長：内川豊科公民館長、蓮井中央公民館長 ○第2回 5/9 公民館大会、運営方針 ○第3回 6/6 公民館大会反省、総合芸術展実行委員の選任 ○第4回 7/4 今後の予定 ○第5回 8/3 今後の予定、臨地講座 ○第6回 9/5 今後の予定、各公民館からの協議 ○第7回 10/3 各公民館からの協議 ○第8回 11/7 平成29年度事業、長野県館長総会 ○第9回 12/5 長野県館長総会、地区公民館報表彰	毎月1回開催

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
安曇野市総合芸術展 予算額：355千円	7/4 第1回実行委員会 実行委員長、高野 博さん 副実行委員長 隼田和子さん 開催要項、スケジュール 10/3 第2回実行委員会 作品選考スケジュール、選考方法 10/15 三郷文化祭作品選考 10/29 穂高、堀金文化祭作品選考 11/ 6 豊科、明科作品選考 11/15 第3回実行委員会 昨年度の反省点からの改善、選考作品確認 作品出展依頼承諾 94人	2/ 6 第4回実行委員会 3/ 3~22 第6回総合芸術展
安曇野市公民館報 予算額：1,532千円	5/10 校正会議 5/18 企画会議 6/ 2 第30号発行 6/14 校正会議 6/22 企画会議 7/ 6 第31号発行 7/23 長野県公民館報関係者研修会 会場：穂高公民館 講演 演題 読んでもらえる紙面づくり 講師花岡 明生 氏 (株式会社市民タイムス 元編集局長) 4分科会 約100人参加 8/10 校正会議 8/24 企画会議 9/ 7 第32号発行 10/12 校正会議 10/20 企画会議 11/ 2 第33号発行 11/10 校正会議 11/18 企画会議 12/ 7 第34号発行	1/25 校正会議 2/ 2 企画会議 2/15 第35号発行 (年6回発行)

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>子ども会育成会支援 予算額：9,592千円</p>	<p>○4月6日～15日 5地域子ども会育成会連絡協議会 ○4月19日 子ども会育成会連合会総会 ○5月8日 均等割補助金申請、子ども安全共済会申込み締切→98地区申請 ○5月11日 長野県子ども会育成会連絡協議会第1回理事会 ○5月19日 第2回常任委員会 ○5月27日 活性化補助金申請締切→42地区申請 ○5月28日 長野県子ども会育成会連絡協議会通常総会 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座常任委員5名参加協力 ○6月17日 松本地方子ども会育成連絡会 会議 ○9月11日 第2回長野県子ども会指導者講習会 松本地方子ども会育成連絡会安全講習会 ○10月5日 育成会だより19号発行（広報） ○10月18日 第3回常任委員会 ○11月12日 ジュニアリーダー養成講座常任委員3名参加協力</p>	<p>2月中旬 こども会育成会地域連絡協議会 3月 常任委員会</p>
<p>青少年センター 予算額：1,021千円</p>	<p>○4月28日 第1回運営委員会 ○5月13日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○5月19日 安曇野市小中高等学校生徒指導連絡協議会第1回総委員会 ○5月31日 第2回運営委員会 ○6月1日 センターだより第5回号（広報）発行 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座運営委員2名参加協力 ○6月17日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○4月～6月 相談受付 ・不登校案件1名（相談回数5回） ○7月15日 第41回長野県青少年補導活動推進大会（飯田市）5名参加 ○8月8日 夏休み街頭巡回（豊科・穂高・堀金） ○8月9日 夏休み街頭巡回（三郷・明科） ○8月18日 第3回運営委員会 ○10月5日 センターだより第6回号（広報）発行 ○10月11日 CHUKOらんどチノチノ視察（茅野市）運営委員11名、職員3名参加 ○10月11日 中信4市補導センター連絡会議（松本市）会長・センター長他3名参加 ○11月6日 青少年センター講演会（市役所）参加者11名 ○11月12日 長野県青少年健全育成県民大会（飯山市）会長・副会長・職員3名参加</p>	<p>1月4, 5, 6日 街頭巡回 1月 運営委員会 3月 街頭巡回</p>
<p>ジュニア・リーダー養成事業 予算額：71千円</p>	<p>○4月6日 社会教育指導員会にて募集について説明 ○4月19日 募集チラシ配布 ○5月27日 申込み締切 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座36名参加（内児童28名、協力者8名） ○11月2日 ジュニアリーダー養成講座打合せ3人 ○11月12日 ジュニアリーダー養成講座（三九郎組立講座）27名</p>	

<p>まごころ工房 予算額：157千円</p>	<p>○4月 募集チラシ配布 ○5月20日 申込み締切 応募者：31名 ○5月29日 第1講座【ようこそ！ワワパーク】開催 受講人数 30名 ○6月18日 第2講座【紙飛行機&amp;ブーメラン】開催 受講人数 26名 ○10月29日 第3講座【落語に挑戦】 受講人数 10名 ○11月19日 第4講座【デイサービス交流会】 受講人数 4名 ○12月3日 第5講座【和風作り】 受講人数 10名</p>	<p>年6回講座開催 3月4日 調理実習</p>
<p>こども体験ショー 予算額：540千円</p>	<p>○5～6月 イベント内容検討 ○7月7日 米村でんじろうサイエンスプロダクションに部内業選にて委託決定 ○8月12日 契約締結(540,000円) ○9月 出演者との打合せ ○10月9日 「ジャイアン村上おもしろサイエンスショー」 堀金総合体育館サブアリーナ 環境フェアと同時開催参加者 450名</p>	
<p>こども文化祭 予算額：344千円</p>	<p>○5月 企画・運営方法検討開始 ○6月21日 役員会議 ○5月～8月 企画・運営方法検討 ○10月3日～28日 出演・出品者の募集 ○11月10日 出展者会議 参加者 15名 ○11月26日 こども文化祭の開催 ステージ発表 12団体、参加者 203名 作品展示 5団体、参加者 68名 体験交流 2団体、参加者 12名 参加者合計 283名、来場者約 300名</p>	
<p>安曇野こども映画教室 予算額：965千円</p>	<p>○4月 小・中17学校、市内4高校 募集チラシ配布 ○4月25日～5月19日 参加者・ボランティア募集 応募者：20名(定員) ボランティア：3名 ○4月30日 河崎監督・麻和先生・事務局打合せ ○5月28日 第1回 オープンスクール開催 受講者数 16名 ○6月25日 第2回 シナリオ決定、機材取扱い指導 受講者数 17名 ○7月23日 第3回 配役決定・撮影開始(撮影①) 受講者数 17名 ○8月27日 第4回 教室開催(撮影②) 受講者数 16名 ○9月10日 第5回 教室開催(撮影③) 受講者数 17名 ○10月22日 第6回 教室開催(撮影④) 受講者数 17名 ○11月12日 第7回 教室開催(編集) 受講者数 16名 ○11月26日 完成披露上映会(穂高みらい) 作品『びっくりマンデー』上映 参加生徒数 15名、河崎義祐監督</p>	

放課後・家庭教育推進費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会 予算額：272千円		1月中旬 第1回運営委員会の開催 3月中旬 第2回運営委員会の開催
放課後子ども教室 予算額：8,303千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月12日～14日 小学校との打合せ会議</li> <li>○4月27日 放課後子ども教室コディネーター研修会 参加者：16人</li> <li>○4月27日 放課後子ども教室スタッフ研修会 参加者：108人</li> <li>○5月18日 豊科北小、豊科東小、明北小、穂高北小4校において保護者説明会</li> <li>○5月19日 明南小において保護者説明会</li> <li>○5月25日 豊科南小、穂高南小、穂高西小、三郷小、堀金小5校において保護者説明会 教育長 堀金小保護者説明会出席予定</li> <li>○7月7日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会 参加者：18人</li> <li>○7月8日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会 参加者：15人</li> <li>○7月8日 放課後子ども教室スタッフ研修会(松本合庁) 参加者：13人</li> <li>○7月13日 豊科南小、豊科北小において連絡会議</li> <li>○7月20日 豊科東小において連絡会議</li> </ul>	5月18日 放課後子ども教室の実施～3月 2月中旬 地域連絡会議の開催
家庭教育支援事業 予算額：1,900千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月26日 情報誌ポケット5月号の発行</li> <li>○5月26日 情報誌ポケット6月号の発行</li> <li>○6月23日 情報誌ポケット7月号の発行</li> <li>○7月28日 情報誌ポケット8月号の発行</li> <li>○8月25日 情報誌ポケット9月号の発行</li> <li>○9月27日 情報誌ポケット10月号の発行</li> <li>○10月14日 第1回家庭教育講座 講師：碓井幸子 参加者 20名</li> <li>○10月25日 情報誌ポケット11月号の発行</li> <li>○11月24日 情報誌ポケット12月号の発行</li> <li>○11月27日 第2回家庭教育講座 講師：加藤史子 参加者 38名</li> <li>○12月27日 情報誌ポケット1月号の発行</li> </ul>	5月～3月 情報誌ポケットの発行

児童館運営費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ 予算額：173,966千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童クラブ入所随時受け</li> <li>○5月 堀金児童館網戸設置工事(582,117円)</li> <li>○5月 豊科中央児童館樋、軒天修繕(275,400円)</li> <li>○6月 南穂高児童館、遊具修繕(74,973円)</li> <li>○7月 穂高北部児童館 畳張替え工事(176,256円)</li> <li>○10月26日 児童クラブ入所説明会(堀金)</li> <li>○10月27日 児童クラブ入所説明会(明科)</li> <li>○10月28日 児童クラブ入所説明会(三郷)</li> <li>○11月2日 児童クラブ入所説明会(穂高)</li> <li>○11月7日 児童クラブ入所説明会(豊科)</li> <li>○11月14～25日 H29年度申請受付 申請者 通年：612名、長期248名</li> </ul>	12・1月 入所審査・調整 1月末 入所決定通知書発送 3月 入所説明会 3月 穂高西小改修工事

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
成人式 予算額：4,312千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回実行委員会 8月18日 役割分担について</li> <li>○第2回実行委員会 10月22日 テーマ、アトラクションについて テーマ： NO PERFECT HUMAN ～我が道を行く～ アトラクション： MY PERFECT （絵馬に自分の進みたい道等を記入の上展示）</li> <li>○案内状送付 11月8日 対象者 1,041人（男522、女519）</li> <li>○第3回実行委員会 11月19日 当日の進行、役割分担確認、フォトムービー試写会</li> <li>○来賓への案内通知 12月5日 対象者 63人</li> </ul>	成人式 平成29年1月8日



# 平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

## 社会体育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会 予算額：2,412千円		3月 第3回全体会議の開催（委員の研修を含む）
スポーツ推進審議会 予算額：182千円		（開催未定）
各種競技会及び発表会出場者 激励金交付事業 予算額：1,200千円	11月末現在 申請件数：48件 交付額：760千円	申請に基づき随時対応
市民スポーツ祭 予算額：1,500千円	12月4日 柔道 <変更後> 12月4日 フットサル ※12月4日で全競技（17種）が終了予定	1月 第2回実行委員会の開催
安曇野市体育施設使用料の見直しについて		11月 第1回スポーツ推進審議会に諮問予定
公式スポーツ施設整備計画推進	11月20日～23日 新総合体育館整備基本計画（案）市民説明会を開催 11月21日～12月20日 新総合体育館整備基本計画（案）に対するパブリックコメントを実施中	1月 新総合体育館整備基本計画を策定

## スポーツ振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室等 予算額：8,352千円	○5、6、7月から開始したスポーツ教室（14種）の継続開催 ○後期から開始したスポーツ教室の開催	後期の教室の募集、開催

## 社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
三郷体育館耐震補強工事設計業務	9月15日 耐震補強工事設計業務打合せ（三郷中）	2月下旬 耐震補強工事設計業務完了予定
明科体育館非構造部材耐震化工事設計業務	8月12日 耐震補強工事設計業務打合せ	2月中旬 耐震化工事設計業務完了予定
公共施設予約システム	11月22日 旧予約システム撤収 11月25日～29日 12月・1月のインターネット予約期間 11月30日 予約抽選 12月1日～ 12月・1月分体育施設予約可能 12月19日まで H29年度体育施設使用計画書受付（市・国県・区・公民館・体協等行事分）	1月4日～20日 H29年度体育施設使用計画受付（体協以外団体大会・合宿等分）

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈文化課〉

文化振興係

文化振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
文化振興計画 進捗管理	・進捗管理 第 2 次文化振興計画策定について	・H29 年度に策定委員会 組織の準備
東京藝術大学連携事業	・第 3 回 平成 29 年 2 月 4 日（土）～5 日（日） 1 日目…堀金中学校吹奏楽部 2 日目…リーダーズバンド への指導 会場 堀金中学校、穂高東中学校	
安曇野市美術館博物館 連携事業	・第 5 回専門部会 12 月 16 日（金） ・出前展覧会 穂高地域福祉センター 平成 29 年 1 月 17 日（火） ・学校ミュージアム 穂高西小学校 1 月 19 日（木） 豊科北中学校 1 月 26 日（木）・27 日（金）	平成 29 年度事業につい て
美術資料等選定委員会	・美術資料等選定委員会 平成 29 年 1 月 31 日（火） 資料の寄贈・寄託・購入・所管替えについて	
第 14 回あづみの公園 早春賦音楽祭 主催 実行委員会	・第 2 回事務局会議 29 年度の音楽祭について 12 月 2 日（金） ・第 1 回実行委員会 12 月 19 日（月）	第 2 回実行委員会 期日：平成 29 年 1 月 25 日（水）
「安曇野文化」刊行	11 月 30 日（水） 第 21 号刊行	第 22 号 編集会議…平 成 29 年 1 月下旬を予定

高橋節郎記念美術館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
企画展「高橋節郎の軌 跡～飽くなき探求～」	会期 9 月 6 日（火）～11 月 13 日（日） 期間中の入館者数 4,520 人	
第 5 回そば猪口アート 公募展	巡回展 瀬戸市新世紀工芸館（愛知県） 会期 12 月 3 日（土）～平成 29 年 1 月 22 日（日）	第 6 回そば猪口ア ート公募展について
改組新第 3 回日展工芸 美術長野県入選者展	会期 12 月 11 日（日）～3 月 5 日（日） 会場 高橋節郎記念美術館ギャラリー・エントランス	
南の蔵「冬季展示」	・齋藤俊雄日本画展／長野教室「いつき会」展 12 月 2 日（金）～11 日（日） ・石田道行「横内勝司写真展」 12 月 14 日（水）～25 日（日）	

## 文化財保護事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
文化財事業補助金事務手続き	有形文化財の修理、既に終了した無形民俗文化財の実績報告等の事務手続き	随時事務処理を行う。
出前講座	あづみのフィルムアーカイブ 映画「よみがえる安曇野」 12/15 明科光北村地区社協 10:00～11:00	出前講座の申請があれば、随時対応したい。
啓発活動	広報への文化財コラムの掲載	
文化財パトロール	12/9 国・県指定文化財を中心に実施	

## 歴史文書整理事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
歴史的価値ある公文書の選別作業	歴史的価値ある公文書の選別作業	継続
古文書整理作業	飯沼家文書の調査	引き続き調査
保存文書等借用・閲覧に関する事務	非現用文書の借用・閲覧に対する事務	継続

## 埋蔵文化財発掘調査事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
埋文担当者研修会	平成 28 年度 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員 共同研修協議会（12/1・2 甲府）	
押野城測量調査	枯損木伐採作業で以前遺跡破壊のあった箇所と現存する山城遺構を測量し、記録保存する。	
穂高神社境内遺跡・明科廃寺・新林遺跡他の遺物整理	土器の洗浄・注記・復元作業、実測他 報告書作成	継続実施
埋蔵文化財包蔵地内等での開発に対しての工事立会	一般開発・公共事業に伴う工事立会い	開発業者との連絡調整
文化財保護法 93・94 条関係の事務	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の届出・通知受付事務	随時対応
試掘調査	一般開発に伴う試掘調査 藤塚遺跡・等々力町巾上・巾下遺跡	必要に応じ実施

埋蔵文化財包蔵地 内で実施予定の公 共事業保護協議	平成 29 年度以降実施予定の公共事業について 関係部署との保護協議を実施。	随時実施
---------------------------------	---	------

文化課博物館係

郷土博物館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
展覧会 1 出前展示(コンパクト展示)興味 津々安曇野 FOOD 展 示(2015 企画展リメイ ク)	○開催概要 ・内容：平成 27 年度郷土博物館企画展示のコンパクト展 示、松本藩貞姫御膳から現代の庶民の普段の食事までを 紹介する。 ・会期：11月8日(木)～12月9日(金)	堀金支所 1 階ロビー
展覧会 2 多文化社会の中 に生きる私たち ー西欧化の行事を 取り入れる日本～ 商業ベースを取り 込む家族行事ー 出前展示(コンパク ト展示)	○開催概要 ・内容：行事や儀礼など、長い年月の間に変わりゆくもの の中で、今回は、商業ベースに乗って創出され、定着し つつある行事をいくつか取り上げる。クリスマス、ハロ ウィン、バレンタインデー、ホワイトデー、節分の恵方 巻きなどを取り上げることとする。 ・会期：11月4日(金)～12月22日(木)	市本庁舎 1 階ロビー中央
展覧会 3 正月様どこま でござった？ 正 月ちゅうもんは良 いもんだ!!! 出前展示(コンパク ト展示)	○開催概要 ・内容：かつての正月と現在の正月はどうか変わったのか。 かつてと現在の正月の迎え方と過ごし方を比較し、メデイ アに支配されない頃の正月に目を向けてみたい。 ・会期：12月22日～2017年1月末日	市本庁舎 1 階ロビー中央
展覧会 4 春の七草展(予 定) 出前展示(コン パクト展示)	○開催概要 ・内容：春の七草に係る安曇野の自然や暮らしについて ・会期：2月～3月	市本庁舎 1 階ロビー中央

<p>展覧会</p> <p>6 出前展示(コンバクト展示)小中学校施設での展示</p>	<p>○開催概要</p> <p>・内容：小学校については、昆虫展(安曇野の昆虫の特徴を書いたパネルや標本の展示)、中学校については、岩石展(安曇野の代表的岩石をまとめたパネルや標本の展示)</p>	<p>○豊科南小学校(済)</p> <p>○穂高北小学校(済)</p> <p>○豊科東小学校(済)</p> <p>○明北小学校(済)</p> <p>○明科中学校(済)</p> <p>○三郷小学校 11/28~12/8 まで</p> <p>○三郷中学校 12/1~12/13 まで</p> <p>○豊科南中学校 12/14~12/26 まで</p> <p>○豊科北中学校 2月 予定</p>
<p>展覧会</p> <p>5 安曇野のレッドデータブック展Ⅱ~植物編~</p>	<p>○開催概要</p> <p>・内容：安曇野市の変化にとんだ自然環境の中で、近年数を減らし絶滅の危機にある動植物についてまとめられたレッドデータブックから、今回は植物編として紹介する展示。</p> <p>・会期：平成29年3月4日(土)~4月9日(日)</p> <p>・会場：豊科郷土博物館 2階展示室</p>	<p>標本資料の整理、 展示資料制作、借用等</p>
<p>講座</p> <p>1 講演会 「明科廃寺周辺の姿は？上川路廃寺と伊那郡衙の実態から」</p>	<p>○開催要項</p> <p>開催日：平成29年1月14日(土)</p> <p>会場：豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール</p> <p>内容：同時期に作られた郡衙や上川路廃寺などの調査成果を聞く。講師：市澤英利氏(飯田市上郷考古博物館)</p>	<p>参加者募集</p>
<p>2 講座 「民具ワークショップ 俵を作ろう」</p>	<p>俵作り</p> <p>開催日：12月10日午前9時~午後5時</p> <p>会場：豊科郷土博物館2階学習室</p> <p>○内容：博物館に展示するための俵作りを通して、その技術を学ぶ。</p>	<p>参加者募集</p>
<p>3 講座 レッドデータブック展関連講座 「自然観察会」</p>	<p>○開催要項</p> <p>開催日：平成29年3月(未定)</p> <p>会場：未定</p> <p>内容：植物の観察を通して安曇野の自然の魅力について学ぶ。</p>	
<p>4 講座 レッドデータブック展関連講座 「冬の野鳥観察会」</p>	<p>○開催要項</p> <p>開催日：平成29年3月(未定)</p> <p>会場：未定 内容：冬の渡り鳥の観察</p> <p>講師：丸山隆氏(予定)</p>	

5 講座 レッドデータブック 展開関連講座 「植物画入門」	○開催要項 開催日：平成 29 年 3 月（未定） 会場：豊科郷土博物館 2 階学習室 内容：植物の観察をして植物画を描く 講師：未定	
--	--	--

郷土資料館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み 備 考
穂高鐘の鳴る丘集 会所の施設使用	○内容 ・郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	
昔の暮らし体験教室 (出前授業)	○内容 ・小学校 3 学年の昔の暮らし学習に合わせて、郷土博物館・資料館資料を 100 点ほど体験用として展示する。合わせて、太平洋戦争の体験や昔の子供の暮らしについて話をし、資料は体験子供たちが体験できるようにする出前講座。・開催時期：平成 29 年 1 月～2 月・会場：各小学校（希望校のみ）	各小学校へ希望を募り、開催日を決定する。

貞享義民記念館

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示 1 第 6 回三郷陶 芸クラブ『絆』 作品展 2 世相を象徴する 漢字一文字 展	○開催概要 ・開催期間：11 月 29 日（火）～12 月 11 日（日） 会員が作成した、日常使いの食器や雑貨を中心に約 60 点展示 ・入館者数：40 人（12/8 現在） ・開催期間：12 月 13 日（火）～12 月 25 日（日） 毎年年末に清水寺で発表される世相を象徴する漢字一文字の書など、小林雅範さんの収集品を展示する。	・広報 240 号に掲載 ・12 月 11, 13 日展示 作業
来年度事業の準備 1 古文書講座	○開催概要（予定） ・内容：初心者から受講できる古文書講座 日程：未定（今年度に準ずる） 場所：記念館 研修室 講師：青木教司先生 定員：30 人	・講師と打ち合わせ

交流学習センター(施設)事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
穂高交流学習センター・豊科交流学習センター・明科子どもと大人の交流学習施設事業	<p>○高嶋青海・竹内遙香・山極遙香 フルート&amp;グランドハーブ&amp;ピアノコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日:12月17日(土) 午後6時～</li> <li>・場所:穂高交流学習センター多目的交流ホール</li> <li>・入場料:500円</li> </ul> <p>○信州大学人文学部受託研究事業 音をかたちに、かたちを音に ちくちくワークショップとクリスマスコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日:12月18日(日) 午後1時～</li> <li>・場所:穂高交流学習センター多目的交流ホール</li> <li>・入場料:100円</li> </ul>	<p>○ニューイヤーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日:1月7日(土) 午後2時～</li> <li>・場所:穂高交流学習センター多目的交流ホール</li> <li>・入場料:100円</li> </ul>

図書館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
図書館事業	<p>○ 図書館協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日:12月2日(金) 10:00～11:30</li> <li>・場所:豊科交流学習センター「きぼう」学習室1</li> <li>・内容:「第2次安曇野市図書館基本計画策定について」、「市民等アンケートについて」、「その他」</li> </ul>	<p>○ 図書館専用ポータルサイト (Ibol-i)研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日:1月27日(金) 午前の部 10:00～ 午後の部 13:00～</li> <li>・場所:本庁舎 402 会議室 (PC 研修室)</li> <li>・内容:システムの新機能等の使いこなし術等。 学校図書館司書にも参加呼びかけ。</li> </ul>

平成 28 年 12 月 22 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

<b>報告事項第 4 号</b>	教育部
平成 28 年 12 月 22 日提出	(課長) (担当)

タイトル	平成 28 年安曇野市議会 12 月定例会の結果について
報告を要する事項	市議会 12 月定例会についての報告
要旨	平成 28 年安曇野市議会 12 月定例会が終了しましたので、その結果等について報告するものです。

1 会期 11月24日(木)～12月19日(月)

(1) 代表質問 12月5日(月)

会派及び議員名	教育委員会関係質問内容(概要)
政和会 平林 徳子	<ul style="list-style-type: none"><li>・赤ちゃん先生について</li><li>・児童クラブについて</li><li>・ネット教育について</li><li>・英語教育について</li><li>・小中一貫教育について</li></ul>
日本共産党安曇野市議団 松澤 好哲	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合体育館・クリーンセンター問題について</li><li>・アレルギー対応でこども病院や専門医との一層の連携強化対応を</li><li>・学校と地域の絆は</li><li>・ふるさとを思うよろこびと教育の役割とビジョン</li><li>・200年前の先人に感謝をするとともに、文化先人に学ぶ、共有する</li></ul>
公明党 小松 芳樹	<ul style="list-style-type: none"><li>・文部科学省の通達を受け、本市の ICT の取り組みは</li><li>・学校現場と社会体育との関連性</li><li>・朝練の廃止方針について</li><li>・スポーツを通じた体力づくりと、将来性</li></ul>

(2) 一般質問 12月6日(火)・12月7日(水)・12月8日(木)

議員名	教育委員会関係質問内容(概要)
一志 信一郎	<ul style="list-style-type: none"><li>・ふるさと教育の推進について</li><li>・学校・生涯教育で授業・事業等での活用・紹介について</li><li>・副読本の発行・活用について</li></ul>



(一般質問)

議員名	教育委員会関係質問内容（概要）
増田 望三郎	<ul style="list-style-type: none"><li>・整備費用 38 億円の体育館は必要か</li><li>・知の拠点図書館・交流学习センターの管理運営について、市長、教育長は答申についてどう捉え、今後どのようにかじ取りをしていくのか。また、合意形成をどのように図っていくのか。</li></ul>
井出 勝正	<ul style="list-style-type: none"><li>・就学援助費支給要綱の改正の意義。利用の徹底を図るため通知の送付を。</li><li>・子どもの貧困対策のため、子ども食堂や無料塾など、子どもの居場所づくりを</li><li>・フリースクールにおける児童生徒の出席扱い及び安曇養護学校の児童生徒への副学籍等について</li><li>・自衛隊派遣に伴い、命を大切に教育についてどう考えているか</li></ul>
坂内 不二男	<ul style="list-style-type: none"><li>・安曇養護学校に通う安曇野市内の児童・生徒に暖かい心で支援できないか。</li><li>・平成 26 年の「中信地区障害児の豊かな教育を進める会」からの陳情について</li><li>・安曇養護学校保護者会との意見交換会について</li><li>・市内の学校環境などにより安曇養護学校に通っていただいていると考える</li><li>・安曇野市以外の通っている市内在住の児童・生徒たちにも幾分の支援が考えられるのではないか</li></ul>
竹内 秀太郎	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康長寿のまちづくりを推進する方策の一つとして、「健康ポイント制度」の 1～2 年後の実施を提案</li></ul>
内川 集男	<ul style="list-style-type: none"><li>・学有林（学校の考え方）に関して</li><li>・市内小中学校の交通安全教室の実施状況と内容及び平成 28 年度全体事故数と自転車事故数</li><li>・保護者が家庭内で交通安全教室の内容を理解し、子どもに指導しているか</li><li>・地域（PTA・育成会等）開催の交通安全教室の実施を市全体で行えないか</li><li>・交通安全教室の実施に際し、関係団体等と連携・参加はしているか</li><li>・小学校自転車大会参加状況</li></ul>
藤原 正三	<ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもの貧困」対策について、現状と実現に向けた取り組み</li></ul>
林 孝彦	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校支援地域本部の設置と学校支援ボランティアの強化について</li><li>・学校運営協議会や信州型学校運営協議会の設置について</li><li>・ユネスコスクールへの加盟と実践について</li></ul>
松枝 功	<ul style="list-style-type: none"><li>・新総合体育館建設計画がもたらす市政不安の払しょくのため、検討されている設計・施工一貫方式等での発注の是非について</li></ul>
猪狩 久美子	<ul style="list-style-type: none"><li>・西穂高会館で児童クラブを行うことについて、安心安全が担保されるのか</li><li>・穂高南小児童クラブの環境も十分とは言えない。早急な改善策の考えは</li><li>・児童館の現状をどう捉え、改善策が必要と考えているのか</li></ul>

議員名	教育委員会関係質問内容（概要）
猪狩 久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び交流学習センターの管理運営は、合同会議の意見等を踏まえ、指定管理ではなく市直営の管理運営を行っていくべきでは</li> <li>・図書館協議会委員、交流学習センター委員へのアンケート結果を公表すべきでは</li> </ul>
召田 義人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツによる地域活性化について（ワシントン工場跡地）</li> </ul>

(3) 福祉教育委員会 12月12日（月）

## 2 議案等の審査結果について（教育委員会関係）

(1) 以下の議案8件（関連議案含む）については、原案どおり可決されました。

議案番号	議案名
議案第109号	平成28年度安曇野市一般会計補正予算（第3号）
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科水辺公園マレットゴルフ場）
議案第114号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科水辺マレットノース18）
議案第115号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市権現宮マレットゴルフ場）
議案第116号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市穂高立足マレットゴルフ場）
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷黒沢マレットゴルフ場）
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について（御宝田水のふるさと公園）
議案第120号	安曇野市三郷交流学習センター建設工事建築工事請負契約について

(2) 以下の請願・陳情6件については、採択されました。

請願・陳情番号	請願・陳情の趣旨
請願第3号	給付型奨学制度の創設等を求める意見書（決議）の採択を求める請願書
陳情第10号	JR大糸線有明駅及び安曇追分駅駐輪場の屋根設置について
陳情第12号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について
陳情第13号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について
陳情第14号	新総合体育館の施設規模等の見直しについて
陳情第15号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について
陳情第16号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

(3) 以下の陳情 1 件については、継続審査とされました。

陳情番号	請願・陳情の趣旨
陳情第 11 号	安曇野市穂高有明地区（古厩区鈴ヶ丘）市道 1-14 号（通称有明山通り）周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善及び道路新設について
<p>○継続審査の理由（市議会経済建設委員会）</p> <p>子どもたちの安全を担保してあげたい、そして陸の孤島を解消したいという、そういう気持ちは充分ある。しかし、子どもたちの安全について、本当に通学路だけで担保できるのか、この道路を、通学路をつくることによって、区の加入率が高まることになるの。もっと研究し、本当に緊急性があるのかも含めて継続で審査したい。</p>	

(4) 平成 28 年 9 月 7 日付で提出された以下の陳情については、市議会 12 月定例会で継続審査となりました。

請願・陳情番号	請願・陳情の趣旨
陳情第 9 号	安曇野市内義務教育課程児童・生徒の多様な教育機会の確保について
<p>○継続審査の理由（市議会福祉教育委員会）</p> <p>民間教育施設と学校や教育委員会との連携など、精査し検討していく必要があると考える。拙速に結論を出すのではなく、もう少し研究すべきと考えるので継続審査としたい。</p>	

平成28年 安曇野市議会12月定例会 請願文書表

受付 番号	受 理 年月日	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	所管委員会
請願 第3号	H28. 11. 14	給付型奨学金制度の創設等を 求める意見書（決議）の採択 を求める請願書	松本市中央4-7-22  日本労働組合総連合会 長野県連合会 松本広域協議会 議長 佐藤 幸司	内川集雄	福祉教育
	以下余白				



2016年11月14日

安曇野市議会  
議長 浜 昭 次 殿

日本労働組合総連合会長野県連合会松本広域協議会  
議長 佐藤 幸司  
松本市中央4-7-22勤労会館内  
電話0263-34-6700

紹介議員

大川 集 雄

### 給付型奨学金制度の創設等を求める意見書（決議）の 採択を求める請願書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろは連合の活動に対しまして、ご高配を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負っています。奨学金に頼らなければ大学等に進学できず、不安定な雇用で「返したくても返せない」など、大きな社会問題になっています。

給付型奨学金制度の創設・拡充等を求める署名が300万筆を超えるなど、世論の高まりを受け、本年の参議院選挙では与野党のほとんどが給付型奨学金の創設を公約に掲げました。政府の一億総活躍プランや経済対策等においても、給付型奨学金の創設に向けて「検討を進める」ことが盛り込まれ、これを受けて文部科学省は、7月に「給付型奨学金制度検討チーム」を立ち上げ、給付対象者や給付方式などについて議論を行い、2017年の通常国会において独立行政法人日本学生支援機構法を改正し、2018年度から給付型奨学金制度を導入するとしています。

また、文部科学省は2017年度予算の概算要求において、無利子奨学金の枠を拡充し、約24,000人の残存適格者（成績および保護者の所得といった貸与基準を満たしているにもかかわらず、無利子奨学金の貸与を受けることができない者）を解消することを盛り込みました。給付型奨学金については、12月まで「給付型奨学金制度検討チーム」での議論が続くため、事項要求とされ、具体的な制度設計は明らかになっていません。（対象者（規模）や財源もこれからとなっています。）

この機をのがさず、貸与から給付へ、有利子から無利子への流れをつくり、当事者の声を反映したよりよい給付型奨学金制度を恒久的な制度として実現するとともに、無利子奨学金の更なる拡充と、教育の機会均等を確保する観点から学費を含めた教育費負担の軽減を実現していくことが求められています。

こうした現状に鑑み、2016年12月の貴議会において別紙の内容を柱とする意見書を採択の上、国会および関係行政庁に提出くださいますよう、お願い申し上げます。

敬 具

## 給付型奨学金制度の創設等を求める意見書（決議）

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、奨学金に頼らなければ大学に進学できない学生が半数を超えるようになりました。卒業しても、不安定な雇用で十分な収入が得られず、奨学金を「返したくても返せない」人たちも増加しています。

社会人としてのスタートラインから数百万の借金を背負うのは、大変な重荷です。借金苦を避けるため、学びたくても進学を諦めざるを得ない子どもも後を絶ちません。長期におよぶ返済の負担は、若者に結婚や子どもを持つことをもためらわせる要因ともなっています。若者ばかりではなく、子どもの奨学金返済の肩代わりで老後の生活資金を失う親も増えており、世代を越えた社会問題になっています。

貧困の連鎖を絶ち、教育の機会均等を実現するとともに、少子化・人口減に歯止めをかけて持続可能な社会にするためにも、奨学金問題の早急な改善が必要です。

諸外国と比べてみても、日本は高等教育に対する公的支出がOECD諸国の中で最低の水準にあり、大学の授業料が有償で国による給付型の奨学金制度がないのは日本だけです。家計による教育費の負担は限界に達しており、将来を担う若者の学びと成長を社会で支えていく仕組みをつくっていくことが求められています。

こうした現状に鑑み、本議会は政府に対し、下記の事項を要望します。

### 記

1. 速やかに大学生等を対象とした給付型奨学金制度を創設し、将来に向けて拡充していくこと。
2. 貸与型奨学金にあっては、有利子から無利子への流れを加速し、無利子奨学金を大幅に拡充していくこと。速やかに、無利子奨学金を受ける資格がありながら予算不足のために受けられない学生を解消すること。
3. 大学等の学費の引下げや授業料減免の拡充等の政策を実行していくこと。
4. 奨学金の制度設計や意思決定・運営に当事者、利用者などの参画をはかるとともに、情報公開を徹底していくこと。

以上、地方自治法第99条の規定にもとづき、意見書を提出します。

2016年12月 日

安曇野市議会

議長 浜 昭次

衆議院議長 大島 理森 殿

参議院議長 伊達 忠一 殿

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

文部科学大臣 松野 博一 殿

平成28年 安曇野市議会12月定例会 陳情文書表

受付番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	所管委員会
陳情第10号	H28. 10. 3	J R大糸線有明駅及び安曇追分駅駐輪場の屋根設置について	安曇野市穂高北穂高2901-1 島新田区長 久保田 栄次 ほか5人	経済建設
陳情第11号	H28. 10. 11	安曇野市穂高有明地区（古厩区鈴玲ヶ丘）市道1-14号（通称有明山通り）周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善及び道路新設について	安曇野市穂高有明6399-2 古厩区長 有賀 久幸 ほか2人	経済建設
陳情第12号	H28. 10. 31	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	安曇野市堀金三田1094 堀金ミニバスケットボールクラブ 指導者 白井 良臣 ほか4人	福祉教育
陳情第13号	H28. 11. 8	新総合体育館の早期建設を求める陳情について	安曇野市堀金烏川2662 特定非営利活動法人 安曇野市体育協会 会長 赤羽 高明	福祉教育
陳情第14号	H28. 11. 14	新総合体育館の施設規模等の見直しについて	安曇野市穂高柏原1739-8-102 新総合体育館の広さを見直し隊 代表 角谷 美和	福祉教育
陳情第15号	H28. 11. 14	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	安曇野市穂高有明9841-5 長野県小学生バレーボール連盟 安曇野支部長 降旗 良治	福祉教育
陳情第16号	H28. 11. 14	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	安曇野市堀金烏川5468-2 安曇野市ママさんバレーボール連盟 理事長 倉田 富美子	福祉教育
	以下余白			

陳 情 書



安曇野市議会議長 濱 昭次 様

安曇野市穂高北穂高 2401-1 島新田区長 久保田栄次 印

安曇野市穂高有明 6399-2 古厩区長 有賀久幸 印

安曇野市穂高有明 5251 立足区長 青木三敏 印

安曇野市穂高北穂高2435 青木花見区長 内山聖参 印

安曇野市穂高有明 10-2 耳塚区長 林寛彦 印

安曇野市穂高有明 1080-2 新屋区長 中村博師 印

JR大系線有明駅及び安曇追分駅駐輪場の屋根設置について

陳情の趣旨

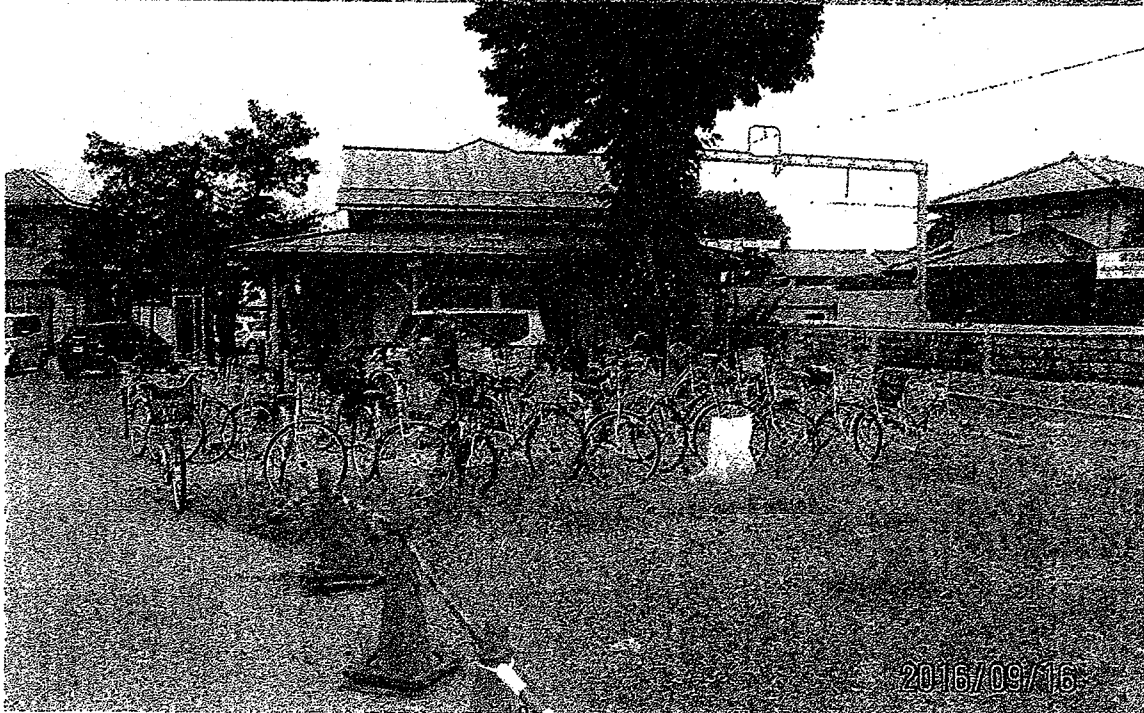
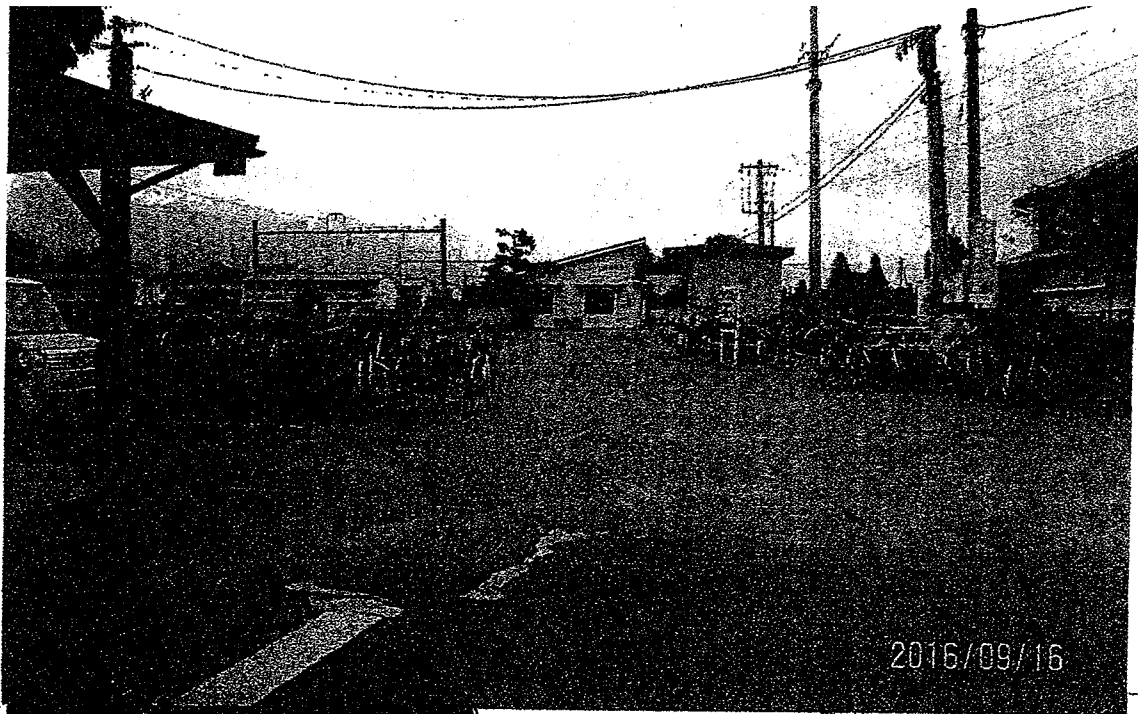
JR大系線有明駅及び安曇追分駅を利用する多くの学生が、通学する手段に自転車を使っています。多くの子供たちは濡れた自転車や雪の被った自転車を引いて寒さに耐え通学をしています。少しでも早く帰りたい、駅に行きたい、思いは誰でも同じと思います。

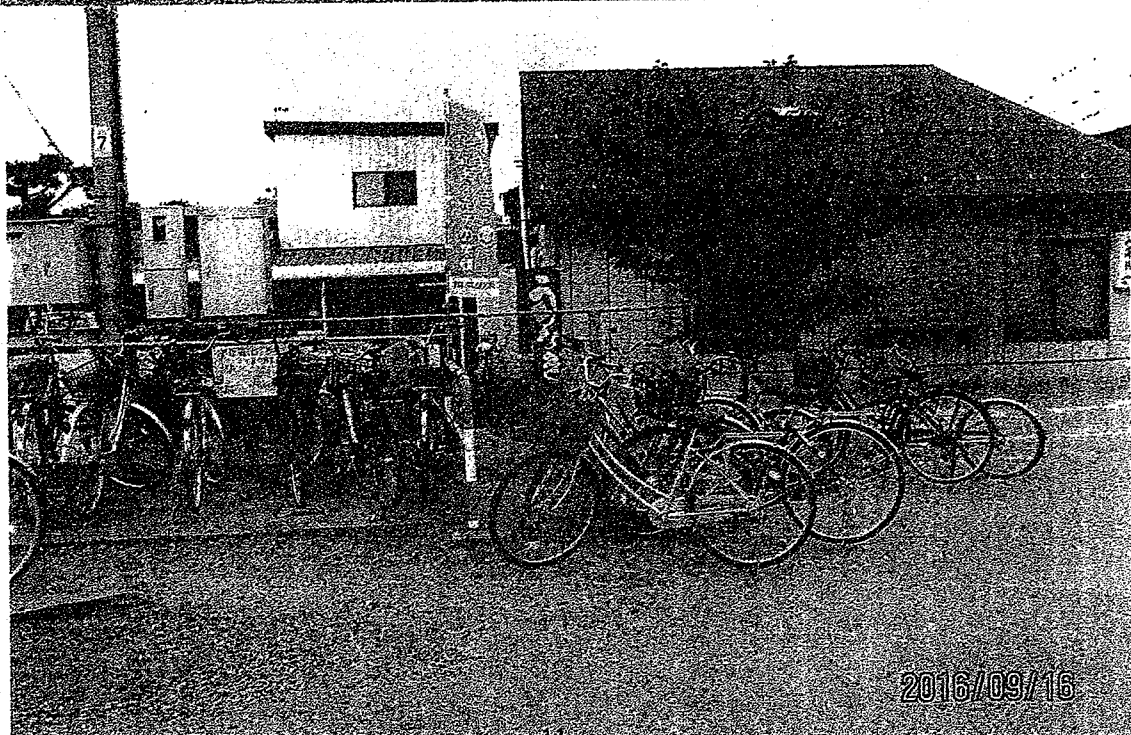
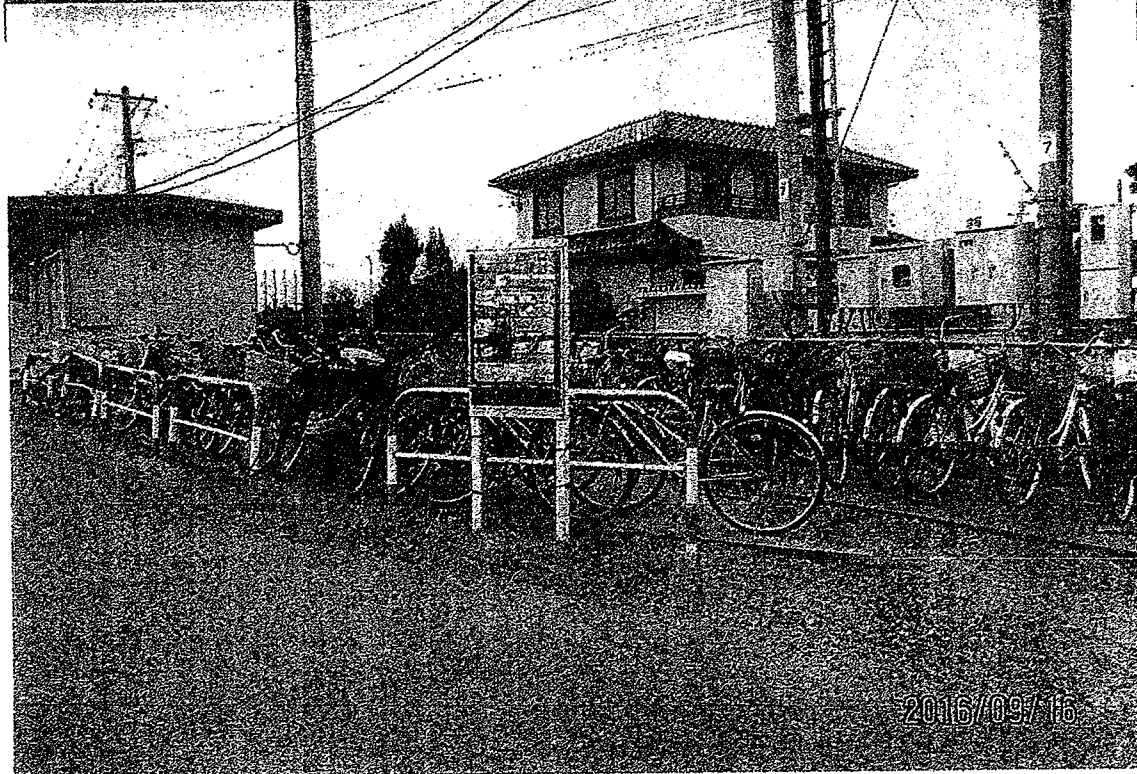
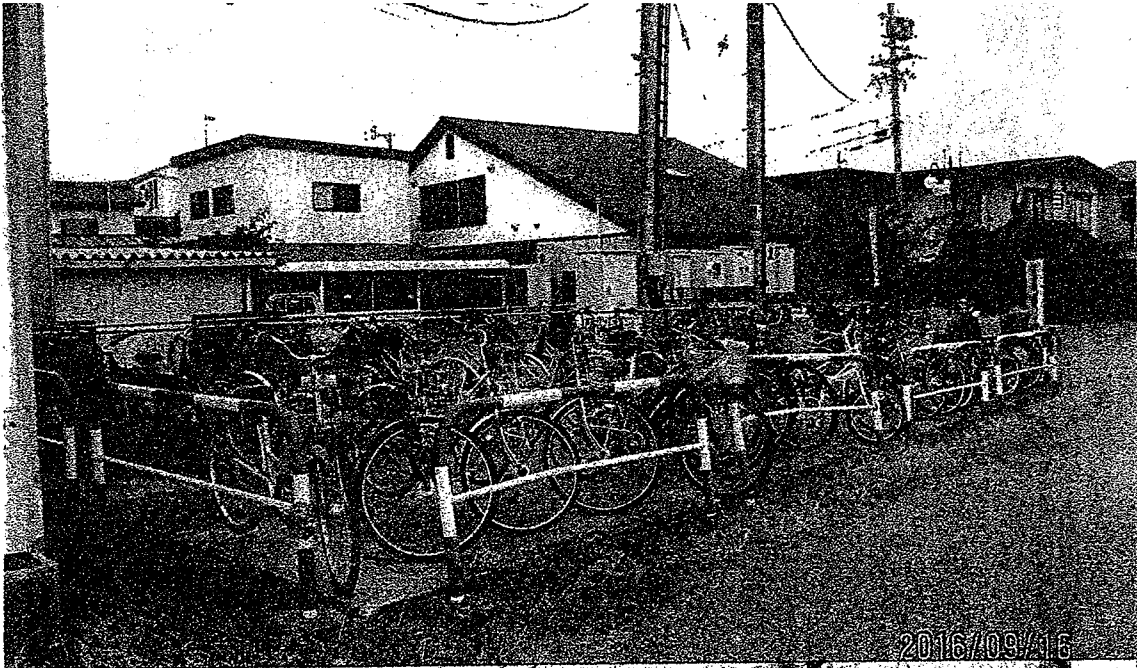
どうか子供たちの苦勞を察してもらいたいと願います。

陳情の事項

JR大系線有明駅及び安曇追分駅駐輪場に屋根の設置をお願いします。









陳 情 書

平成28年10月 // 日


安曇野市議会

議長 濱 昭 次 殿


安曇野市穂高有明6399-2

古厩区長 有賀久幸 

安曇野市穂高有明7370-23

鈴玲ヶ丘常会長 川 北 

安曇野市穂高有明7365-9

新 野 

安曇野市穂高有明地区（古厩区鈴玲ヶ丘）市道1-14号（通称有明山通り）

周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善及び道路新設について

陳情の趣旨

安曇野市穂高有明の市道1-14号線（通称有明山通り）は古厩区の主要道路であります。この道路を中心とした森林地区は20年程前から県外よりの移住者が徐々に増加しているのが実情であります。「付表1」は穂高町時代の「北小学校」の通学路「付表2」と全く変化無く住民が口にする「陸の孤島」そのものです。

今日まで環境改善・生活向上が問われながら、この20年～30年間、時代に取り残されてきた感が拭えず、誠に残念に思います。

最近、特に要請されているのは、道路事情の改善であります。現在の有明山通り「市道1-14号」の実情は、通勤・通学と帰路の時間帯に注目される交通量の増加にあります。

穂高以南に集中する企業等の通勤者と穂高北部の松川村・大町市等の近隣地区からの「山麓線道路」利用者の多くが「147号線」や広域農道への抜け道として有明山通りが利用される傾向にあり、当然のことながら有明山通り周辺の居住者と

相俟って、この時間帯の交通量が多くなり、児童の通学時間帯と保育園の送迎と重なり 通行の安全面が危惧されているところです。

市道1-14号(有明山通り)は 幅員が5m70cmとなっていますが 実情は、道路両側全域に亘り 管理不行届きのため樹木が迫り出し、路側帯の土砂枯れ葉の集積があり、正規の幅員が保たれていないのが実情です。

さらに 山麓線道路から古厩交差点に向かっての高低差が大きくスピード制御が厳しく、危険を感じる事態があります (目視100/1位か)

冬にあっては、森林に(手入れなし)覆われ、日当たりが悪く、除雪による残雪が路側帯に滞積され 道路幅は5m弱とかなり狭くなり、車両のすれ違いに困難を極めています。さらに日陰のため凍結土となり、路面は流水がアイスバーンとなり 最近、年間・数件の車両転倒とスリップ事故が発生しています

この様な道路事情での通学路は、集団登校もされていない状況で、より安全な通学路の確保が何をおいても優先されるべきと陳情に至りました。

### 「通学路の改善要望」

住民の大半が県外移住者で占め、東側の広域農道から西側の山麓線までの広大な森林の中に点在する居住者は、約200世帯と思われま

道路は中央に「1-14号」南は「あぶら川」に並行する遊歩道(幅員は3m程で人より車の通行が多く、南の方は行き止まり)と北側は立足区に通じ、特養老人ホーム白百合荘があって、温泉の引き湯があるので他所よりは幾分ましと言えます

この様な状況の中、何とか合理的で尚かつ学童の危険防止のために改善できないかと模索しました

現状 「1-14」から分岐した北側への「1-17」は道路幅が広いため この分岐点より西側が必要がありと判断したものです。したがって、西側山麓線までが対象となります

新通学路として「883号線」(古厩区と新屋区の境界線)に入る方法があります

それは、「851号線」を經由して県所有地(旧 天蚕試場)の南側の行き止まりとなっている「948号線」の延長です。その先「818号線」に繋がれば 70m程の新設で目的を実現できます。(この70m余の場所は市所有地で現在 荒廃地です)

これにより危険回避が出来ますし「851号線」には居住者も多く「安心の家」の設置も出来ます。

是非 現状を精査頂き実現にご尽力頂きますようお願い致します。

## 陳情に対しての住民の願い

本件は、将来性のある子供達のために行政の力強いご尽力をお願いする次第です  
そして、「陸の孤島」と言われる汚名を返上させて下さい

切に、切ににお願いする次第です。

## 陳情事項

通学路の改善・確保のため 市道「948号線」を東に延長し「818号線」に  
繋げる道路新設をして頂きたい

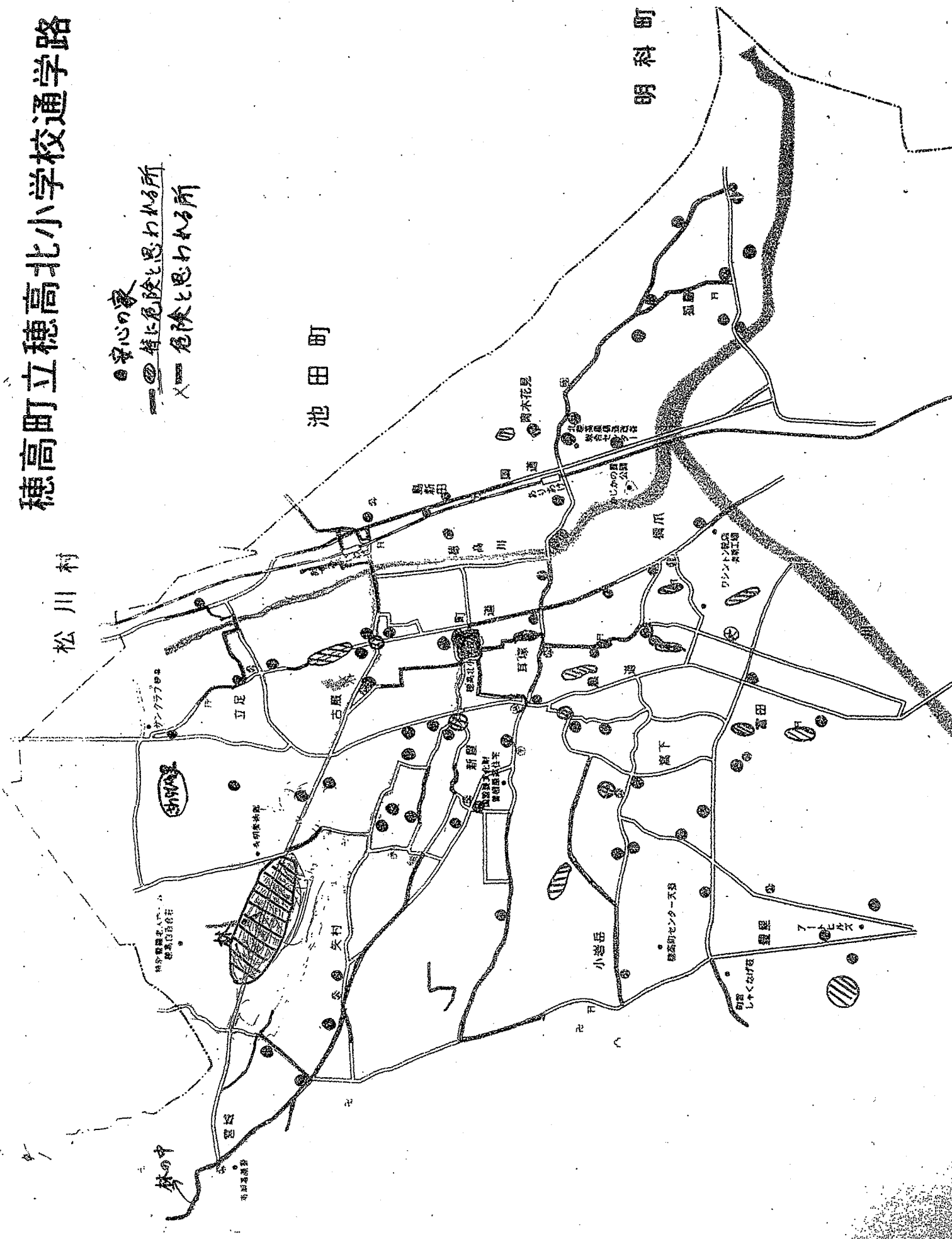
# 穂高町立穂高北小学校通学路

松川村

- 家々の家
- 毎に危険と思われる所
- X 危険と思われる所

池田町

明科町



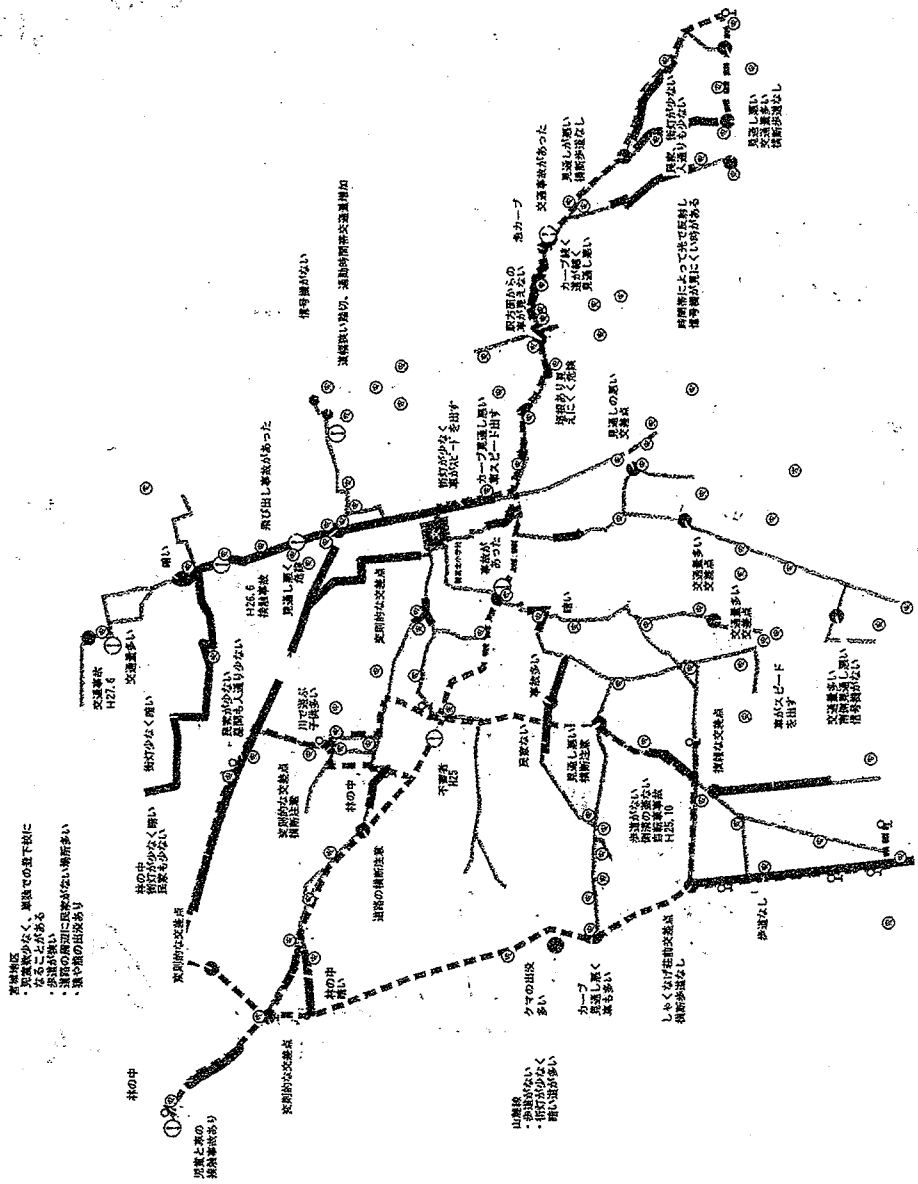
### 通学路安全マップについて

市内小中学校で点検し、交通及び防犯面で危険な箇所などを通学路安全マップとして作成しました。

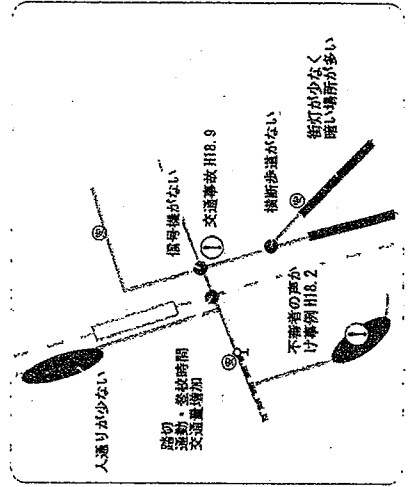
この安全マップを、児童生徒に身近な危険箇所を周知する安全教育や安全指導の教材とし、地域や関係機関における安心・安全なまちづくりなどに活用していただくことで、児童生徒の通学路の安全確保につながることがを期待します。

平成28年2月

安曇野市立小学校  
安曇野市立中学校  
安曇野市教育委員会

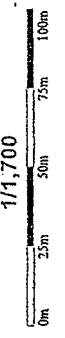
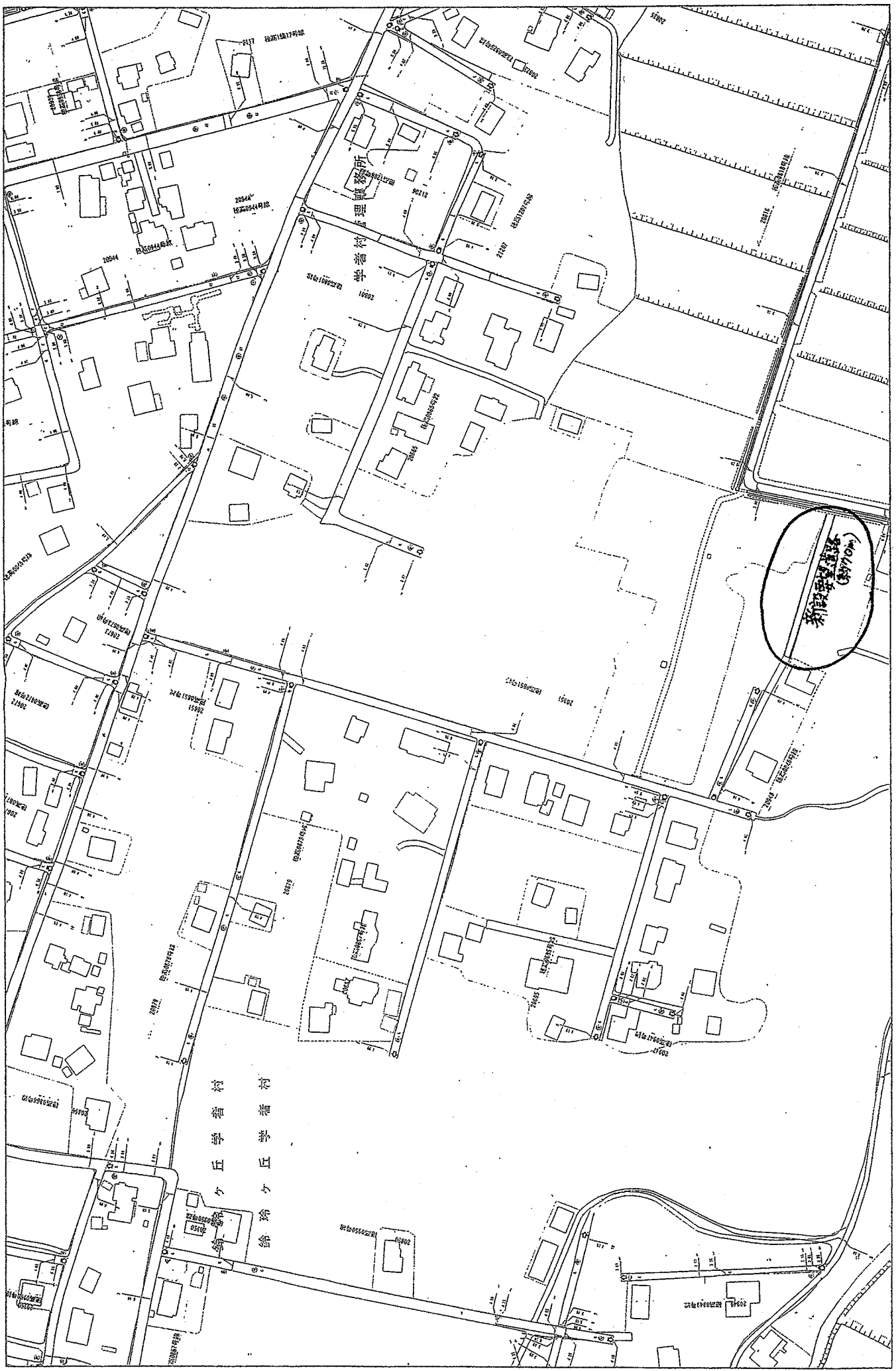


### マップの見方





道路台帳図

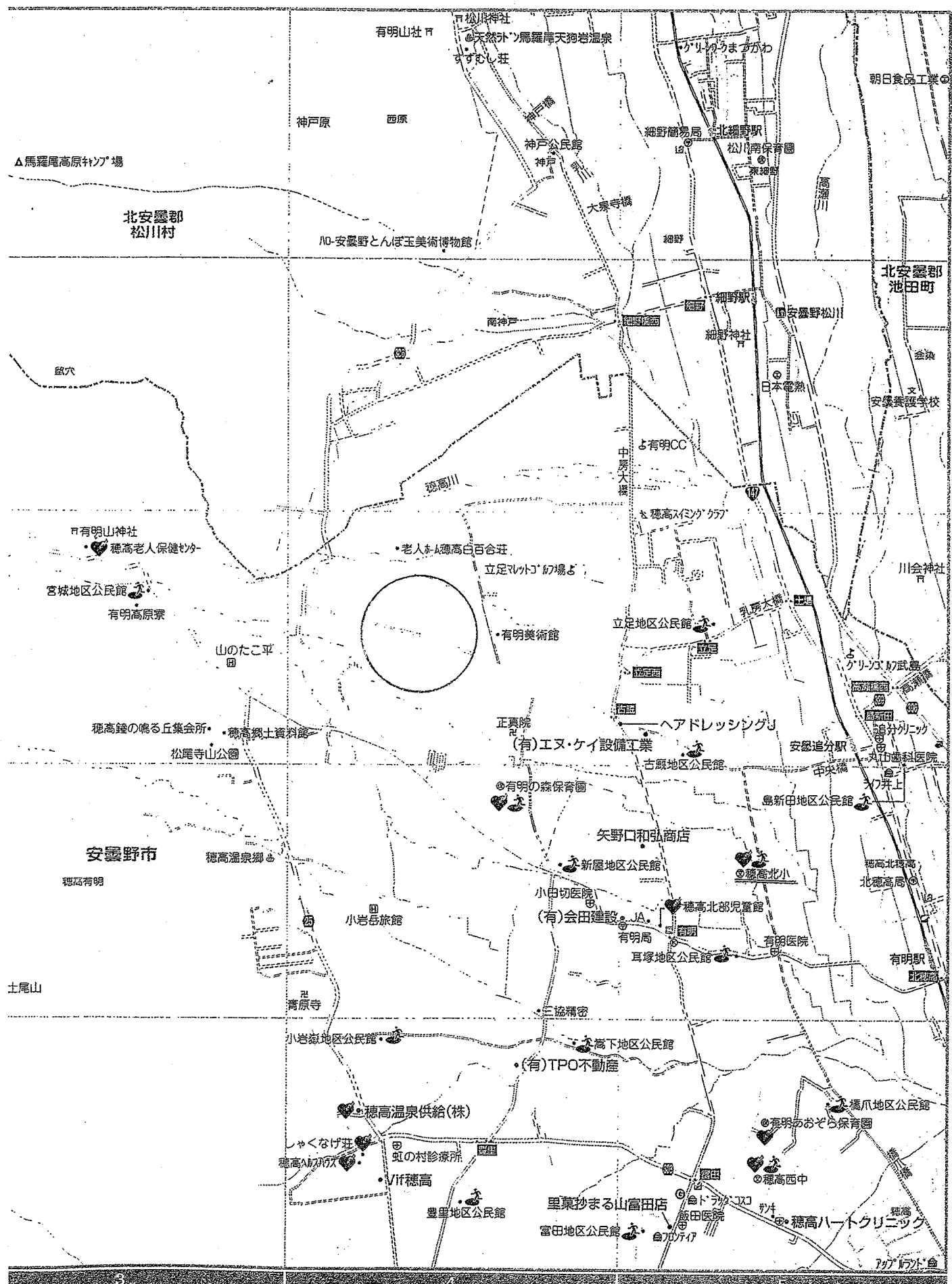


1/1,700



**地図**  
何の地図記号かな?

①消防署 ②温泉 ③公園	①美術館 ②学校 ③図書館	①工場 ②飛行場 ③えんとう	①事務所 ②裁判所 ③警察署	①ゴルフ場 ②自衛隊 ③港



MAP広域図①

郵便局 
 警察署 
 消防署 
 小・中・高校 
 その他学校 
 図書館 
 パーキングエリア 
 ジャンクション 
 インターチェンジ 
 AED 
 避難場所

## 陳 情 書

安曇野市

平成 28.10.31

議会事務局

平成28年10月24日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

住所 安曇野市塚金三丁目1094  
 氏名 塚金バスケットボールクラブ  
 指導者 白井 良彦

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

## 陳情の趣旨

南部総合公園に計画されている新総合体育館の整備については、安曇野市誕生時に合併特例債を活用して整備するという5町村の合併合意事項でした。そして、平成21年度には新総合体育館建設予定地の地質調査費用を可決して、ボーリング調査を実施しています。また、平成27年度に策定された「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」において、最優先事業とされております。

施設利用者のニーズ、既存体育館の稼働状況、新総合体育館整備後に廃止される体育施設の老朽化の進行等を考慮すると、早期に進める必要があります。

スポーツに親しみやすい環境整備と豊かで明るい健康都市を求め、新総合体育館の整備に際して、下記の事項を強く要望します。


## 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バスケットボールコートは2面整備し、利用者や競技者の接触事故防止等安全性確保のために、コートとコートの間、コートと壁面との距離を十分確保した施設整備を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 時には一流選手のプレーを見て感動し、元気、エネルギー、希望が育まれるスポーツの拠点施設を求める。
- 5 南部総合公園の駐車場は、現在でも大分不足しているので、新総合体育館の整備に合わせて、拡充する駐車場は余裕を持ったスペースを求める。
- 6 大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設を求める。

# 陳 情 書



安曇野市議会議長 濱 昭次 様

住所 安曇野市三郷遺4600-41  
氏名 安曇野南三郷町田中 文教 

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

### 陳情の趣旨

南部総合公園に計画されている新総合体育館の整備については、安曇野市誕生時に合併特例債を活用して整備するという5町村の合併合意事項でした。そして、平成21年度には新総合体育館建設予定地の地質調査費用を可決して、ボーリング調査を実施しています。また、平成27年度に策定された「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」において、最優先事業とされております。

施設利用者のニーズ、既存体育館の稼働状況、新総合体育館整備後に廃止される体育施設の老朽化の進行等を考慮すると、早期に進める必要があります。

スポーツに親しみやすい環境整備と豊かで明るい健康都市を求め、新総合体育館の整備に際して、下記の事項を強く要望します。

### 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バスケットボールコートは2面整備し、利用者や競技者の接触事故防止等安全性確保のために、コートとコートの間、コートと壁面の間を距離を十分確保した施設整備を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 時には一流選手のプレーを見て感動し、元気、エネルギー、希望が育まれるスポーツの拠点施設を求める。
- 5 南部総合公園の駐車場は、現在でも大分不足しているため、新総合体育館の整備に合わせて、拡充する駐車場は余裕を持ったスペースを求める。
- 6 大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設を求める。

# 陳 情 書



平成28年10月31日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

住所 長野県安曇野市三郷小倉2007-3  
氏名 安曇野南ミバス  
塚田 千絵



## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

### 陳情の趣旨

南部総合公園に計画されている新総合体育館の整備については、安曇野市誕生時に合併特例債を活用して整備するという5町村の合併合意事項でした。そして、平成21年度には新総合体育館建設予定地の地質調査費用を可決して、ボーリング調査を実施しています。また、平成27年度に策定された「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」において、最優先事業とされております。

施設利用者のニーズ、既存体育館の稼働状況、新総合体育館整備後に廃止される体育施設の老朽化の進行等を考慮すると、早期に進める必要があります。

スポーツに親しみやすい環境整備と豊かで明るい健康都市を求め、新総合体育館の整備に際して、下記の事項を強く要望します。

### 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バスケットボールコートは2面整備し、利用者や競技者の接触事故防止等安全性確保のために、コートとコートの間、コートと壁面の間の距離を十分確保した施設整備を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 時には一流選手のプレーを見て感動し、元気、エネルギー、希望が育まれるスポーツの拠点施設を求める。
- 5 南部総合公園の駐車場は、現在でも大分不足しているので、新総合体育館の整備に合わせて、拡充する駐車場は余裕を持ったスペースを求める。
- 6 大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設を求める。

# 陳 情 書



平成28年10月29日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

住所 安曇野市三郷 明彦 4934-1  
氏名 山本和男 印  
三郷ミニバスケットボールクラブ

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

### 陳情の趣旨

南部総合公園に計画されている新総合体育館の整備については、安曇野市誕生時に合併特例債を活用して整備するという5町村の合併合意事項でした。そして、平成21年度には新総合体育館建設予定地の地質調査費用を可決して、ボーリング調査を実施しています。また、平成27年度に策定された「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」において、最優先事業とされております。

施設利用者のニーズ、既存体育館の稼働状況、新総合体育館整備後に廃止される体育施設の老朽化の進行等を考慮すると、早期に進める必要があります。

スポーツに親しみやすい環境整備と豊かで明るい健康都市を求め、新総合体育館の整備に際して、下記の事項を強く要望します。

### 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バスケットボールコートは2面整備し、利用者や競技者の接触事故防止等安全性確保のために、コートとコートの間、コートと壁面の間の距離を十分確保した施設整備を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体づくりにも活用できる施設を求める。
- 4 時には一流選手のプレーを見て感動し、元気、エネルギー、希望が育まれるスポーツの拠点施設を求める。
- 5 南部総合公園の駐車場は、現在でも大分不足しているので、新総合体育館の整備に合わせて、拡充する駐車場は余裕を持ったスペースを求める。
- 6 大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設を求める。

# 陳 情 書



平成28年10月31日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

明科七番 6030-1

住所 明科ミニバスケットボール

氏名 代表 大花 幸彦 (印)

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

### 陳情の趣旨

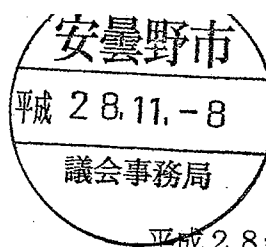
南部総合公園に計画されている新総合体育館の整備については、安曇野市誕生時に合併特例債を活用して整備するという5町村の合併合意事項でした。そして、平成21年度には新総合体育館建設予定地の地質調査費用を可決して、ボーリング調査を実施しています。また、平成27年度に策定された「安曇野市公式スポーツ施設整備計画」において、最優先事業とされております。

施設利用者のニーズ、既存体育館の稼働状況、新総合体育館整備後に廃止される体育施設の老朽化の進行等を考慮すると、早期に進める必要があります。

スポーツに親しみやすい環境整備と豊かで明るい健康都市を求め、新総合体育館の整備に際して、下記の事項を強く要望します。

### 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バスケットボールコートは2面整備し、利用者や競技者の接触事故防止等安全性確保のために、コートとコートの間、コートと壁面との距離を十分確保した施設整備を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 時には一流選手のプレーを見て感動し、元気、エネルギー、希望が育まれるスポーツの拠点施設を求める。
- 5 南部総合公園の駐車場は、現在でも大分不足しているので、新総合体育館の整備に合わせて、拡充する駐車場は余裕を持ったスペースを求める。
- 6 大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設を求める。



# 陳 情 書

平成28年11月8日

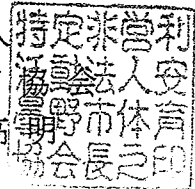
安曇野市議会議長 濱 昭次 殿

(住所) 安曇野市堀金烏川2662

(氏名) 特定非営利活動法人

安曇野市体育協会の

会長 赤羽 高



## 新総合体育館の早期建設を求める陳情について

### 陳情の趣旨

現在、南部総合公園に計画されている新総合体育館の建設は、安曇野地域合併協議会の合意事項でした。平成23年8月には「豊かな人生を実現する健康スポーツ都市安曇野」の創造を目指した安曇野市スポーツ振興計画が策定されました。更に、平成27年6月には安曇野市公式スポーツ施設整備計画が制定され、新総合体育館の建設は最優先事業とされています。これらに加え、豊科南社会体育館の老朽化、運動施設の稼働状況を考慮し、安曇野市が目指す将来像を具現化するためにも新総合体育館の建設は不可欠であると考えます。先般、東京オリンピック開催が決定し、スポーツへの関心が益々高まっていくとともに、オリンピックへの夢を育むには絶好の機会です。安曇野市公式スポーツ施設整備計画を早期に実行されるとともに、新総合体育館の建設に際して、下記の事項を強く要望します。

### 陳情の事項


- 1 豊科南社会体育館、豊科剣道場の老朽化も進み、市のスポーツ振興計画及び施設整備計画に基づき、新総合体育館の早期建設を求める。
- 2 規模・機能・安全面などについて市民や当体育協会の意見も十分受け入れていただき、各種競技団体の活用は勿論、一般市民の健康・体力づくり等に活用できる施設を求める。
- 3 体育館建設は決してスポーツをする市民だけの要望ではない。スポーツを観る支えるなど、多くの市民の関わりによるスポーツ文化の創造、一方では災害時の避難や生活物資供給施設等の機能を備えた多目的に利用できる施設を求める。
- 4 一流選手のプレーを観て子供たちに夢や希望が育まれるスポーツ施設を求める。
- 5 各種競技団体の要望に十分耳を傾けていただき、より充実した施設を求める。

## 陳情書

平成 28 年 11 月 14 日

安曇野市議会議長 浜 昭次 様

新総合体育館の広さを見直し隊

代表 角谷 美和 

安曇野市穂高柏原 1739-8-102

## 新総合体育館の施設規模等の見直しについて

## 陳情の趣旨

南部運動公園に建設予定の新総合体育館の施設面積は、現在・将来の安曇野市の人口規模に対して過大であると感じます。大きなものを建設すれば合併特例債の使用も多額になり、市民一人当たりの借金額などを考えると、安曇野市の将来を担う子どもたちにとって、大きな負担になるのではないかと不安がつのります。

私たちは安曇野が大好きだからこそ、これからも住みやすい、子どもたちの未来に負担の少ない安曇野市であってほしいと願っています。

新総合体育館の建設に当たっては、本当に市民が使いやすい機能・規模の体育館とはどのようなものか、また建設費用や建設後の維持費の負担などについても、しっかり考慮して進めていただくよう、下記の事項について陳情します。

## 陳情の事項

- 1、 南部運動公園に建設予定の新総合体育館について、施設の機能・規模や維持管理など、子どもたちの将来に大きな負担とならない体育館とはどうあるべきか、しっかりと精査してください。
- 2、 新総合体育館の現計画 8450 m<sup>2</sup>の延床面積、および建設費用 38 億円の圧縮見直しをしてください。



これからつくろ

# 南部運動公園の 総合体育館 この広さ(8450m<sup>2</sup>) ホントに必要な?

新体育館施設規模  
面積

安曇野市の人口

8450m<sup>2</sup> 約98,000人

同じくらいの大きさの  
長岡市の体育館  
施設規模面積

長岡市の人口

約  
3倍!

8052m<sup>2</sup> 282,700人



新体育館は穂高体育館(5413m<sup>2</sup>)の  
1.6倍。国体レベルの大会が開けると  
いけれど、それほど大きな施設を私たちの  
人口で支えていけるのかな?  
将来、子どもたちの負担になりそうで心配!

最近の安曇野市、新築や改修された公共施設がたくさんありますよね。

「こんなにたくさん作ってしまって大丈夫なのかな？」

「市の借金って、どうなっているんだろう？」

「合併特例債を使っているんだよね」「債って言っても、これは借金のこと」

「いったい安曇野市の借金っていくらぐらいあるのかな？」

平成 27 年度 一般会計の借金 } あわせて871億円  
特別会計の借金 }

赤ちゃんからお年寄りまで、市民一人当たりいくらの負担かというと

借金一人当たり 約89万円

子どもたちのことを考えると、これ以上安曇野市の借金を増やしたくない!!  
これから市が作る建物のことも、私たち市民としてしっかり考えていきたい!!!

## 《 南部運動公園の総合体育館建設って、どんなものなの!?! 》

延床面積

1,500 m<sup>2</sup> 豊科の南部社会体育館の老朽化が進み、合併前から建て替えの要望あり。地域の人のためにも、建て替えが必要な状態にあります。



6,100 m<sup>2</sup> 旧豊科町からの要望で、合併後の安曇野市が建設計画を引き継ぐ。合併協議会で合意した施設面積は 6100 m<sup>2</sup>。



8,450 m<sup>2</sup> 私たちが使いやすい、地域のための体育館だったはずが、いつのまにか公式スポーツ・国体級レベルの大規模体育館（事業費 38 億円）を作る話に変わってしまっています。

このような大規模施設は、私たちの将来、子どもたちの将来に大きな負担になると考えます。私たちが欲しいのは、市民にとって使いやすい広さの体育館です。適正な大きさの体育館にするよう、計画変更を要望しましょう。

新総合体育館の広さを見直し隊

角谷美和（代表） 大浜悦子 石田穂乃美 中野あや（事務局 0263-83-5838）

安曇野市長 宮澤宗弘 様

**新総合体育館の広さを見直し隊**

共同代表 角谷美和 安曇野市穂高柏原1739-8-102

共同代表 大浜悦子 安曇野市三郷小倉2951-1

事務局 中野あや 安曇野市穂高有明7515-39

**新総合体育館の施設規模の見直しを求める署名**

私たちは安曇野が大好きです。

だからこそ、私たちが使いやすい広さの体育館が欲しい！

現行8,450㎡（穂高体育館の1.6倍）の延床面積の見直しをしてください。

将来、安曇野の子ども達に大きな負担にならない規模にしてください。

署 名 欄

氏 名	住 所	年齢 (任意)
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	
	安曇野市	

\* 子ども達の未来を考えての署名活動です。自分で署名することのできない小さいお子さんの保護者の方は、ぜひお子さんの年齢を記入して代筆していただけたらと思います。私たちの声をぜひ届けましょう！

# 新体育館 規模縮小求める

## 女性有志が署名活動

安曇野市が豊科南側  
総合公園南側に建設を  
予定する新総合体育館  
について、規模縮小を  
求める市内の主婦や子  
育て中の女性らが市長  
グループへ広さを見直  
し隊」を結成し、20日  
に市内で署名活動を始  
めた。「次代を担う子  
供たちの負担にならな  
い適正な規模にしてほ  
しい」と主張する。市  
は11月に基本計画を  
示す予定で、現在は  
面積延べ8450平方  
メートルの規模を一公  
民の「適正規模」を公  
表している。老朽化す  
る豊科南社会体育館  
とんとんできている。  
（1653平方メートル）  
のお母さんたちと雑談し  
ていると「うれしいけ  
れと大丈夫かな」とい

一市の総合体育館と  
位置付け、事業費は28  
億3千万とする。  
見直し球団代表の  
主婦・角谷美利さん  
（41）穂高柏原は  
「市内は新しい建物が  
増えすぎてきている。お母さんたちと雑談し

う話が出る。これ以  
上、借金が増えると大  
変だ」と考え、署名を始  
めた」と説明する。  
事務局を務める中野  
あやさん（48）穂高



穂高柏原で行われたイベントで、署名の趣旨を説明する中野さん(左)

有明は建設自体は反  
対ではないとして「5町  
村の合併時に合算した  
面積は6100平方メ  
ートルと聞く。維持管  
理費も不安なので身の  
丈に合った規模でい  
い。市民が使いやすい  
体育館にして」と願  
う。署名は年末まで集  
め、宮沢宗弘市長に手  
渡す。（後井文人）

## 陳 情 書

平成28年11月10日

安曇野市市議会議長 濱 昭次 様

住所 安曇野市穂高有明 9841-5  
長野県小学生バレーボール連盟安曇野支部長  
氏名 降 旗 良 治

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

## 陳情の趣旨

既存体育館の稼働率・稼働状況を見ても実に多くの市民が活用し、新総合体育館整備に向け市民は期待し楽しみにしています。既存体育施設の老朽化に伴う早期整備の必要性も充分考慮し、下記の事項を強く要望します。

## 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、人口10万人に適した安曇野市新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バレーボールコート、メインに3面、サブに1面を整備し、競技者の安全性確保を考慮したコート配置を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 全国大会ができる規模で、一流選手の競技を身近で観戦したり、交流したりすることで、スポーツ競技者の底辺拡大を図る拠点を求める。
- 5 新総合体育館の整備に合わせて、大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設及び、余裕のあるスペースの駐車場を求める。
- 6 新総合体育館が市民の憩いの場や集いの場となる多目的複合施設として、全市民が活用でき必要とされ、県内外から魅力的で参考となる施設になるよう設備を求めます。

## 陳 情 書

平成28年11月10日

安曇野市市議会議長 濱 昭次 様

住所 安曇野市坂本島15460-2

氏名 倉口 高美子

安曇野市ママさんバレーボール連盟  
理事長

## 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

## 陳情の趣旨

既存体育館の稼働率・稼働状況を見ても実に多くの市民が活用し、新総合体育館整備に向け市民は期待し楽しみにしています。既存体育施設の老朽化に伴う早期整備の必要性も充分考慮し、下記の事項を強く要望します。

## 陳情の事項

- 1 市内既存体育館の高い稼働率、南社会体育館、豊科剣道場の老朽化を考慮し、また、最も有利な合併特例債を活用して、人口10万人に適した安曇野市新総合体育館の早期整備を求める。
- 2 バレーボールコート、メインに3面、サブに1面を整備し、競技者の安全性確保を考慮したコート配置を求める。
- 3 子どもから高齢者まで全ての市民の健康・体力づくりに活用できる施設を求める。
- 4 全国大会ができる規模で、一流選手の競技を身近で観戦したり、交流できることでスポーツ競技者の底辺拡大を図る拠点を求める。
- 5 新総合体育館の整備に合わせて、大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設及び、余裕のあるスペースの駐車場を求める。
- 6 新総合体育館が市民の憩いの場や集いの場となる多目的複合施設として、全市民が活用でき必要とされ、県内外から魅力的で参考となる施設になるよう設備を求めます。



## 平成 28 年度 放課後学習室アンケートのまとめ

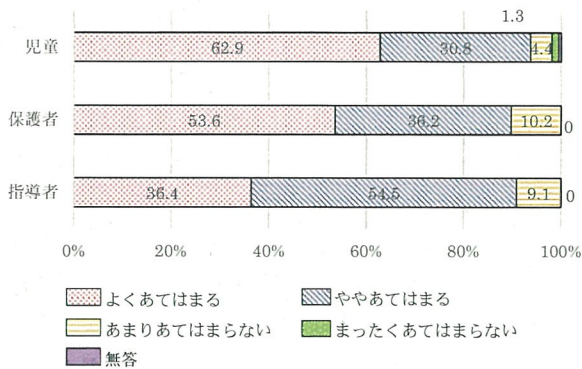
安曇野市教育委員会 教育指導室

アンケートにご協力くださった児童の皆様・保護者様・指導の先生方に感謝申し上げます。アンケートの集計を行いましたので概要を報告いたします。放課後学習室が子どもたちの役に立っているという実感を多くの皆様に持っていただいていること、本当にありがたいことです。これからもご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

(児) …児童の意見、(保) …保護者の意見、(指) …指導者の意見

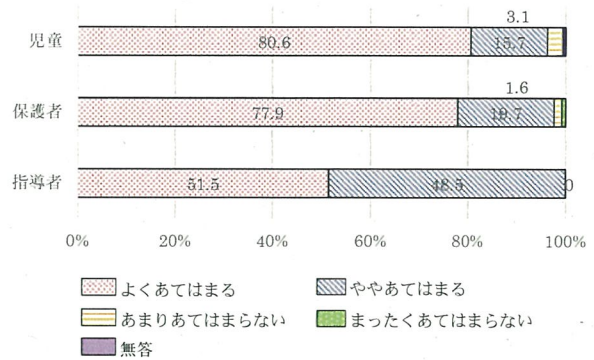
### あらかじめ、その日の放課後学習室でやることを決めて、進んで参加しましょう

放課後学習室に課題（やること）を決めて出席している。  
(お子さんは放課後学習室に課題（やること）を決めて出席しているようだ)



- (児) 放課後学習室は、わからないところを教えてくれるいいところです。私は特に算数をめあてにしてやっています。また来年もやってほしいです。
- (児) 本当は宿題をやる時間に自習勉強をできるし、全部の宿題を時間内に終わらせるという目標を持って、いいと思う。
- (保) ある日、今日は音読やってきた！！と言うのでなんでいつもわからないって言う算数や国語じゃないの？と聞くと、音読も大変なんだよ、ちゃんと読むの。きちんと読めるように教えてくれるんだよと言ってました。私では気が付かないところまで丁寧に教えてもらっているのだなあとお礼がたいなあと思いました。
- (指) 授業とは異なる場だが、目的意識をきちんと持ってやってほしい。
- (指) 目的意識をしっかり持たせて臨んでほしい。(学校側、担任、保護者)

放課後学習室に進んで参加している。  
(お子さんは放課後学習室に進んで参加しているようだ)



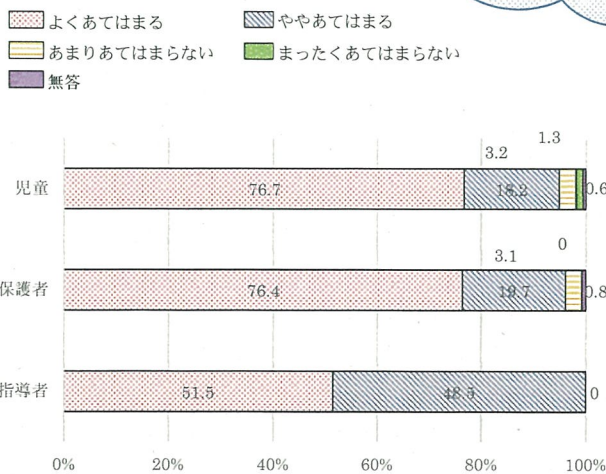
- (児) みんながちゃんと勉強していてすごい良いなと思いました。
- (児) 分からないことがあったら、すぐに先生が教えてくれるので、すごくうれしいです。なのでこれからも進んで参加していきたいです。
- (保) 家ではあまりやる気が出ないのですが、みんなと一緒にやることで楽しく学習できているようでありがたいです。
- (保) 楽しく進んで参加しているようです。学習も難しくなってきたので親にもうまく教えられないところを「やり方わかったよ!」と帰ってくるので親としてもうれしいです。ずっと続いてほしいです。
- (指) ほとんどの児童が時間になる前に来室し、学習に取り組んでいる姿が見られる。
- (指) 「天は自ら助くる者を助く」この諺の意味を徹底したい。



「放課後学習室は役に立つ！」  
児童、保護者、支援員それぞれに実感



放課後学習室は、自分のためになっている。  
(放課後学習室は、子どものためになっている)

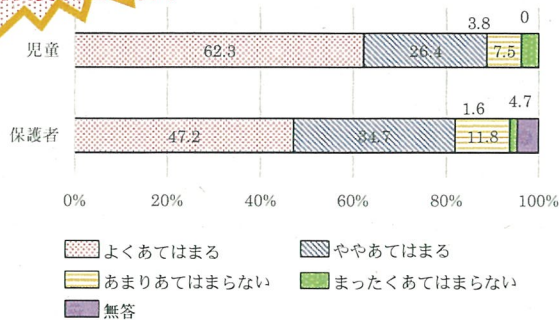


- (児) 授業では細かく聞けないことを放課後学習室ではわかりやすく説明してくれます。授業ではわからない問題を素直にわからないと言えないけど、ここでは安心して聞くことができます。すごく自分のためにもなっているので、来てよかったなとも思います。
- (児) 授業や勉強などで分からないことなどが水曜日に出て先生に聞くともわかりやすくわかるまで教えてくれるので学習室に行ってよかったと思っています。とても助かっています。それにこの先生は優しく教えてくれるのでいいです。
- (保) わかりやすく教えていただけるので、苦手な算数がわかるようになったと子供が言っていました。家庭では、子供に教えるのは難しいです(親が学習したやり方と違うので)。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- (保) 恥ずかしいので質問はできませんが、宿題と持って行ったドリルを解いてくれます。うちで時間的・気持的な余裕が生まれ、親も安心して次の日に送り出せます。
- (指) 毎週子どもたちと会えるのがとても楽しみです。説明してもらえた時よかったなあと思います。これからも自分なりに頑張りたいと思います。
- (指) 学習習慣が身についた子が増えたことは嬉しい。「わかった、できた」の声が聞けるときも嬉しい。



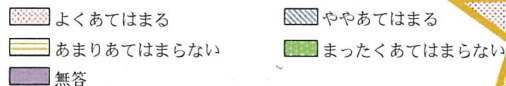
質問できている  
肯定児童 88.7%  
保護者 81.9%

先生や友達に遠慮しないでわからないことなど質問できる（質問できているようだ）。



- (児) 自分の分からないところをきちんと聞ける。
- (児) 分からないことがあると質問できるからいい。
- (児) 分からないことや、悩んでいることなどを教えてくれる教室だと思います。
- 一方、こんな悩みも。
- (児) 前の週にきてわからなかった問題が次の週には新しく分からないことが増えているから教えてもらおうとしても忘れていて、教えてもらいようがないと思います。
- (保) 宿題でわからなかった事をそのままにしまい「わからない」「質問できない」と悩んでいたのですが、放課後学習室では、質問でき、少しずつ力もついてきたように思います。子供の放課後学習を楽しみにしています。
- (保) わからないことを質問すると、わかりやすく教えてもらえると、喜んで参加させていただいています。だんだん勉強が難しくなり、親としても大変助かっています。
- (保) わからないところを質問して、理解しているのが気になります。学習室を毎週楽しみにしているようなので参加してよかったと思っています。
- (保) 自分が苦手なところを教えてくださいよう、いつも話していますが、「今日も聞けなかった。宿題だけやってきた…」ということが時々あります。担任の先生に伝えて対処していただいているとは思いますが…。一番は本人のやる気!! がもっとでてくれたらと思います。

放課後学習室の指導にやりがいを感じている。



やりがいを  
感じる

- (指) 放課後学習室についてはとても楽しく、やりがいを感じてやっています。特に今年の子どもさんたちについては、今までにないほど皆やる気をもって取り組んできてくれていますので、その点私もとても教えがいがあり、楽しく教えさせていただいています。問題に興味をもって取り組み、「今度、こんなの教えて」とか、「こんなのがやりたい」という希望もあり、私としてはそれにそえるようにしていきたいのですが、それにそえるようにしていく点に、また進度にもそえるようにしていく点に工夫をしていかなければならないと思っています。
- (指) 子どもたちからパワーをもらっており、ありがたいです。
- (指) 普段、授業で「わからない」という点をきちんと聞ける場であることが嬉しい。
- (指) 今年から放課後学習室に参加させていただいています。わからないところを友達同士で教えあっている姿をよく見かけます。とてもいいことだと思います。
- (指) 子どもの「あ、そうか」「わかった」の音が聞きたくて一緒に勉強しています。
- (指) 6年生は目的意識を持って取り組んでいました。「算数の評価が上がった」という声を聞きとても嬉しかったです。



## その他の意見・要望・課題など

- (児) あまり口を出してほしくない。自分で考えてやりたい。
- (児) 分からない問題を2分以内に教えてほしい。分からない問題を教えてくれるのが遅い。
- (児) うるさい人がいるから注意したほうがいいと思います。(同趣旨複数)
- (児) 先生に教えてもらってもよく分からないから私的には放課後学習室はやや役に立たないと思った。
- (児) もうちょっと時間を減らしてほしい。(同趣旨複数)
- (児) 週2回にしてほしい。学習室はとても楽しい。
- (保) 毎週とても楽しみにしています。引っ込み思案な子供が自主的に喜んで参加しているようなので続けていってほしいです。
- (保) 苦手なところをやってきてほしいのですがあえて本人が苦手なところを避けてやってくるようなので克服できない気がします。
- (保) 毎回宿題をただやるだけでなく、わからないところを聞いておいでといってもやっているのかどうか。本人に聞いても「大丈夫」というだけです。
- (保) 落ち着いた中で勉強ができる、皆のがんばっている姿を見て自分も頑張ろうという気持ちになれる、習慣として身につけていく、を学ばせていただいていると思います。
- (保) 算数が苦手な分ならず、少しついていけないところもあったけど、放課後学習室に入ってから自分でもだいぶわかってきて自信がついてきたようです。とても良いことだと思います。
- (保) 主に宿題を終わらせてくれるだけで、本人のためになっているのかいまいち不安なところがあります。
- (保) どんなことをやっているのか今一わかりません。プリントとのことですが、現在学校でやっていることが結びついているわけではないのですが、少しずつでも漢字を覚えたり算数の苦手意識が減ったりすればいいと思います。
- (保) 3年生、4年生も参加できたら良いな。
- (保) 5年生から児童館にも行けなくなり、今から放課後の子どもの居場所、過ごし方など心配しています。ぜひこのような教室を週に何回か増やしていただけるといいのですが。
- (指) 「放課後学習に行かされる」のではなく「行きたい」と思わせる案内を子どもにしてほしい。(4月に)
- (指) うちの人と相談するなどして“がんばりたい”という目的意識を持って参加してくれた子は時間を有効に生かしているように感じます。学習室の時間に先生方が様子を見に来ていただけて良い雰囲気づくりになっていてありがたいです。
- (指) 学校と指導員との連携がほしい。学校職員(担任)との連絡会を年に一度でいいので設けてほしいです。
- (指) 子どもたちはだんだんと慣れてくると言動が乱暴になってくるので気をつけたい。(対子ども同士、対指導者)……指導者の言葉遣いについても児童からの指摘がありました。お互いに気を付けたいものです。
- (指) 指導する方については、地域に広く呼び掛けて募集し増やしていただきたい。

※紙面の都合上、すべての意見を載せることはできませんでした。ご了承ください。なお、学校にはすべての意見をお伝えしてあります。今後、皆様のご協力を得て各校の実状に応じた放課後学習室の充実を目指したいと存じます。